

Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象

～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～

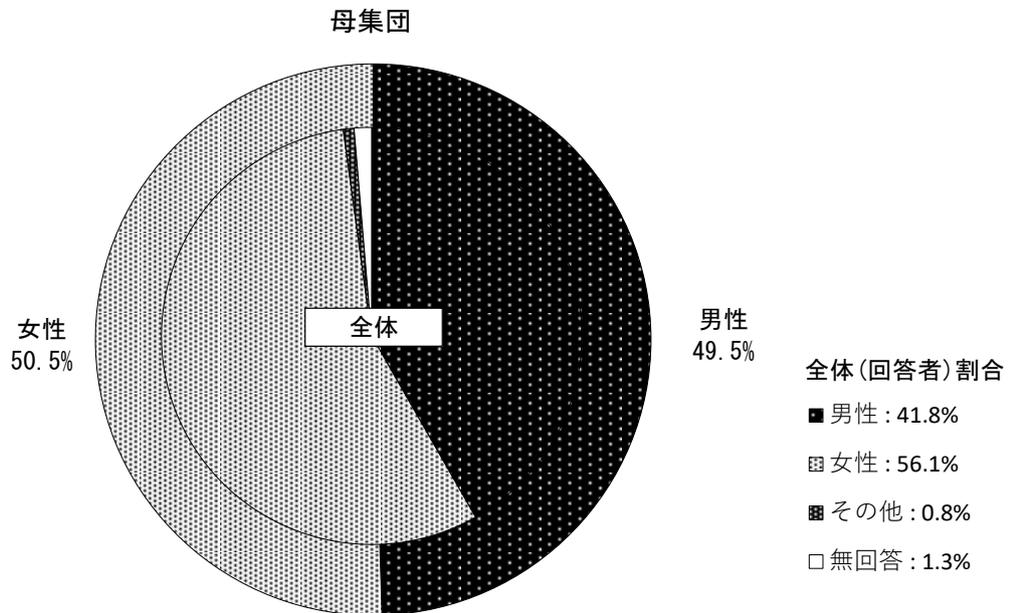
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=642, 559) 令和 6 年 1 月 1 日現在

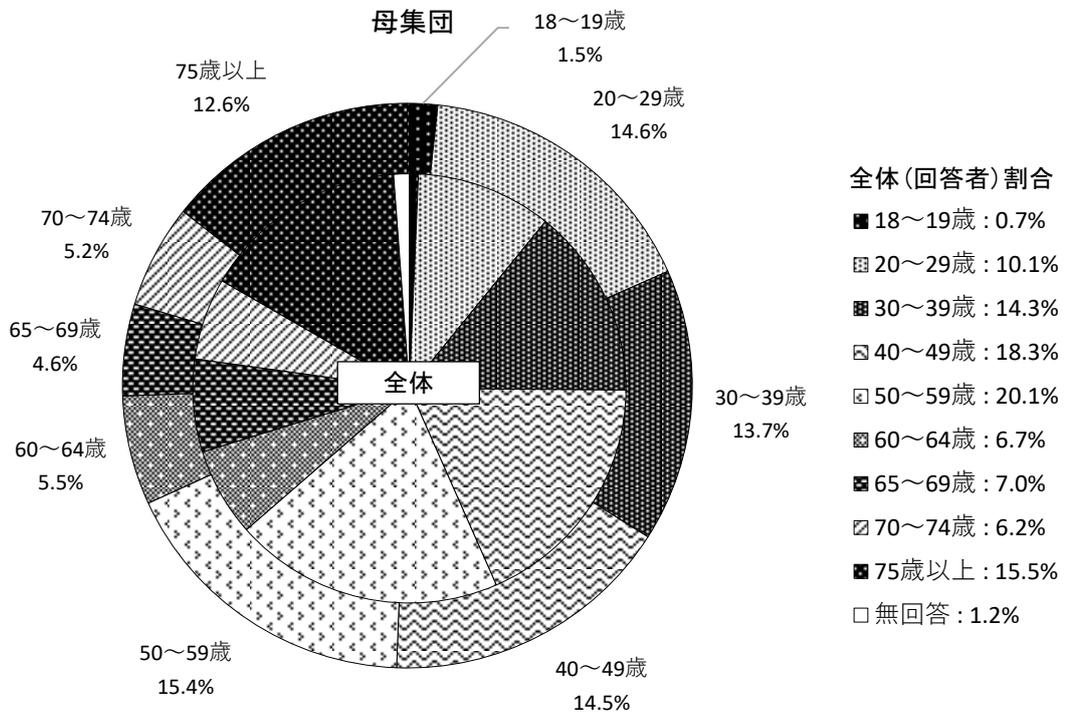
全体：有効回収数 (n=601)

全体 n=601



(2) 年齢

全体 n=601

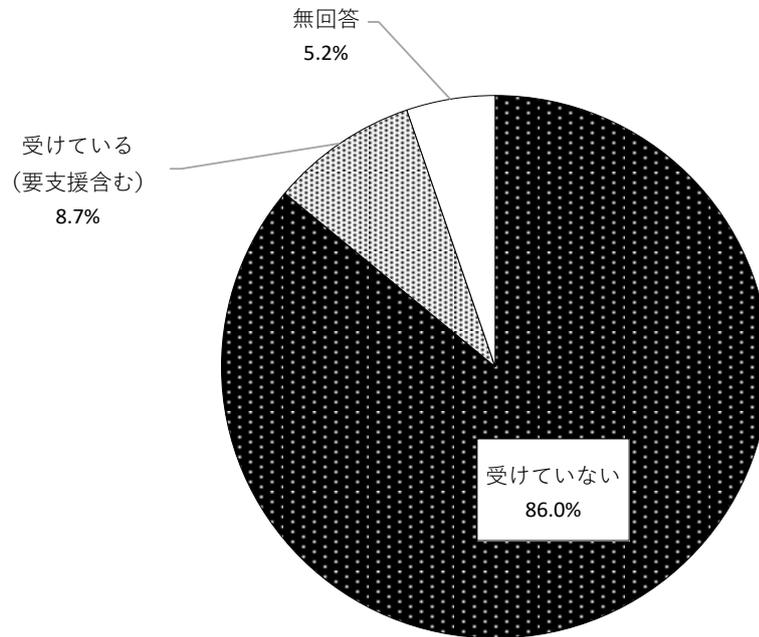


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 6 年 1 月 1 日現在

(3) 要介護認定の状況

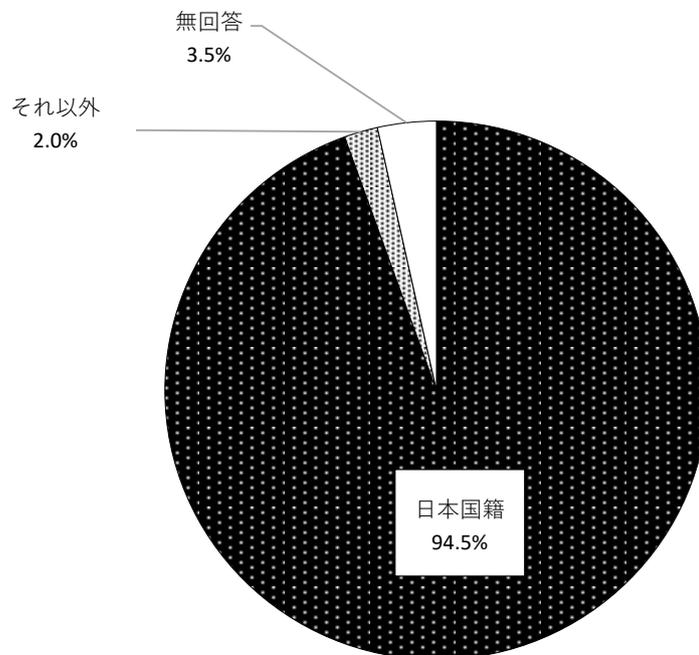
【65歳以上の方】

全体 n=172



(4) 国籍

全体 n=601

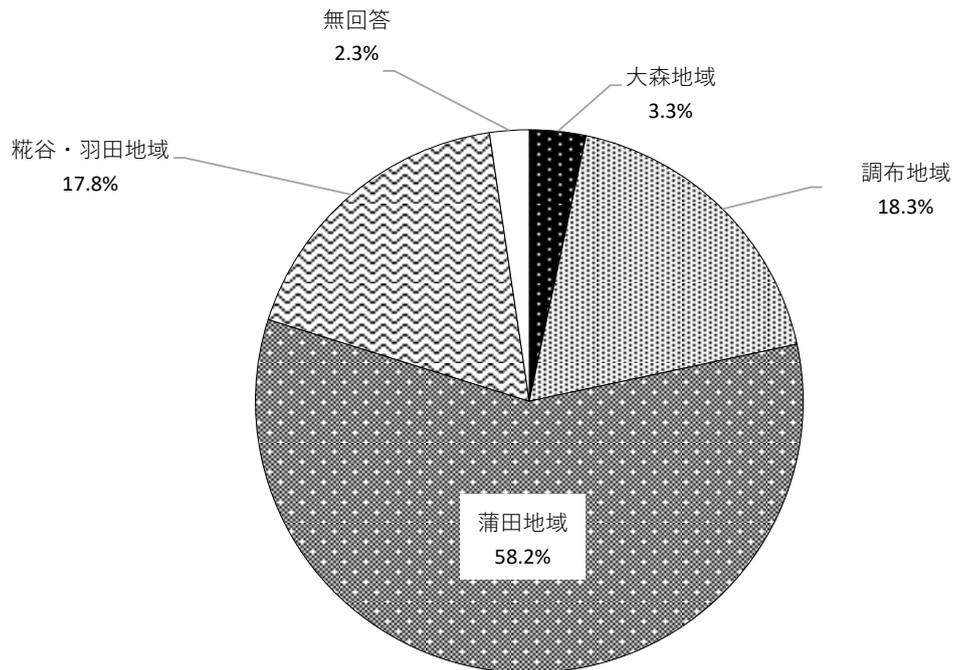


■ 日本国籍以外

	中国	韓国	フィリピン	ベトナム	台湾	アメリカ	イタリア	無回答
人数	4	2	2	1	1	1	1	0

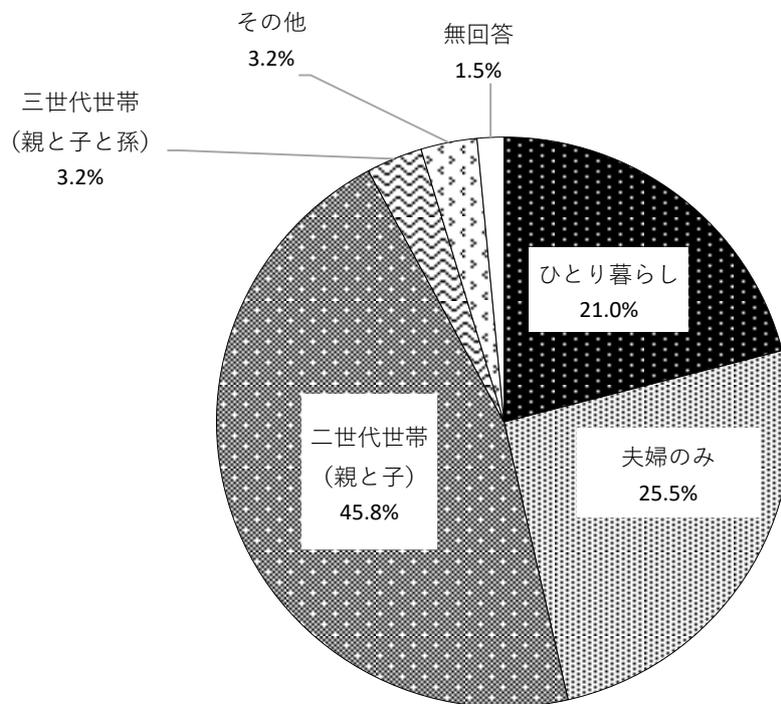
(5) 居住地域

全体 n=601



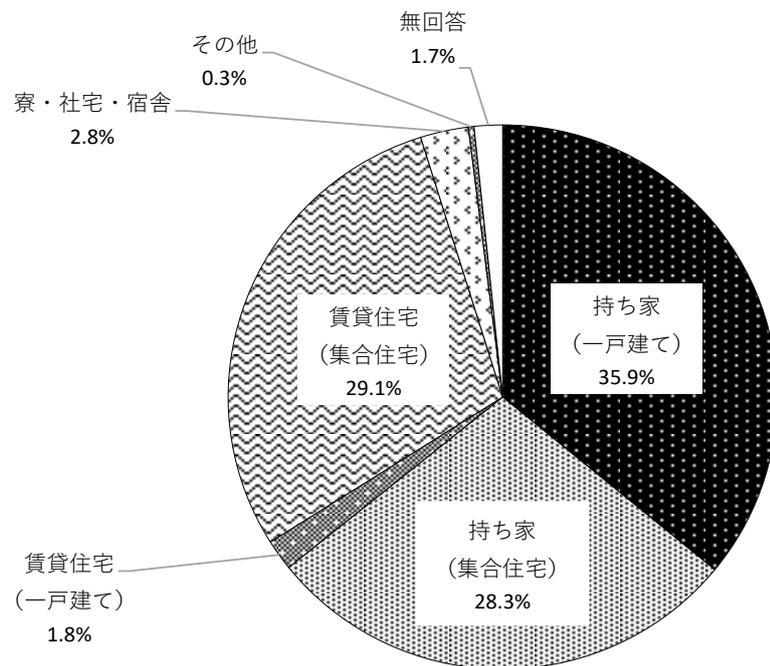
(6) 家族構成

全体 n=601

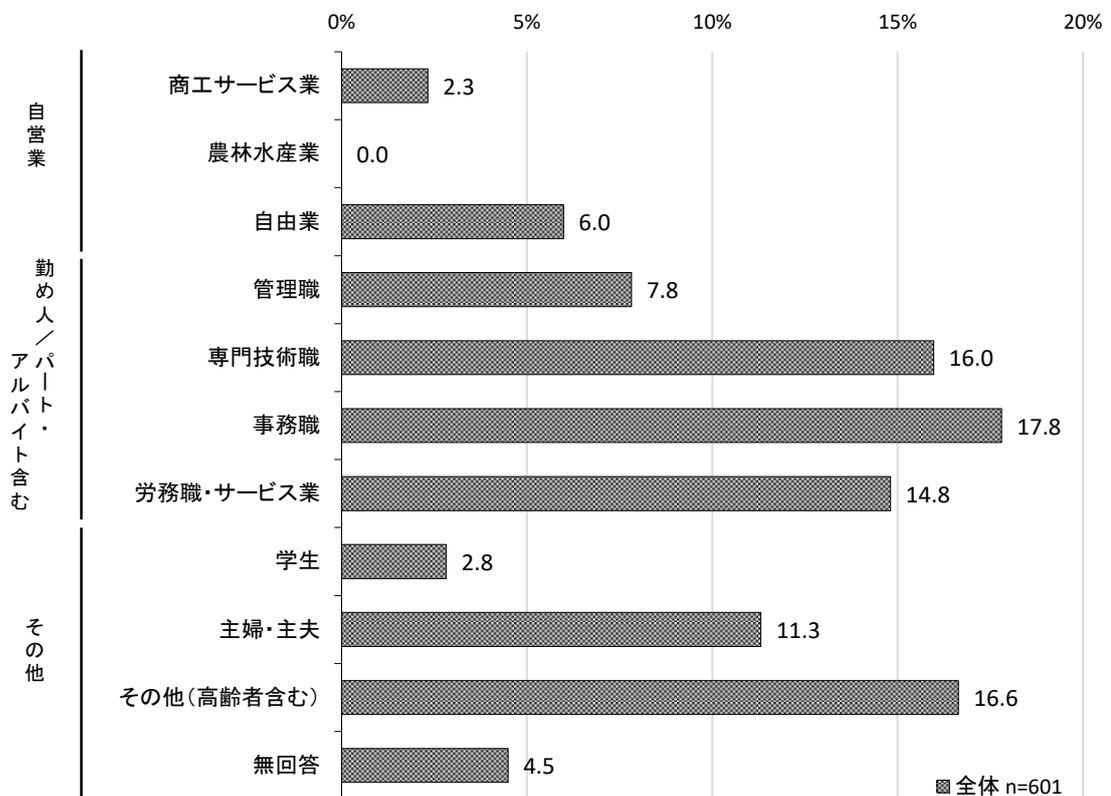


(7) 住まいの種類

全体 n=601

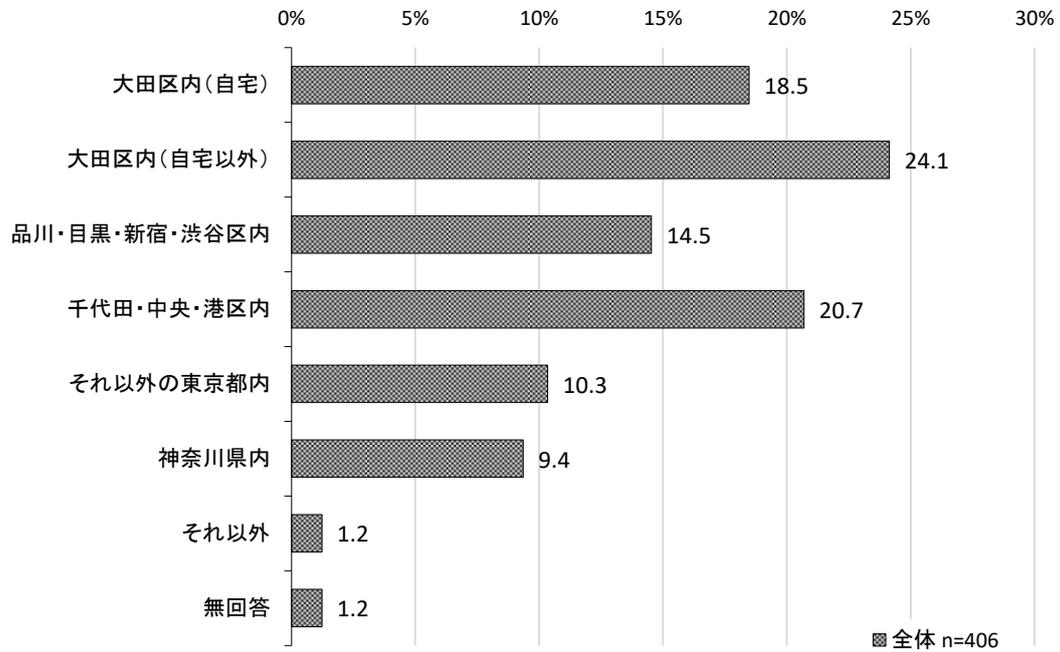


(8) 職業

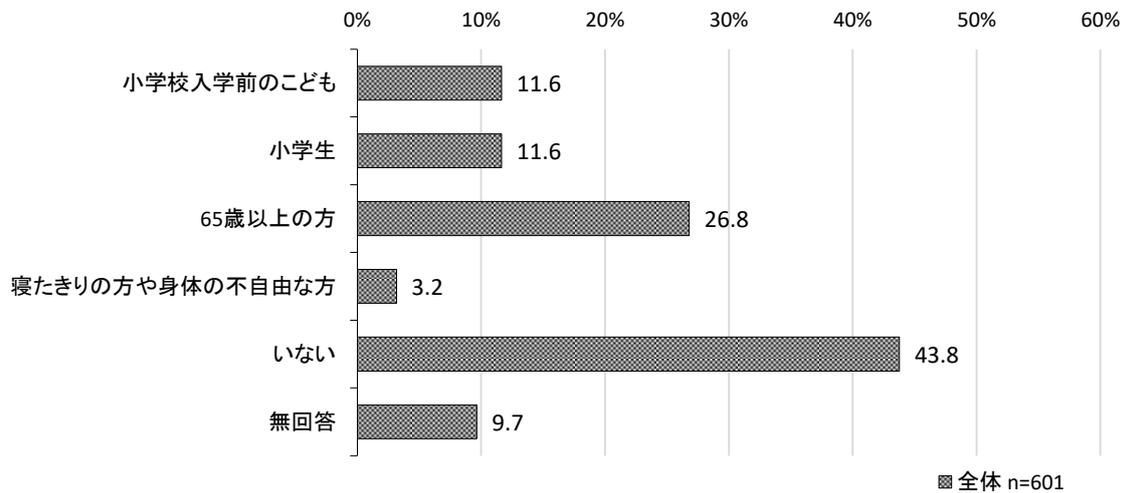


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

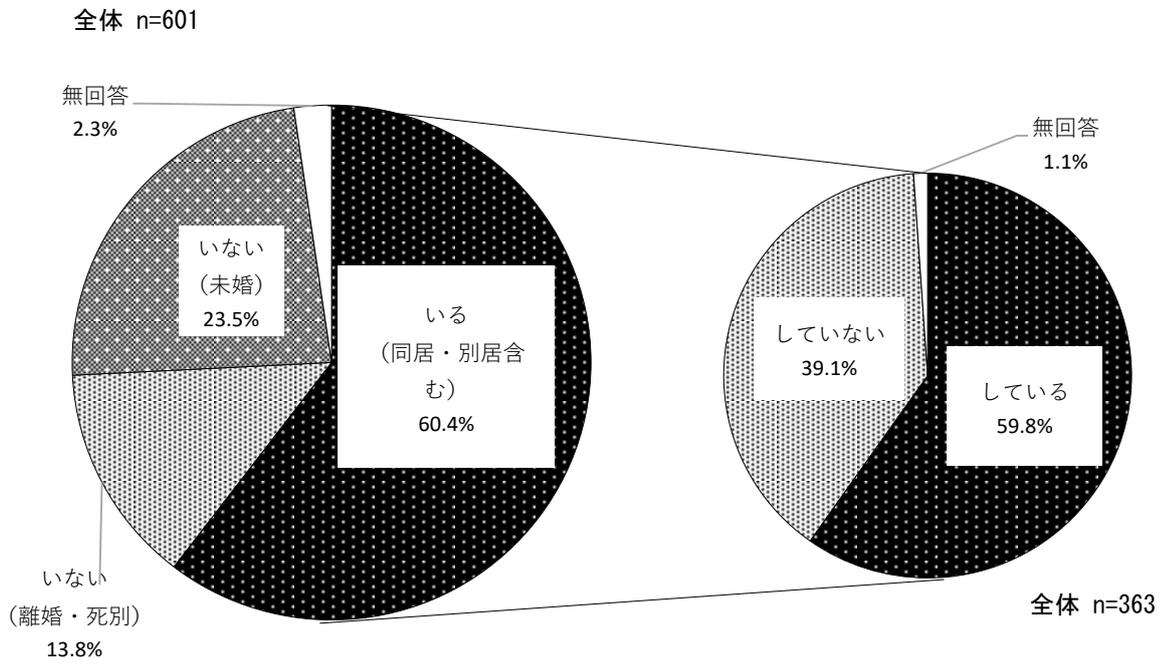


(10) 同居家族

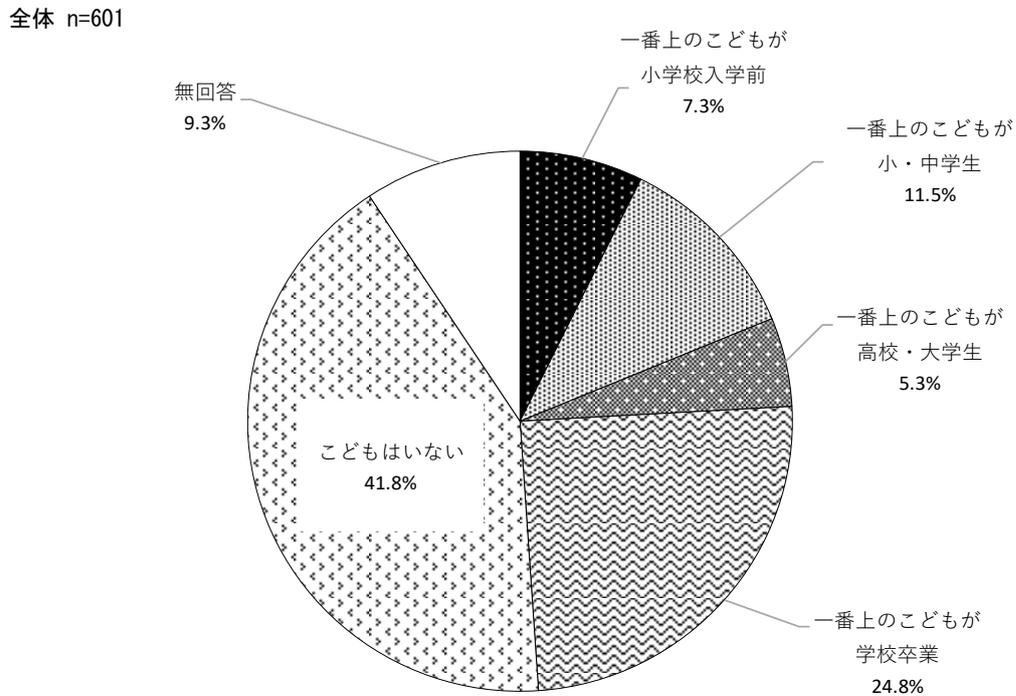


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

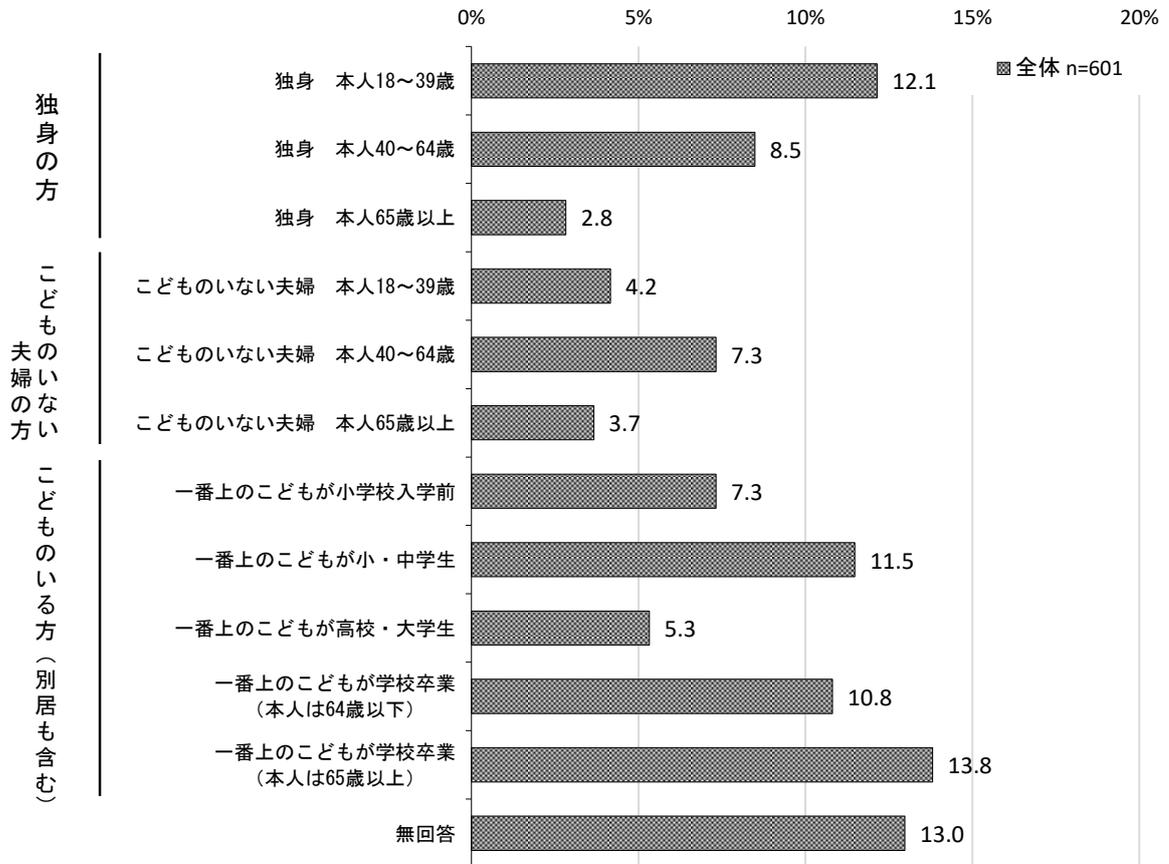
【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】



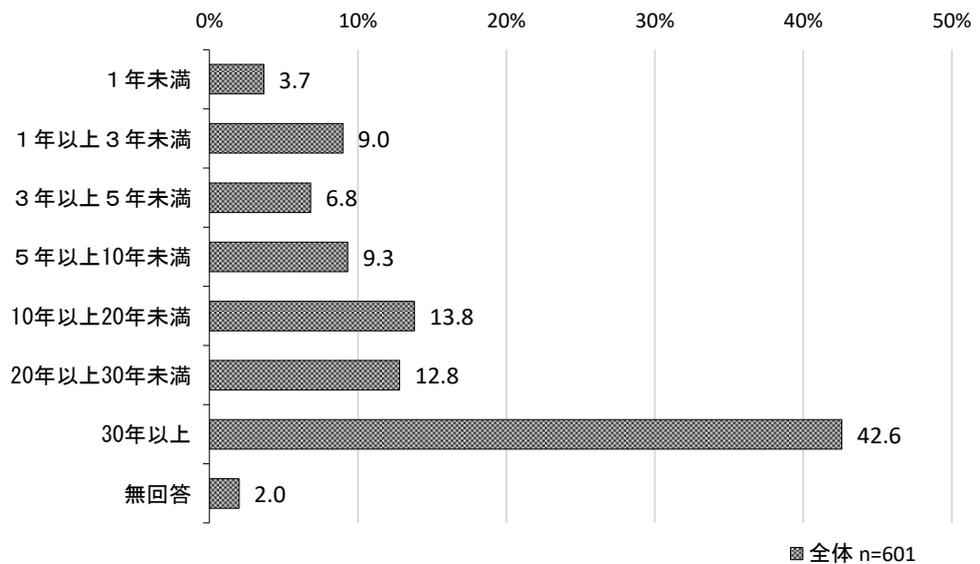
(13) こどもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



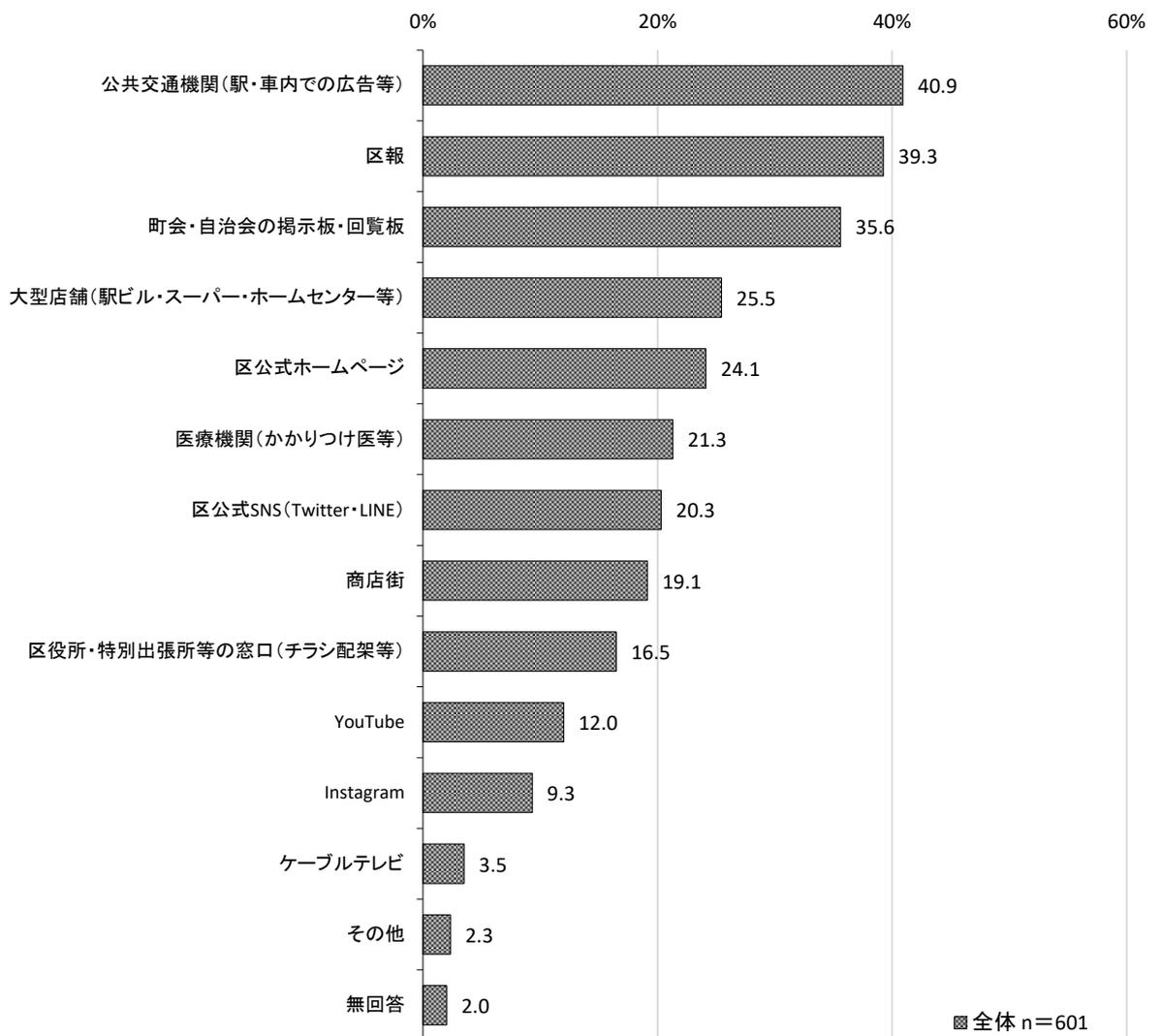
2 安全・安心について

(1) 防災への取組情報を取得したい場所

◇「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が4割前半で最も高くなっている

問1 「大田区防災アプリ」をはじめとする区の防災への取組に関する情報は、普段どのような場所で目にできると、より万が一の際の備えを進めたくなく感じますか。（複数選択可）

防災への取組情報を取得したい場所については、「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が40.9%で最も高く、次いで「区報」が39.3%、「町会・自治会の掲示板・回覧板」が35.6%となっている。

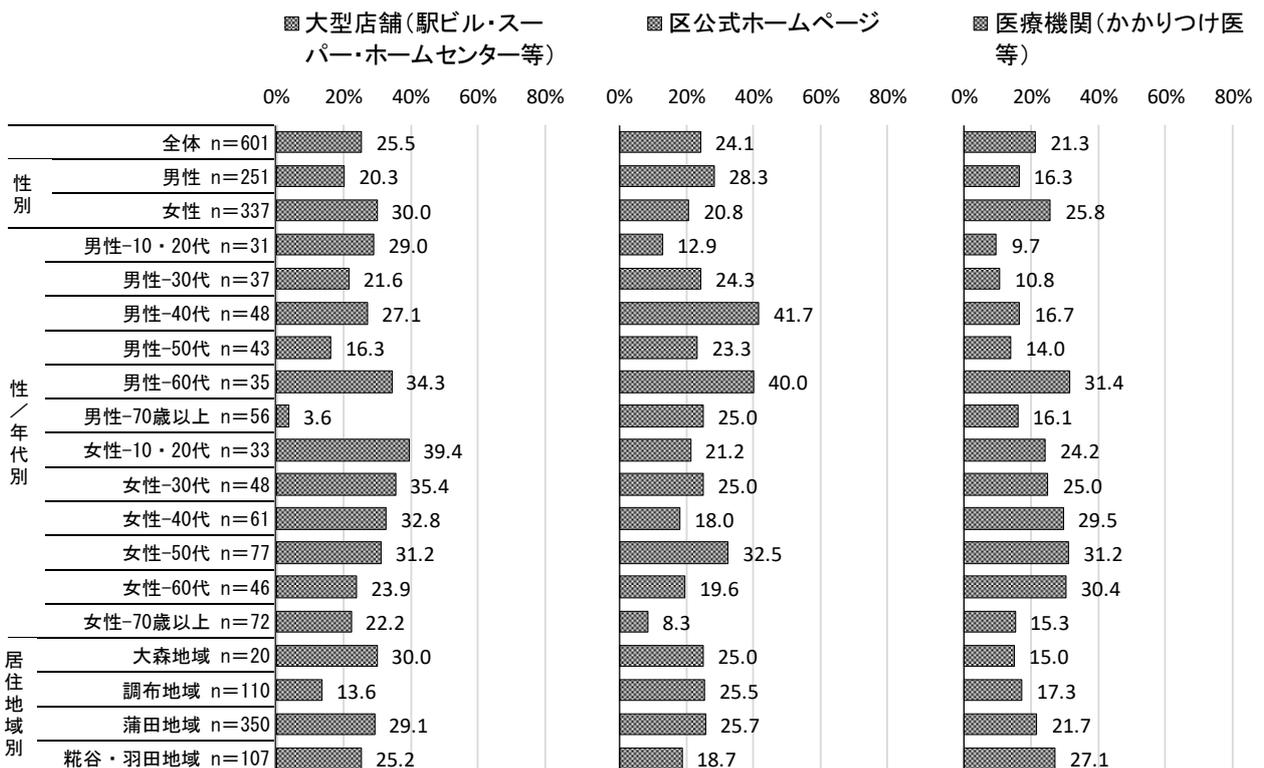
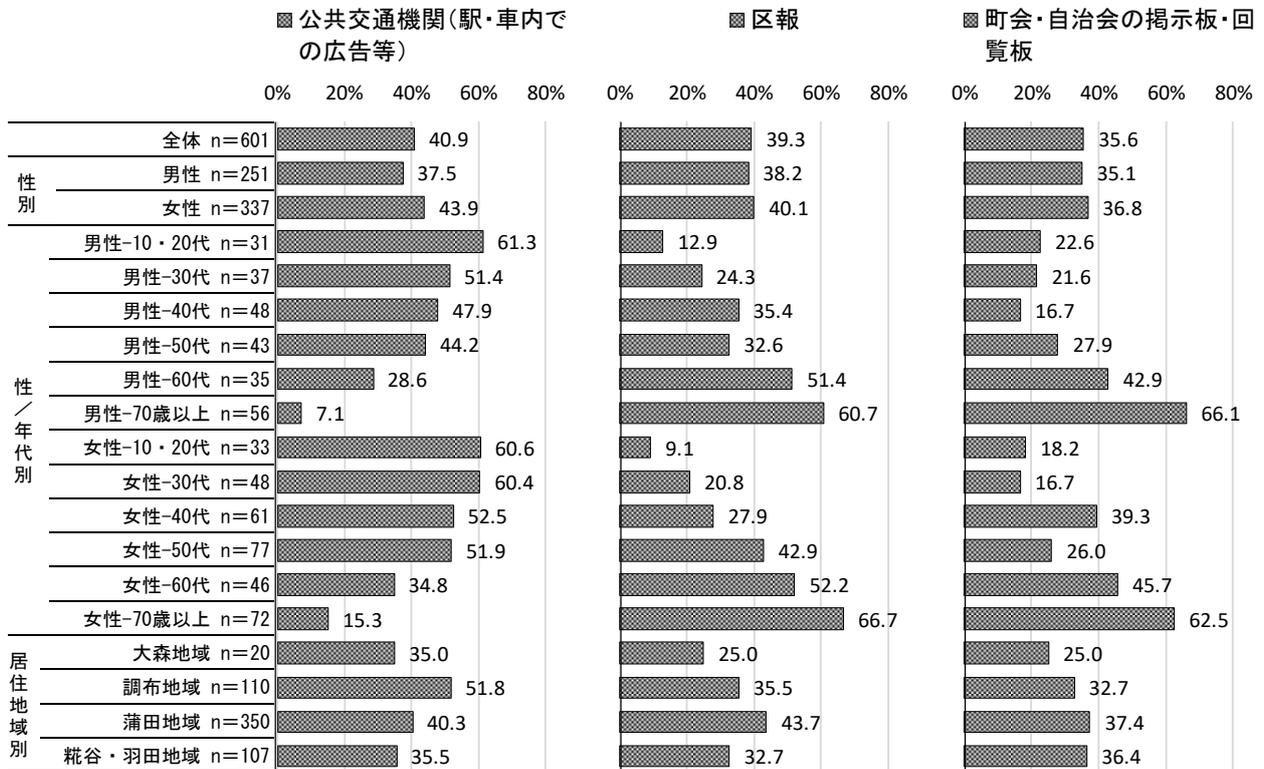


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「区報」が、女性では「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、男性、女性ともに「区報」、「町会・自治会の掲示板・回覧板」が70歳以上で6割以上と高くなっている。

居住地域別で見ると、「公共交通機関（駅・車内での広告等）」は調布地域で5割前半と高くなっている。



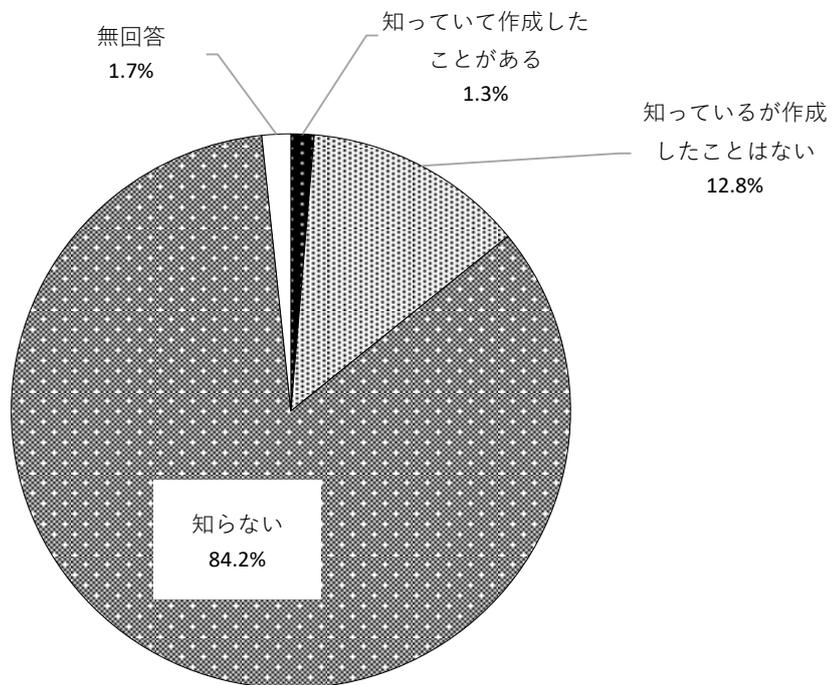
(2) 「マイ・タイムライン」の認知度

◇ 《知っている》（「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値）は1割前半となっている

問2 マイ・タイムラインを知っていますか。（1つのみ）

“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値《知っている》が14.1%である一方で、「知らない」が84.2%と、「知らない」が70.1ポイント上回っている。

全体 n=601

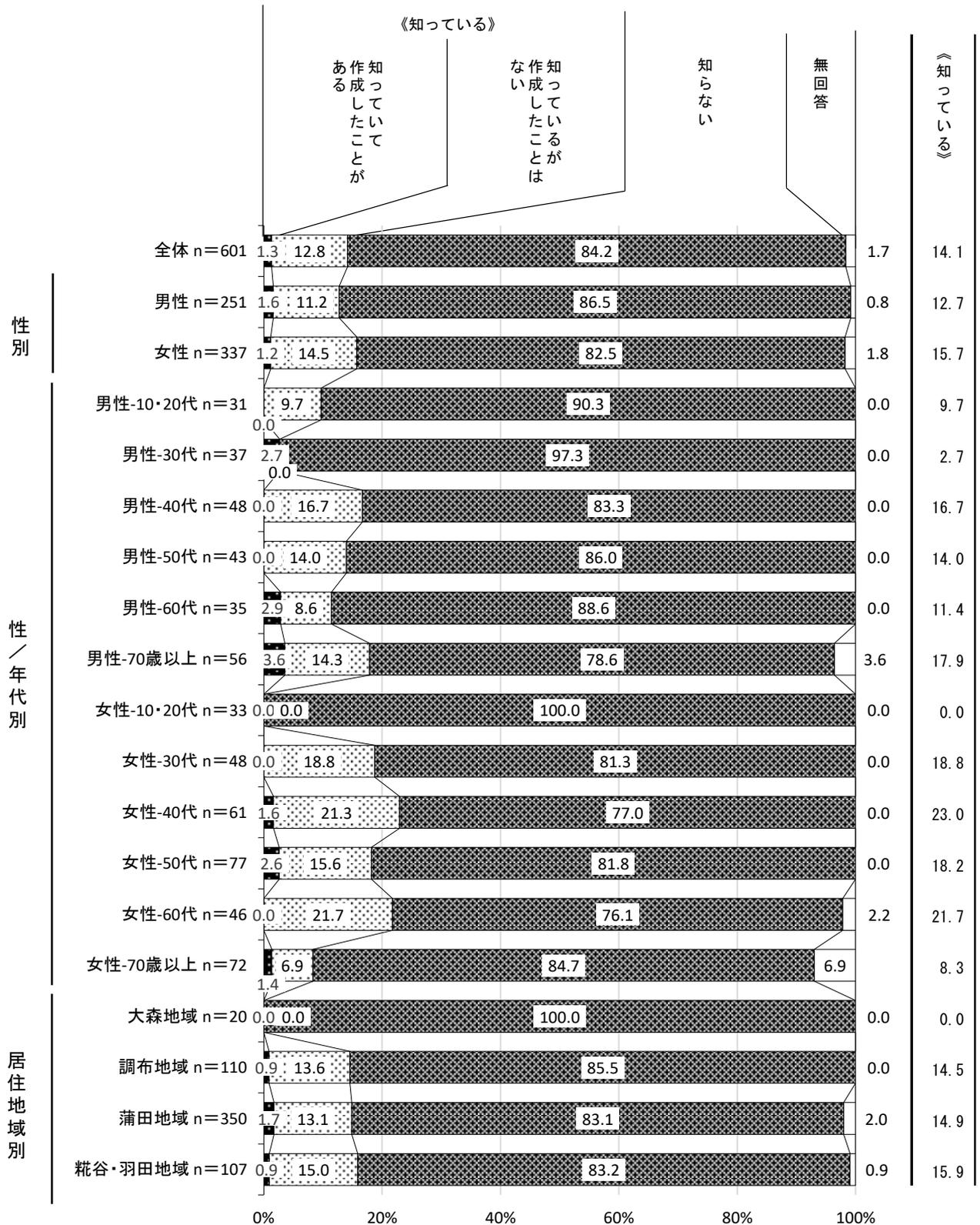


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《知っている》は男性 12.7%、女性 15.7%と女性が3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性では40代、70歳以上で1割後半、女性では40代、60代で2割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、大きな差はみられない。



(3) 「マイ・タイムライン」の作成方法

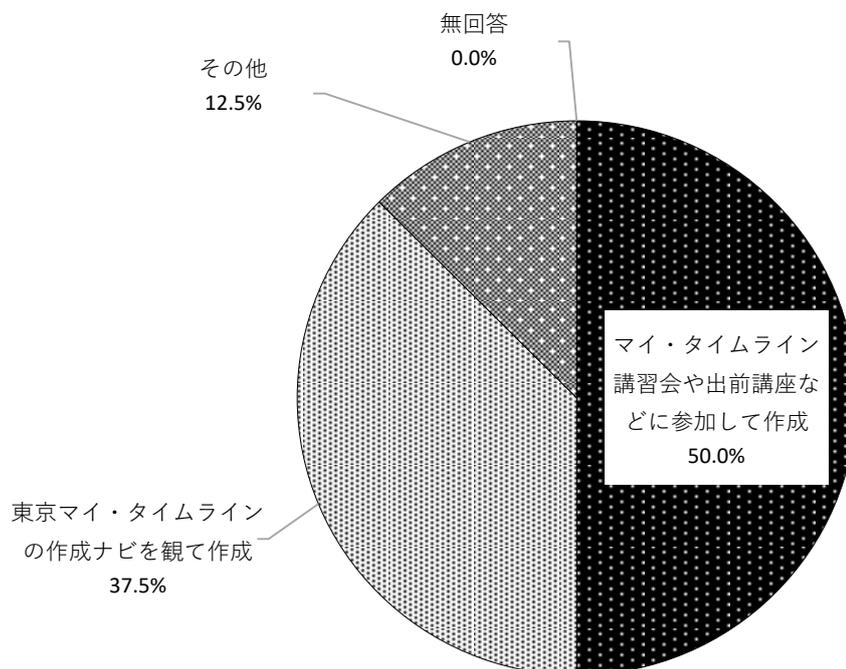
◇「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が5割となっている

【問2で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問2-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が50.0%で最も高く、次いで「東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成」が37.5%、「その他」が12.5%となっている。

全体 n=8



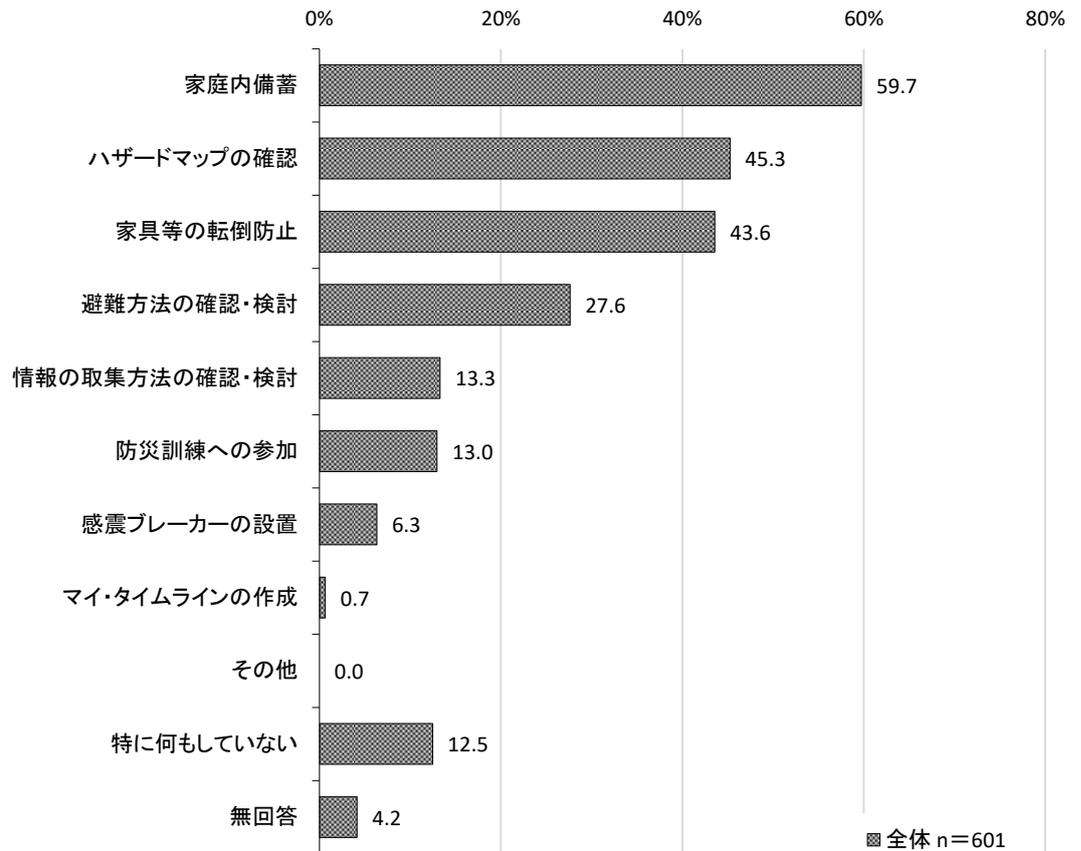
(4) 災害から身を守るための取り組み

◇「家庭内備蓄」が約6割で最も高くなっている

問3 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取り組みについては、「家庭内備蓄」が59.7%で最も高く、次いで「ハザードマップの確認」が45.3%、「家具等の転倒防止」が43.6%となっている。

なお、「特に何もしていない」は12.5%となっている。

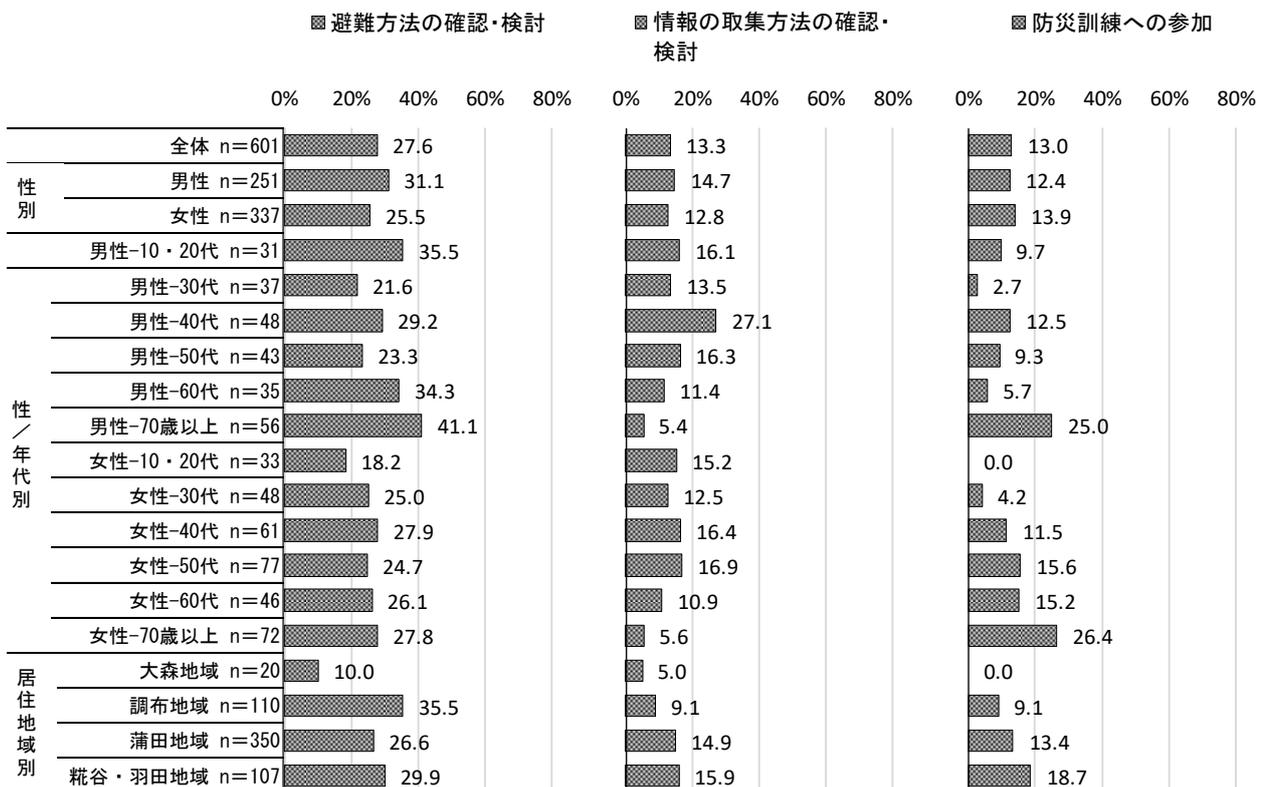
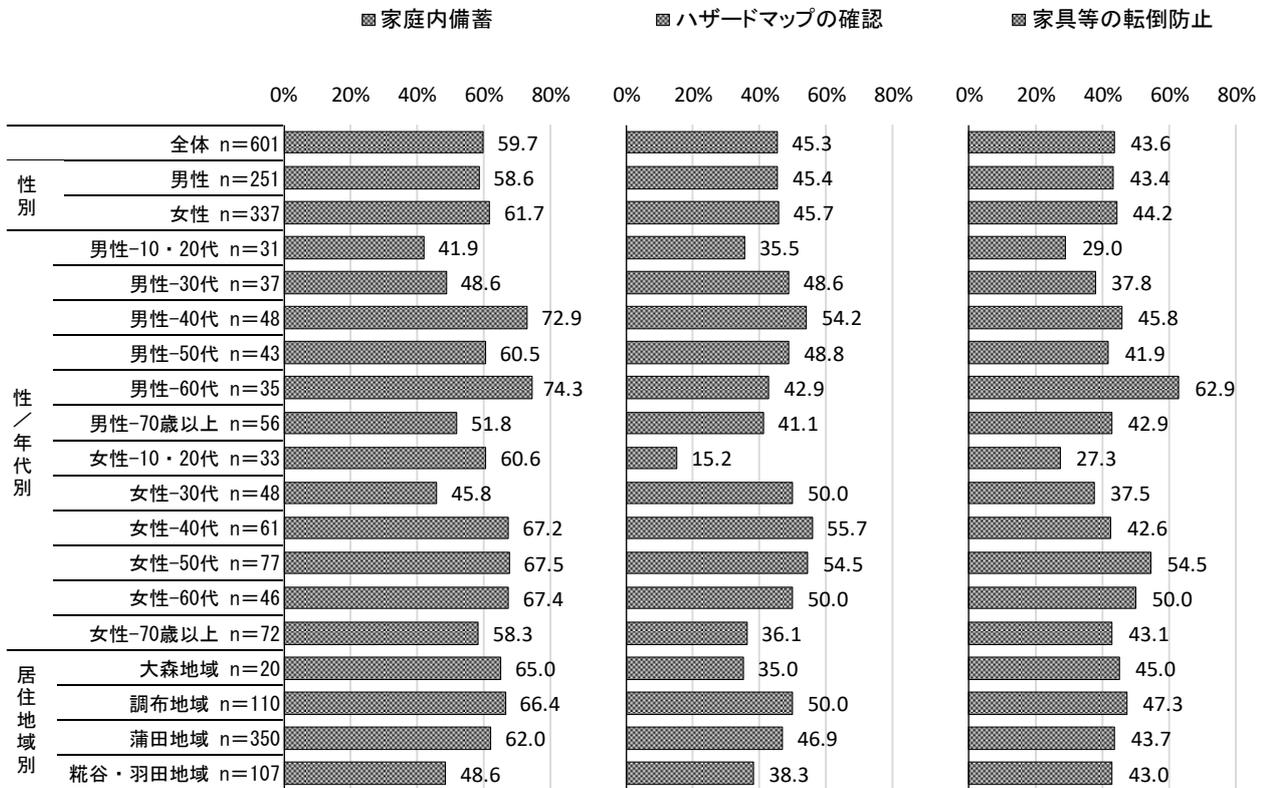


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「家庭内備蓄」は男性では40代、60代で7割前半、女性では40代～60代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「家庭内備蓄」は調布地域で6割後半と高くなっている。



(5) 水害リスクの認知度

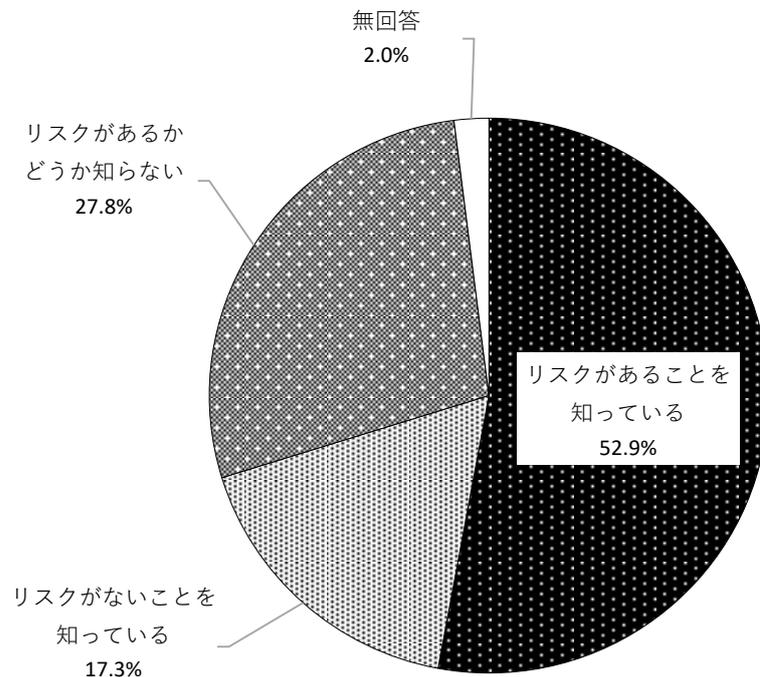
◇《知っている》(「リスクがあることを知っている」、「リスクがないことを知っている」)の合計値は約7割となっている

問4 ご自宅の水害リスクを知っていますか。(1つのみ)

水害リスクの認知度については、「リスクがあることを知っている」、「リスクがないことを知っている」の合計値《知っている》が70.2%となっている。

なお「リスクがあるかどうか知らない」が27.8%となっている。

全体 n=601

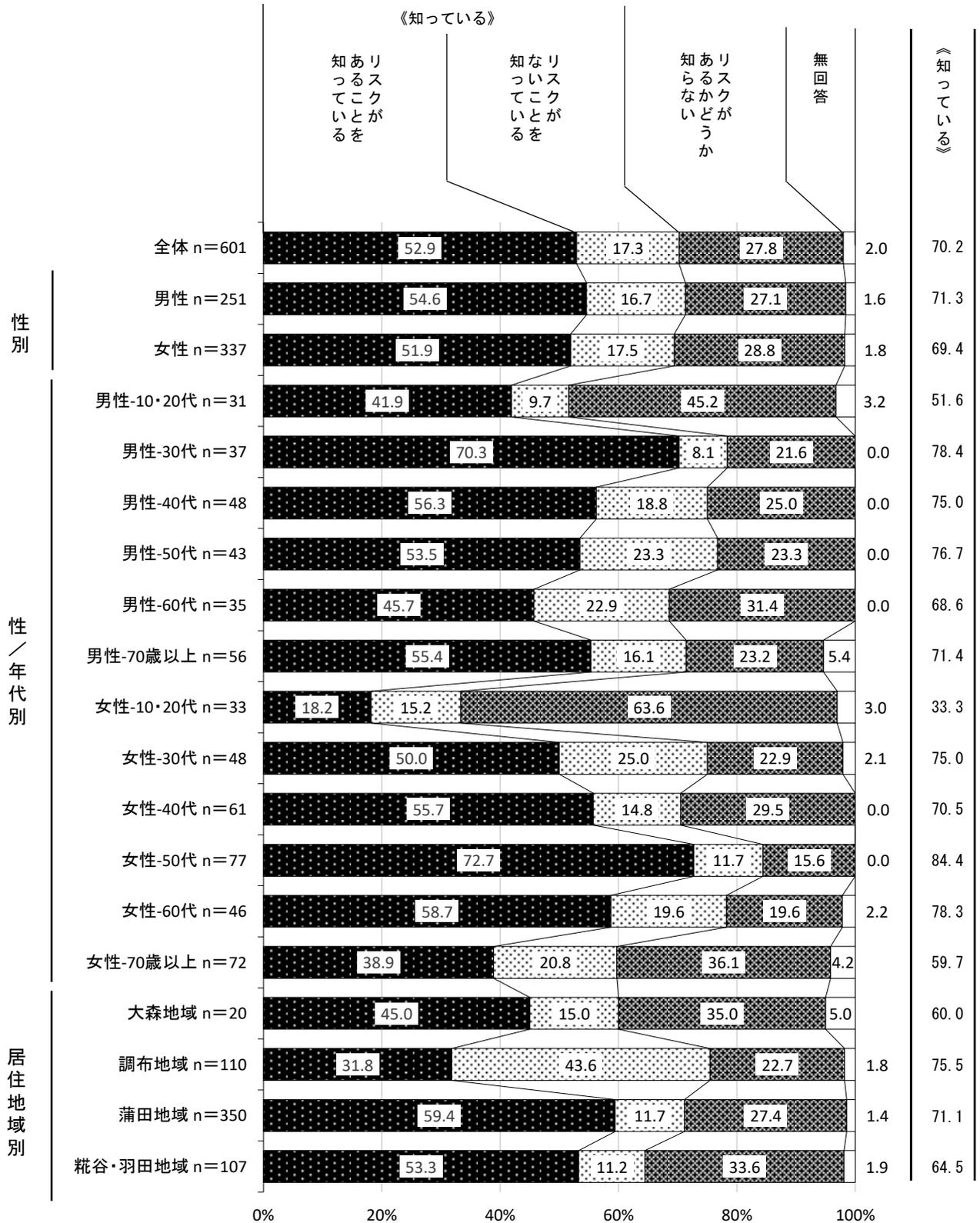


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性では30代、50代で7割後半、女性では50代で8割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《知っている》は調布地域で7割半ばと高くなっている。

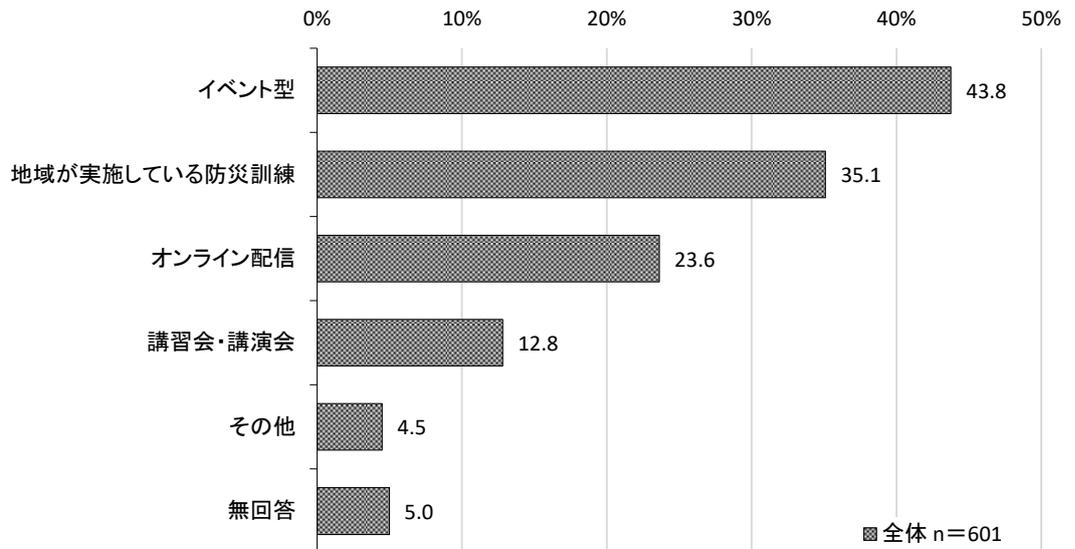


(6) 参加したいと思う防災訓練の形式

◇「イベント型」が4割前半で最も高くなっている

問5 どのような防災訓練等に参加したいですか。(複数選択可)

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が43.8%で最も高く、次いで「地域が実施している防災訓練」が35.1%、「オンライン配信」が23.6%となっている。

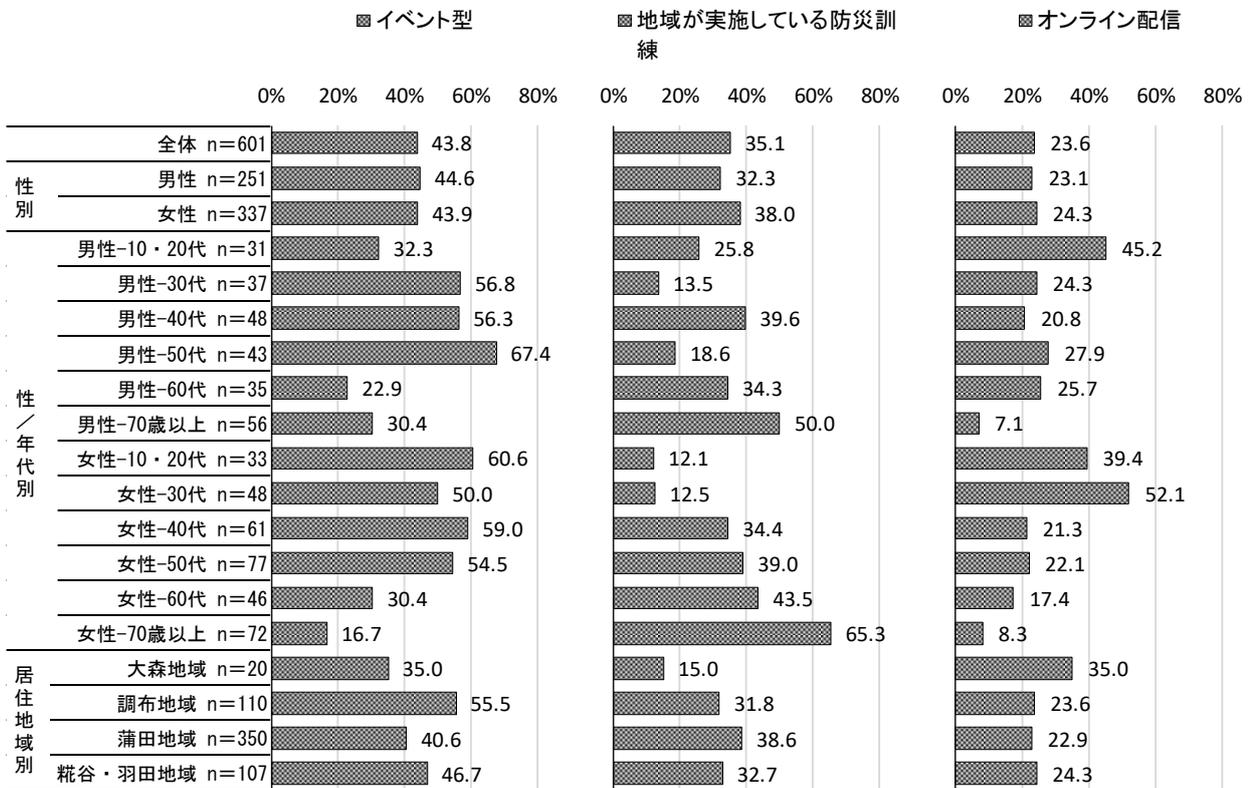


■性別・性／年代別・居住地域別

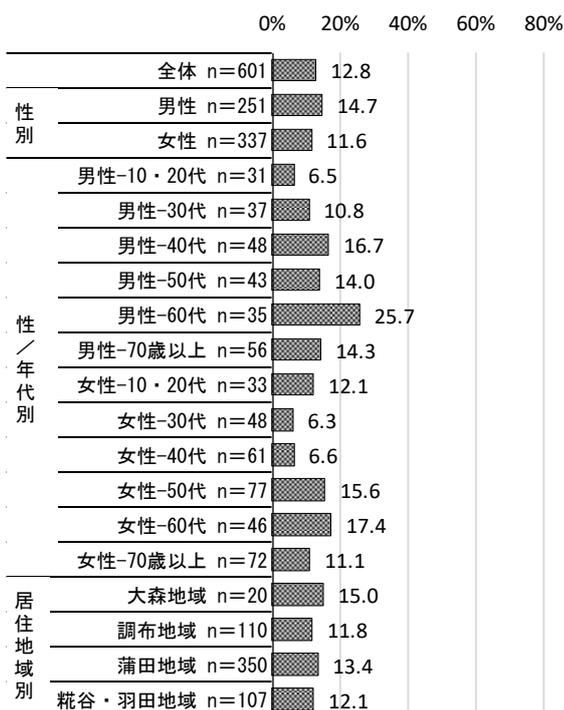
性別で見ると、男性、女性ともに「イベント型」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「イベント型」は男性では50代で6割後半、女性では10・20代で6割前半と高くなっている。「地域が実施している防災訓練」は男性70歳以上で5割、女性70歳以上で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「イベント型」は調布地域で5割半ばと高くなっている。



■ 講習会・講演会



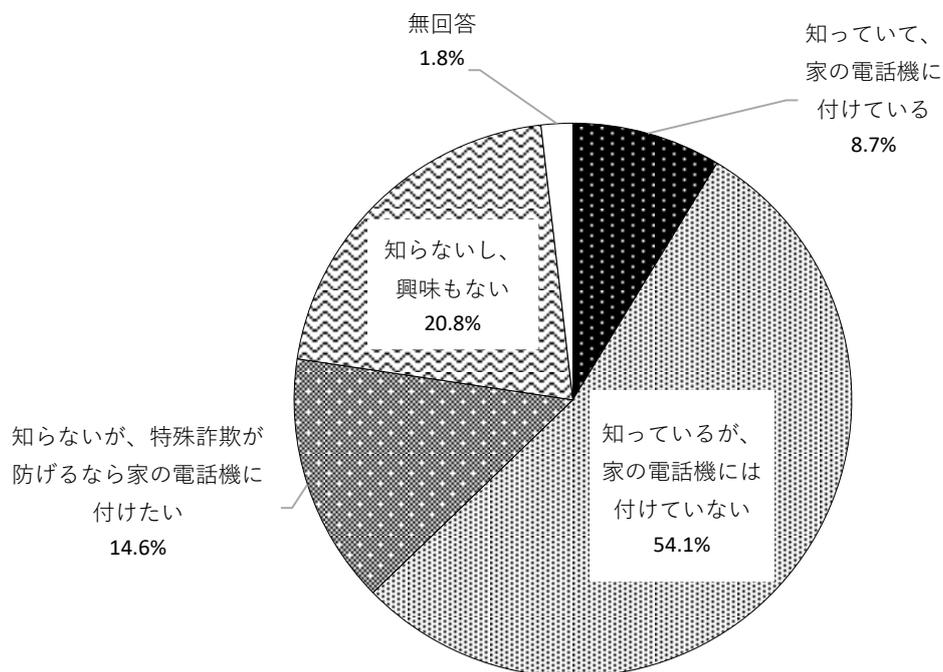
(7) 「自動通話録音機」の認知度

◇《知っている》(「知っている、家の電話機に付けている」、「知っているが、家の電話機には付けていない」の合計値)は6割前半となっている

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」を知っていますか。(1つのみ)

“自動通話録音機”の認知度については、「知っている、家の電話機に付けている」、「知っているが、家の電話機には付けていない」の合計値《知っている》は62.7%で、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい」、「知らないし、興味もない」の合計値《知らない》は35.4%となっている。

全体 n=601

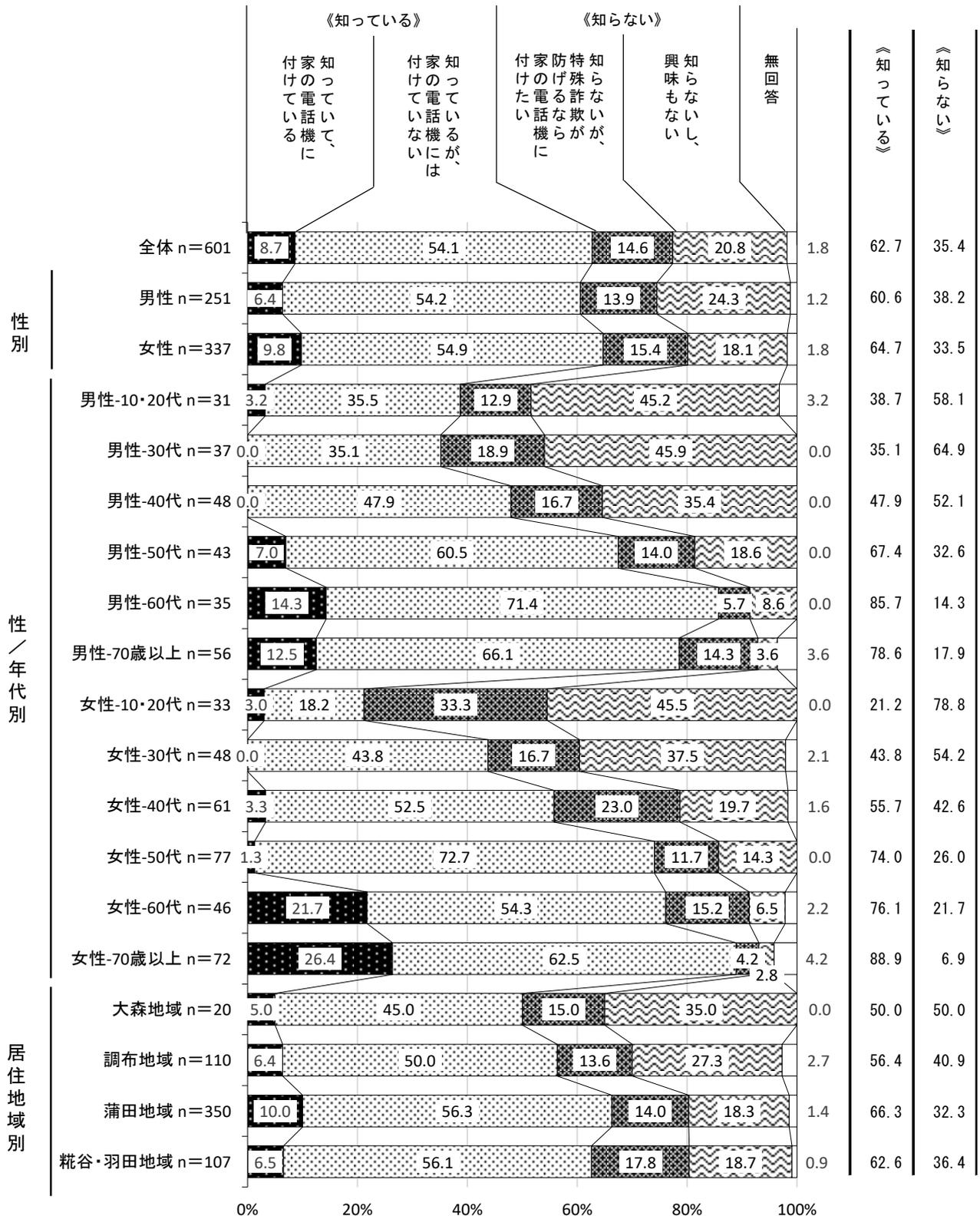


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《知っている》は男性 60.6%、女性 64.7%と女性が 4.1 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性 60代で 8割半ば、女性 70歳以上で 8割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《知っている》は蒲田地域で 6割後半と高くなっている。



3 商店街について

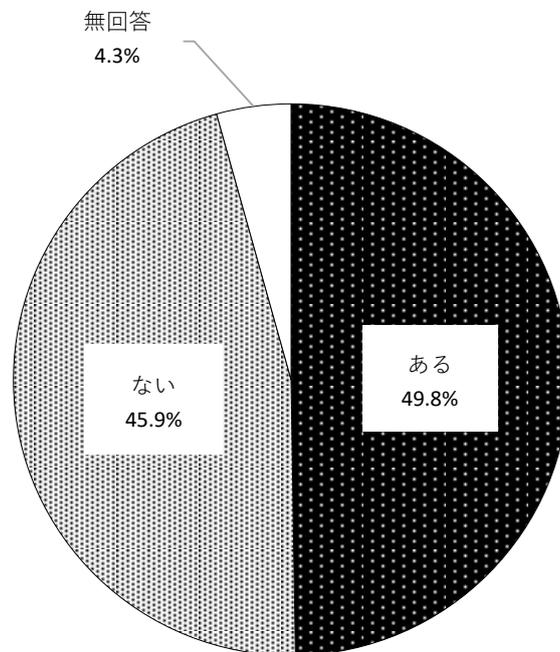
(1) 今後も残ってほしい商店

◇「ある」は約5割となっている

**問7 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
(1つのみ)**

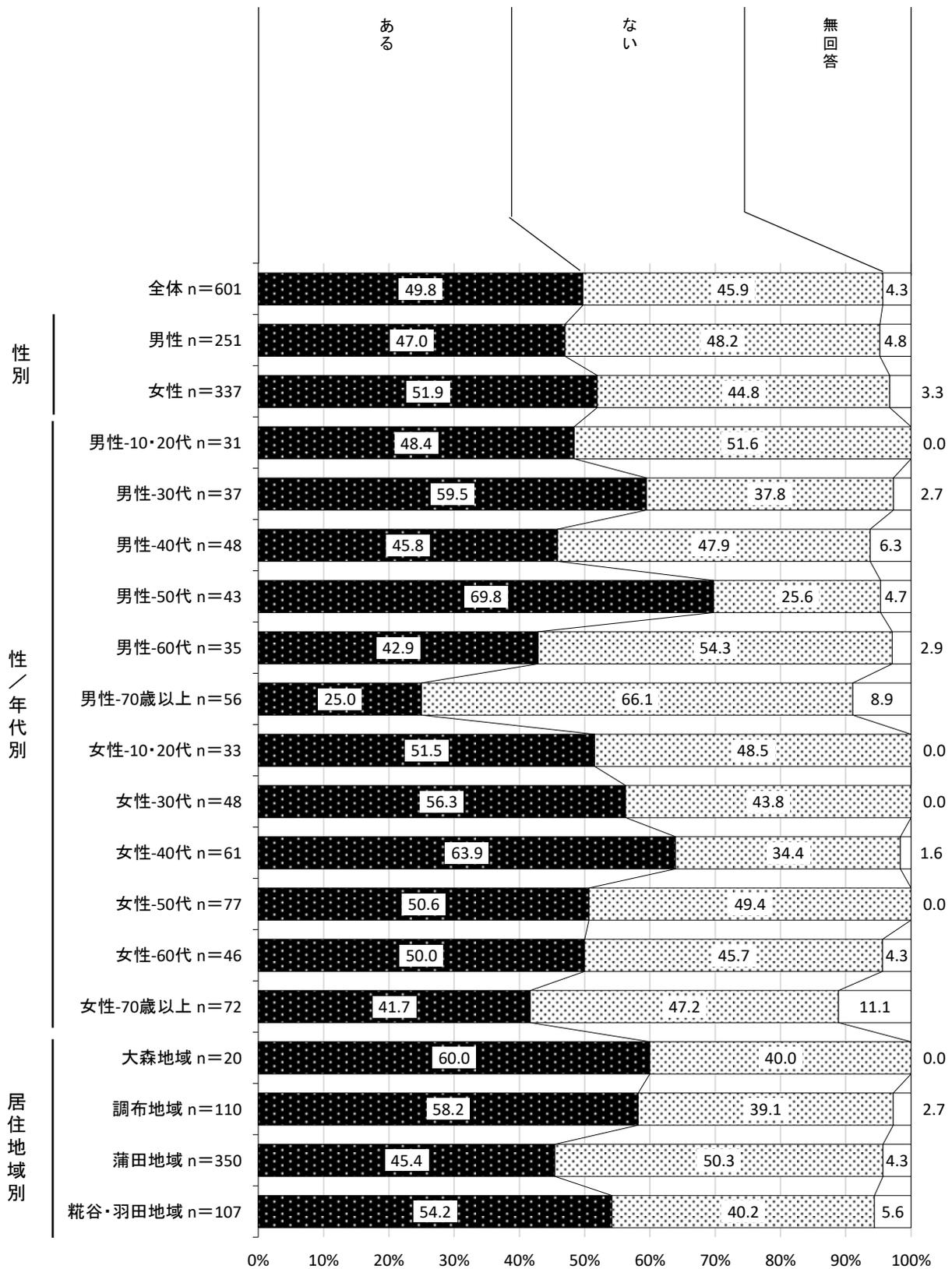
今後もずっと残ってほしいと思う個人商店の有無については、「ある」が49.8%、「ない」が45.9%と、「ある」が3.9ポイント上回っている。

全体 n=601



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「ある」は男性が47.0%、女性が51.9%と、女性が4.9ポイント上回っている。
 性／年代別で見ると、「ある」は男性では50代で約7割、女性では40代で6割前半と高くなっている。
 居住地域別で見ると、「ある」は調布地域で5割後半と高くなっている。



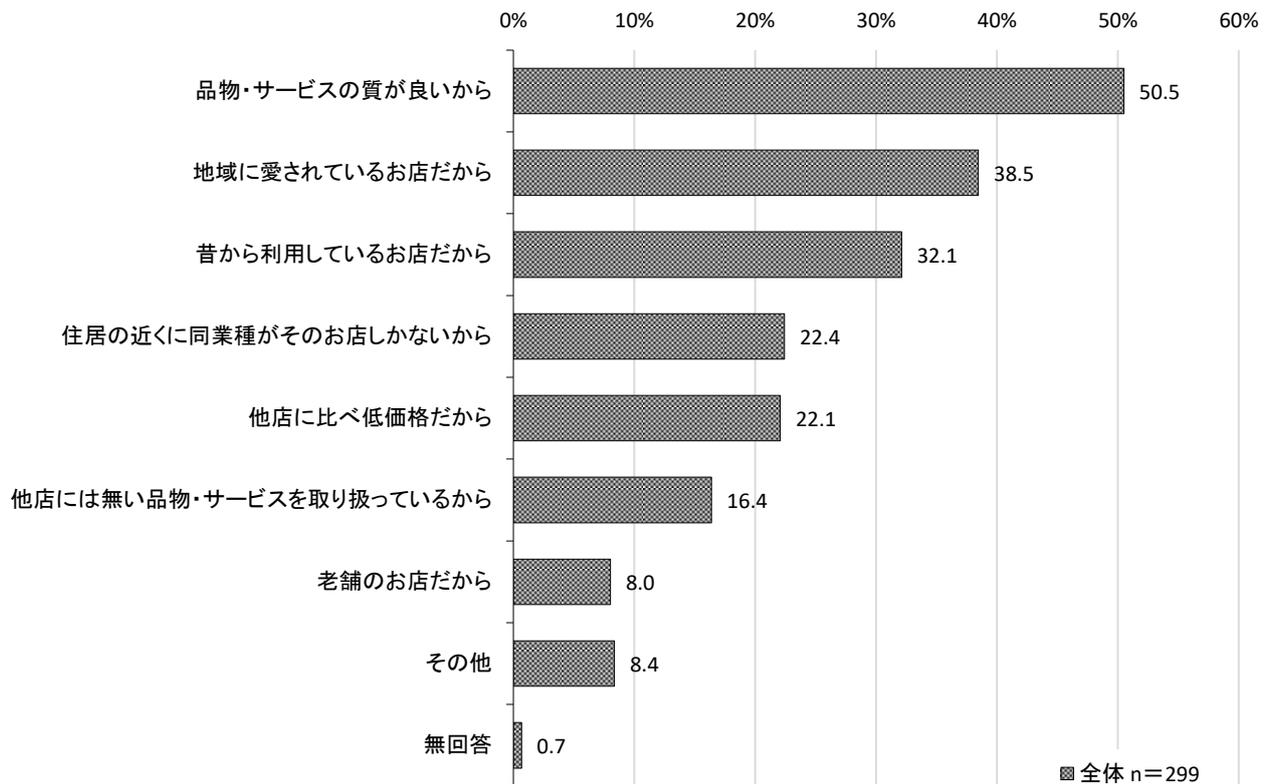
2) 今後も残ってほしい理由

◇「品物・サービスの質が良いから」が約5割で最も高くなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-1 「今後もずっと残ってほしい」と思う理由を選んでください。(複数選択可)

今後もずっと残ってほしいと思う理由については、「品物・サービスの質が良いから」が50.5%で最も高く、次いで「地域に愛されているお店だから」が38.5%、「昔から利用しているお店だから」が32.1%となっている。

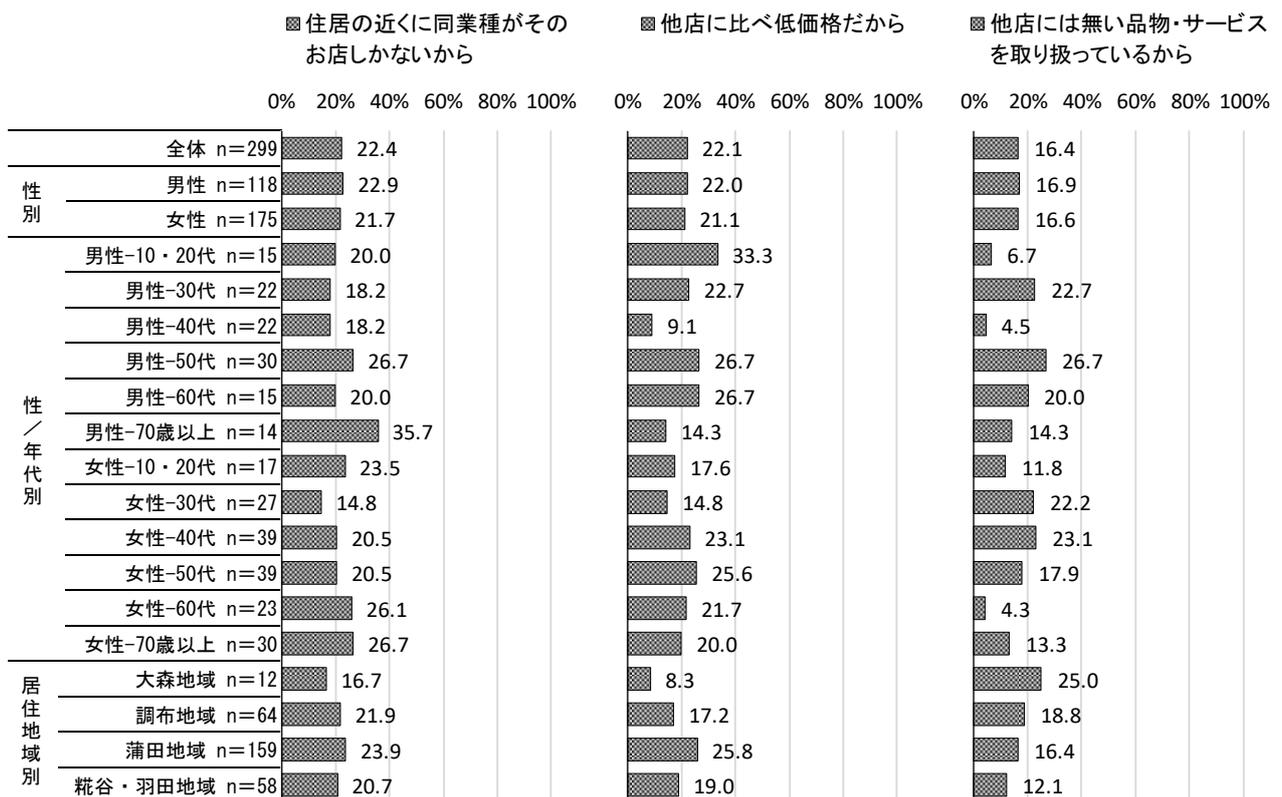
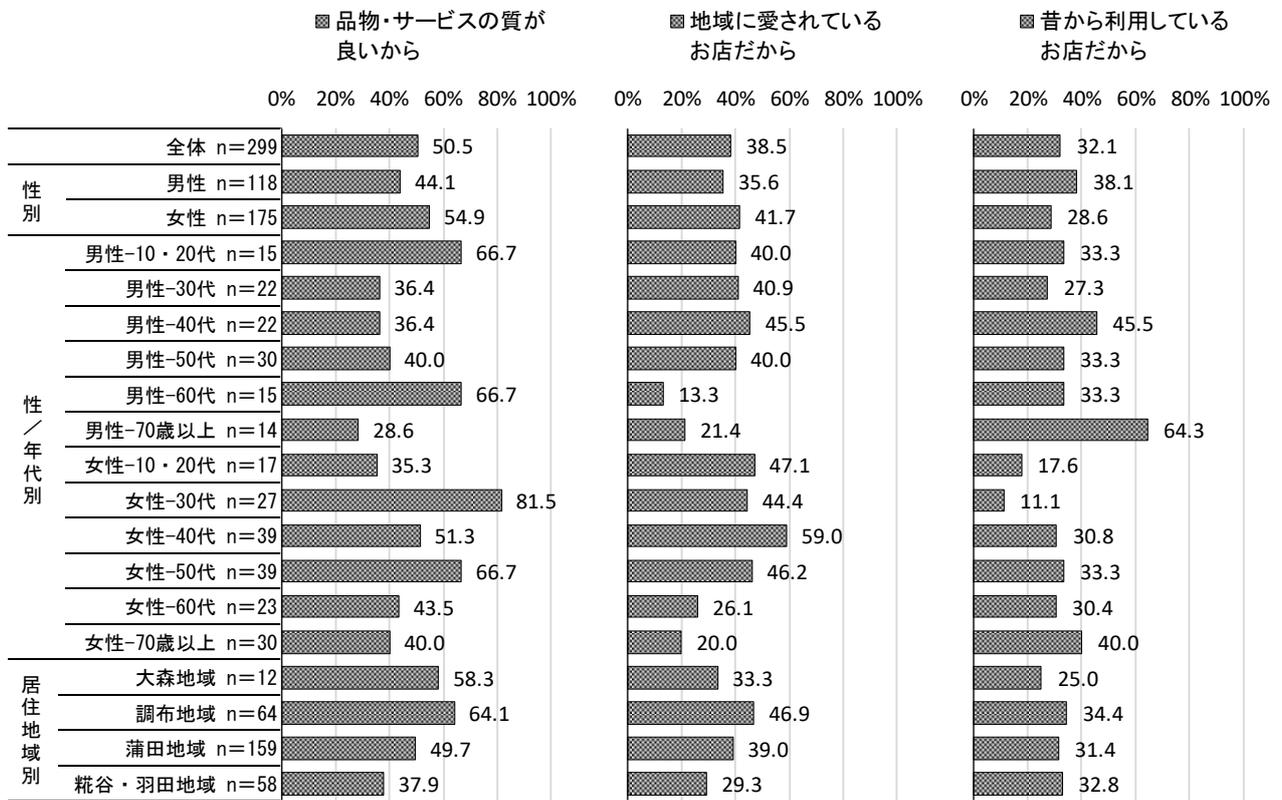


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「品物・サービスの質が良いから」が最も高く、男性は44.1%、女性は54.9%と、女性が10.8ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「品物・サービスの質が良いから」は女性50代、「地域に愛されているお店だから」は女性40代で高くなっている。

居住地域別でみると、「品物・サービスの質が良いから」は調布地域で6割前半と高くなっている。



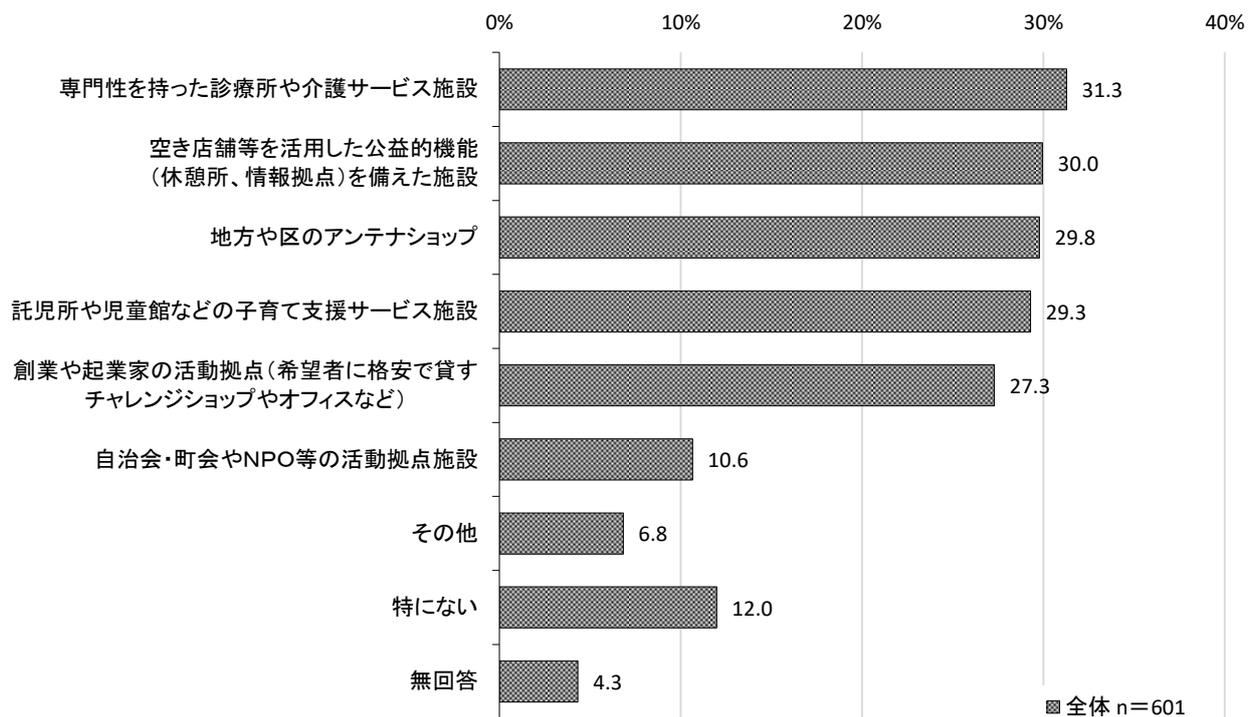
(3) 商店街に必要な施設

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が3割前半で最も高くなっている

問8 商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(複数選択可)

商店街に必要なと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が31.3%で最も高く、次いで「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が30.0%、「地方や区のアンテナショップ」が29.8%となっている。

なお、「特にない」は12.0%となっている。

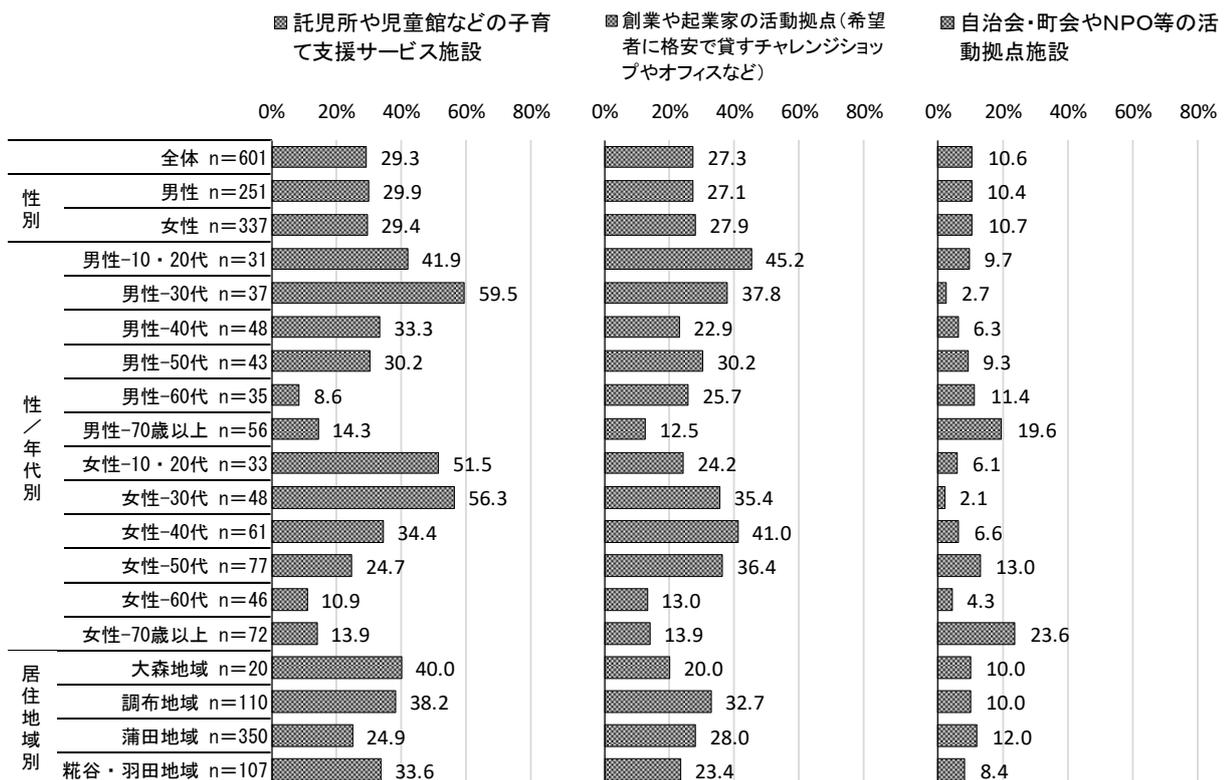
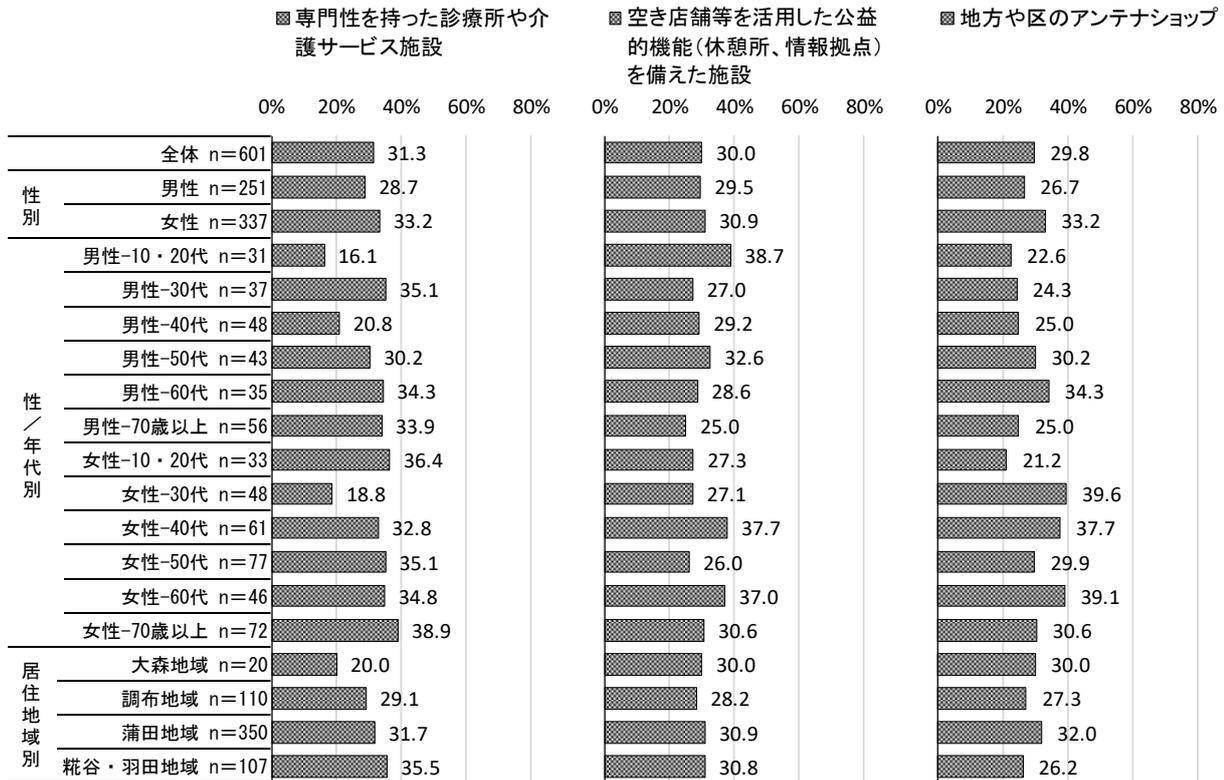


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」が、女性では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」、「地方や区のアンテナショップ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は男性では30代で約6割、女性では30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、調布地域では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」、蒲田地域では「地方や区のアンテナショップ」、糞谷・羽田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。



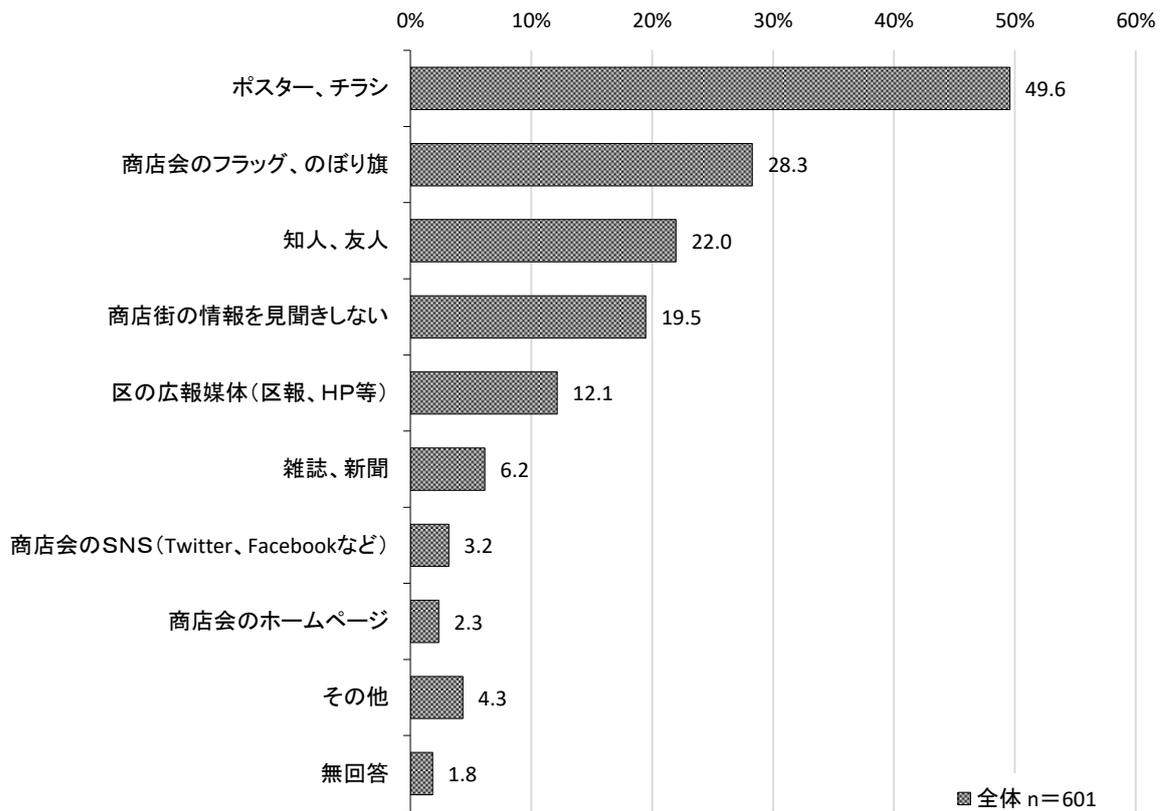
(4) 商店街の情報を見聞きする場所

◇「ポスター、チラシ」が約5割で最も高くなっている

問9 商店街の情報をどこで見聞きしますか。(複数選択可)

商店街の情報を見聞きする場所については、「ポスター、チラシ」が49.6%で最も高く、次いで「商店会のフラッグ、のぼり旗」が28.3%、「知人、友人」が22.0%となっている。

なお、「商店街の情報を見聞きしない」は19.5%となっている。

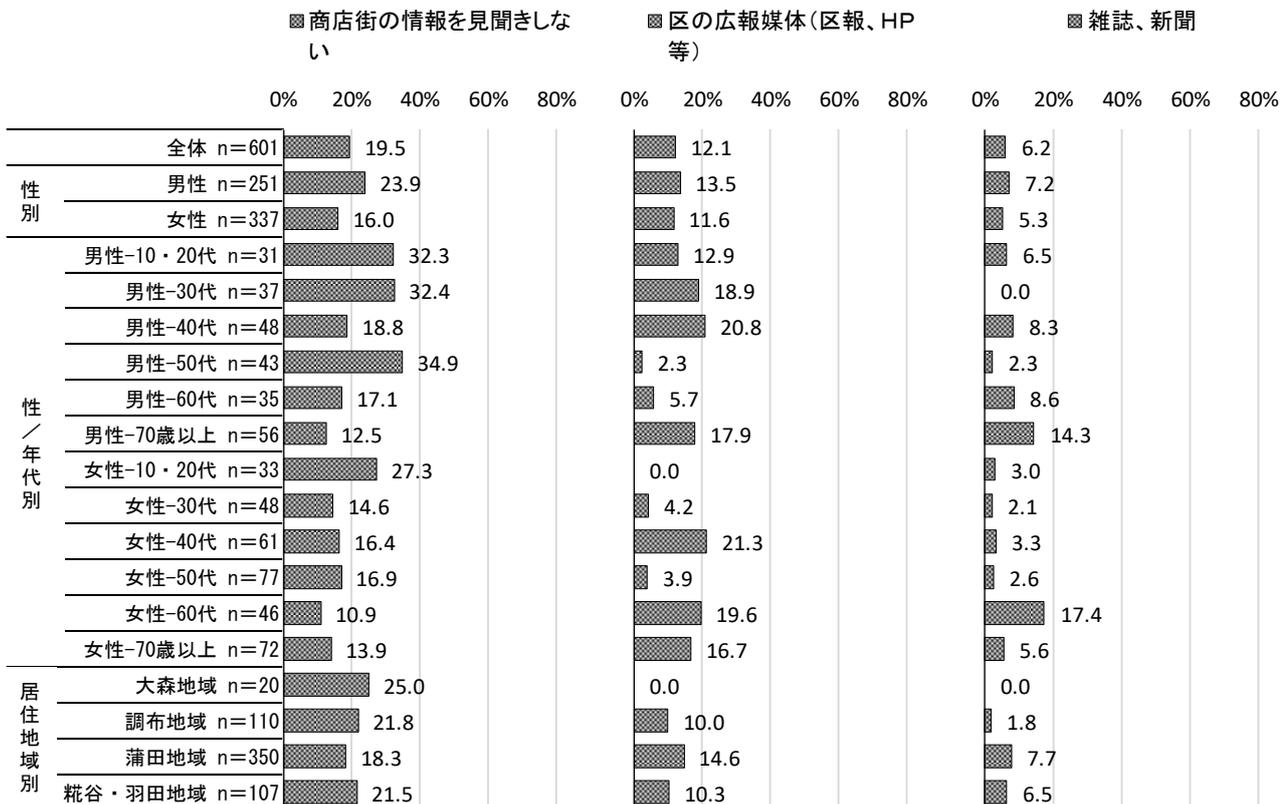
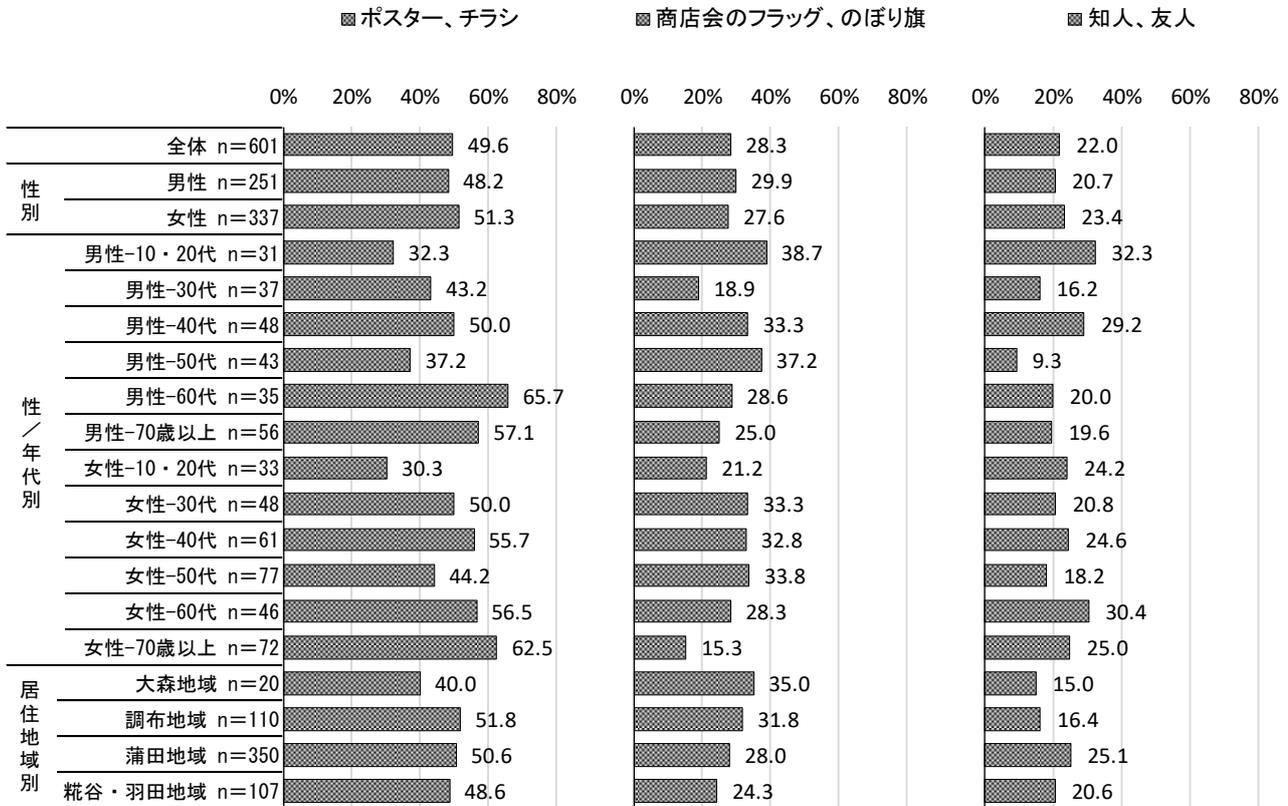


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「ポスター、チラシ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「ポスター、チラシ」は男性では60代で6割半ば、女性では70歳以上で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「ポスター、チラシ」はすべての地域で最も高くなっている。



4 キャッシュレスについて

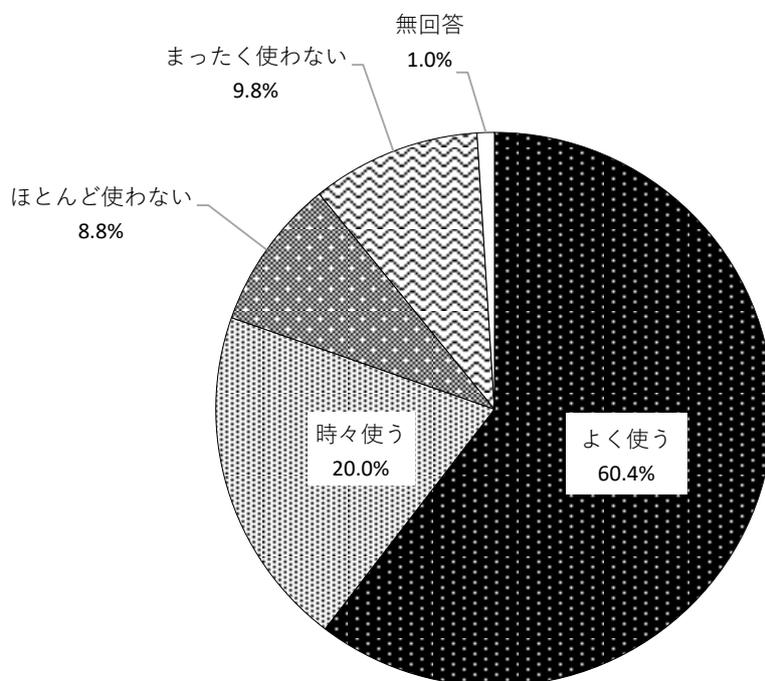
(1) キャッシュレスでの支払いの有無

◇ 《使う》（「よく使う」、「時々使う」の合計値）は約8割となっている

問 10 普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）

キャッシュレスでの支払いについては、「よく使う」、「時々使う」の合計値《使う》が80.4%、「ほとんど使わない」、「まったく使わない」の合計値《使わない》が18.6%と、《使う》が61.8ポイント高くなっている。

全体 n=601

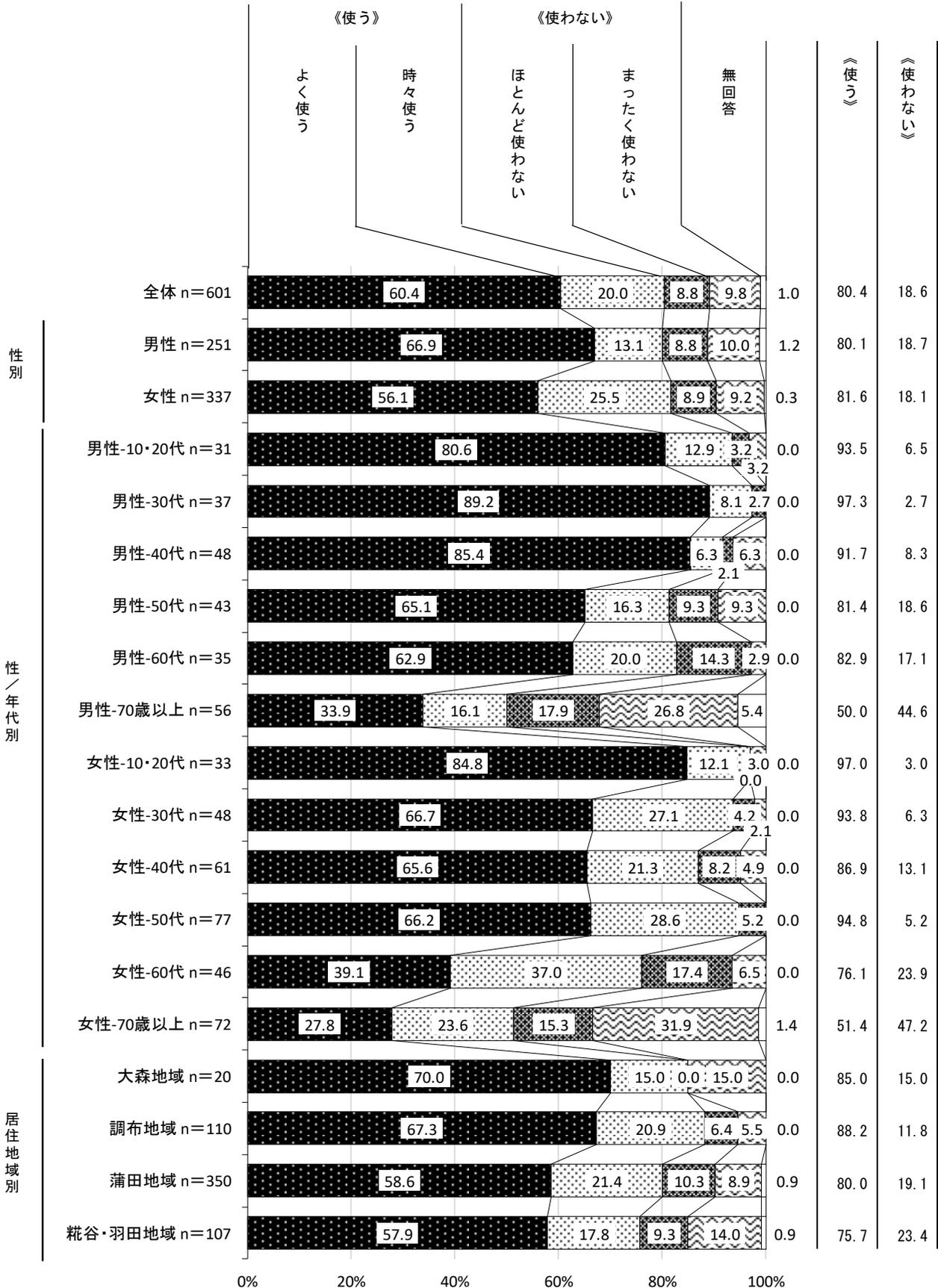


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《使う》は男性が80.1%、女性が81.6%と、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《使う》は男性、女性ともに70歳以上を除く全ての年代で7割以上となっている。

居住地域別で見ると、《使う》は調布地域で8割後半と高くなっている。



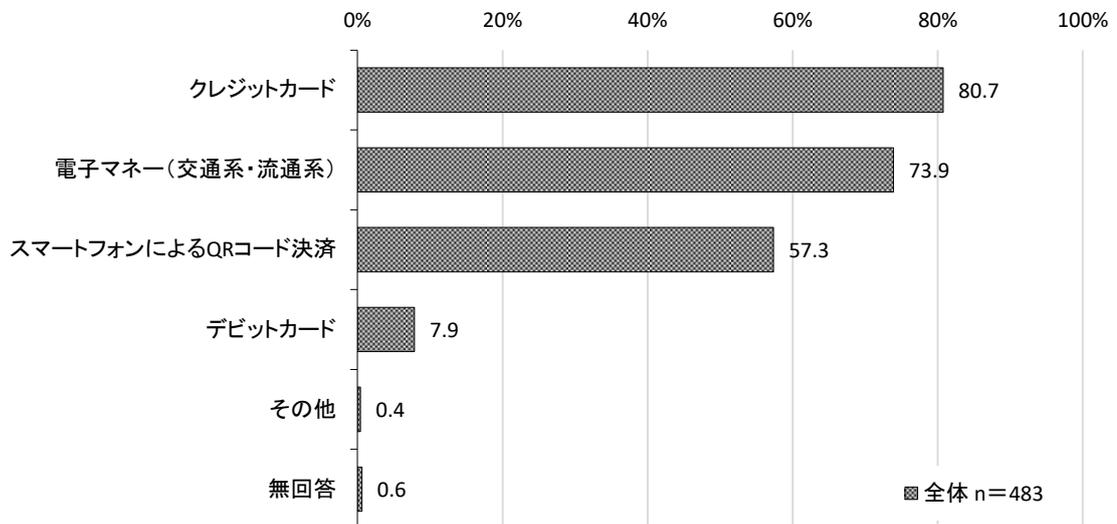
(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が8割前半で最も高くなっている

【問 10 で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が80.7%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が73.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が57.3%となっている。

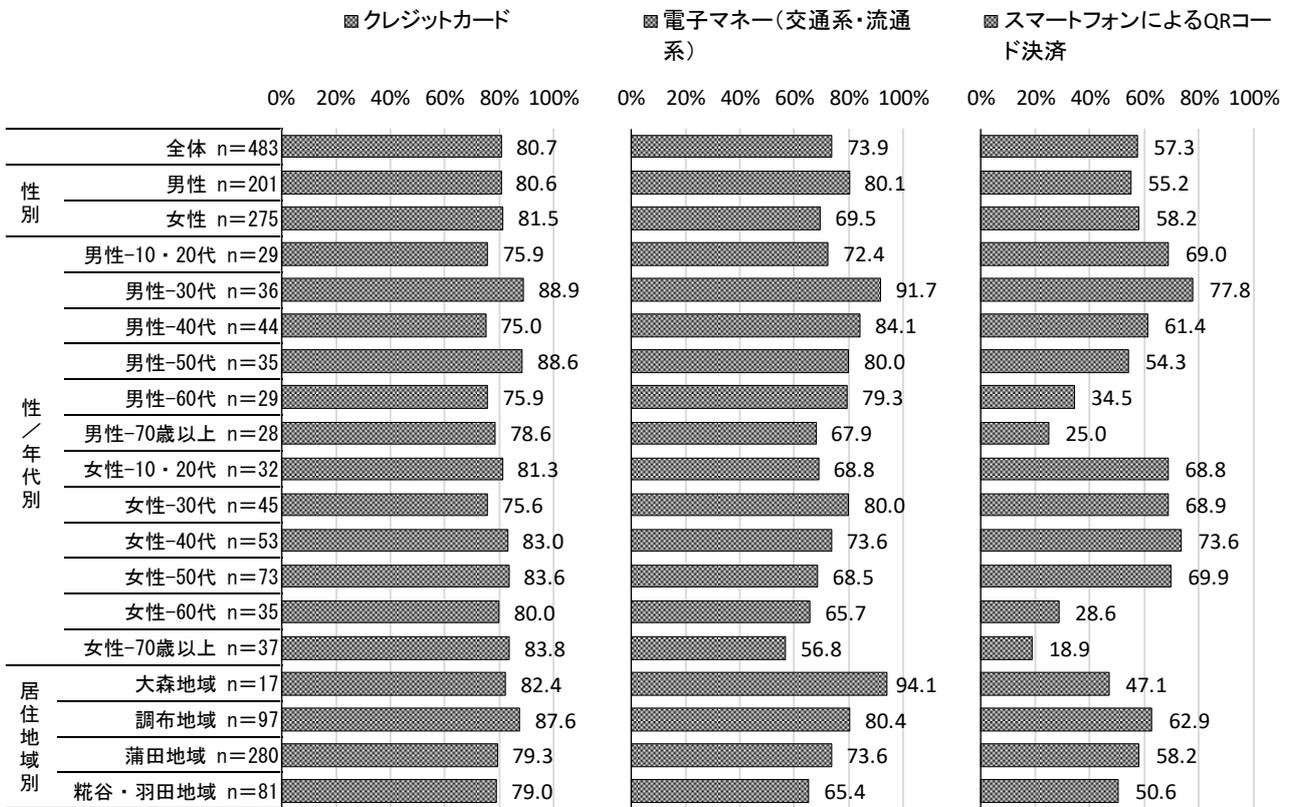


■性別・性／年代別・居住地域別

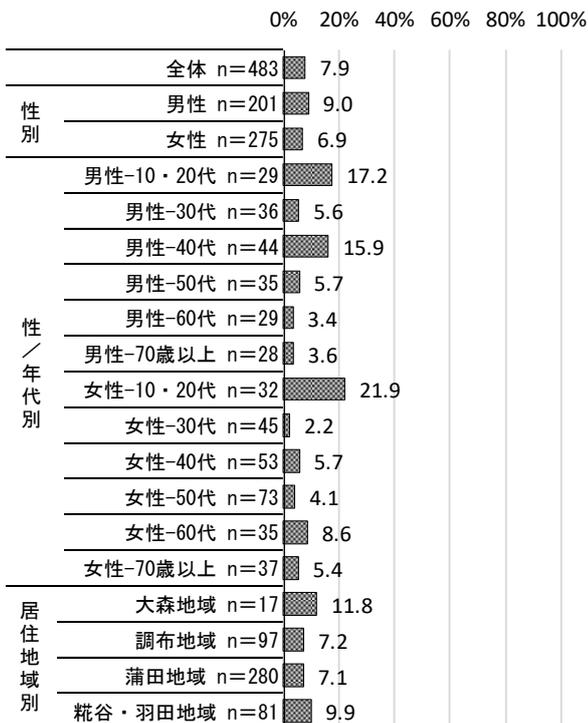
性別で見ると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、男性30代では「電子マネー（交通系・流通系）」が9割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「クレジットカード」は調布地域で8割後半と高くなっている。



■デビットカード



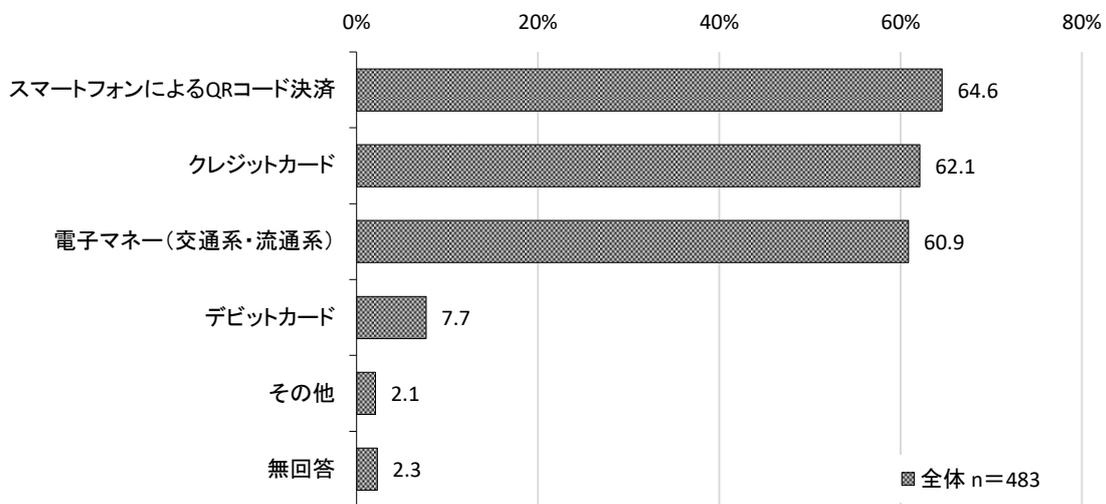
(3) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払い手段

◇「スマートフォンによるQRコード決済」が6割前半で最も高くなっている

【問10で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問10-2 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

今後活用したいキャッシュレスでの支払い手段については、「スマートフォンによるQRコード決済」が64.6%で最も高く、次いで「クレジットカード」が62.1%、「電子マネー(交通系・流通系)」が60.9%となっている。

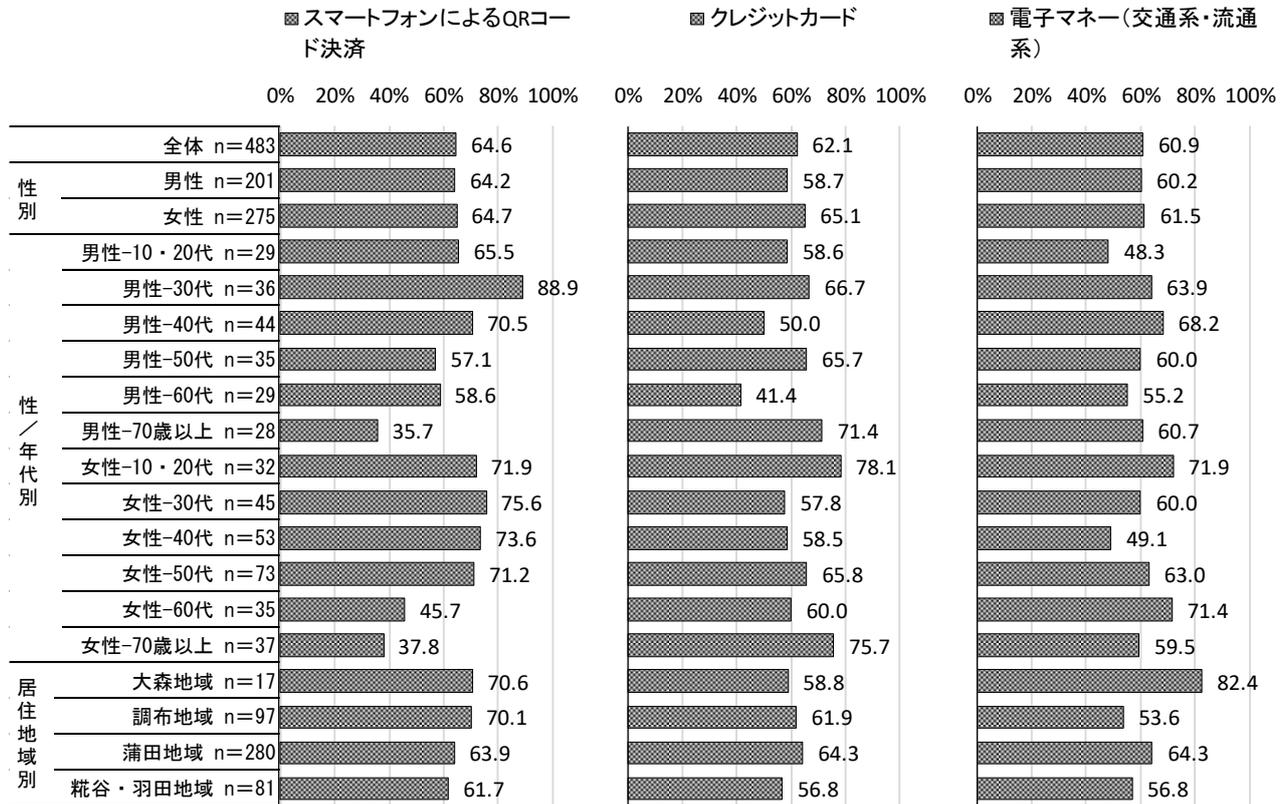


■性別・性／年代別・居住地域別

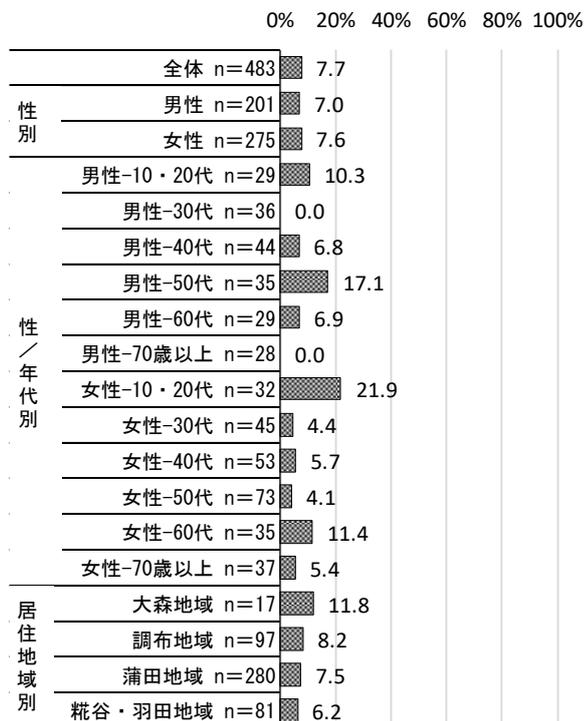
性別で見ると、男性では「スマートフォンによるQRコード決済」が、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「スマートフォンによるQRコード決済」は男性では30代で8割後半、女性では30代で7割半ばと高くなっている。「クレジットカード」は男性では30代、50代、女性では10・20代、70歳以上で高くなっている。女性60代では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高くなっている。

居住地域別で見ると、「スマートフォンによるQRコード決済」は調布地域で約7割と高くなっている。



■デビットカード



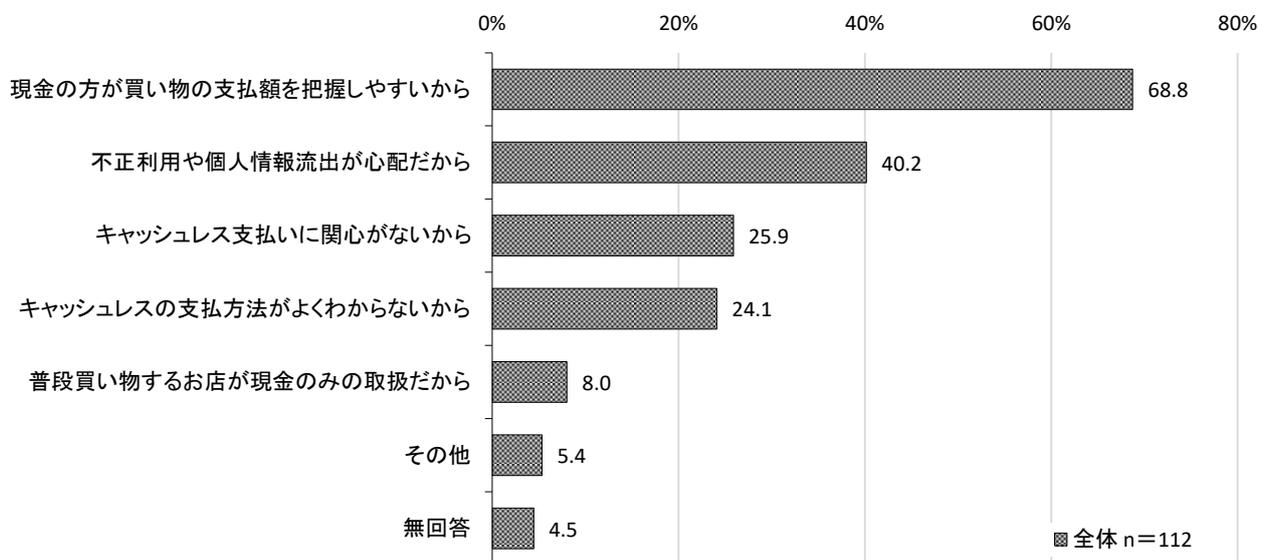
(4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が6割後半で最も高くなっている

【問 10で「3 ほとんど使わない」「4 まったく使わない」と回答された方】

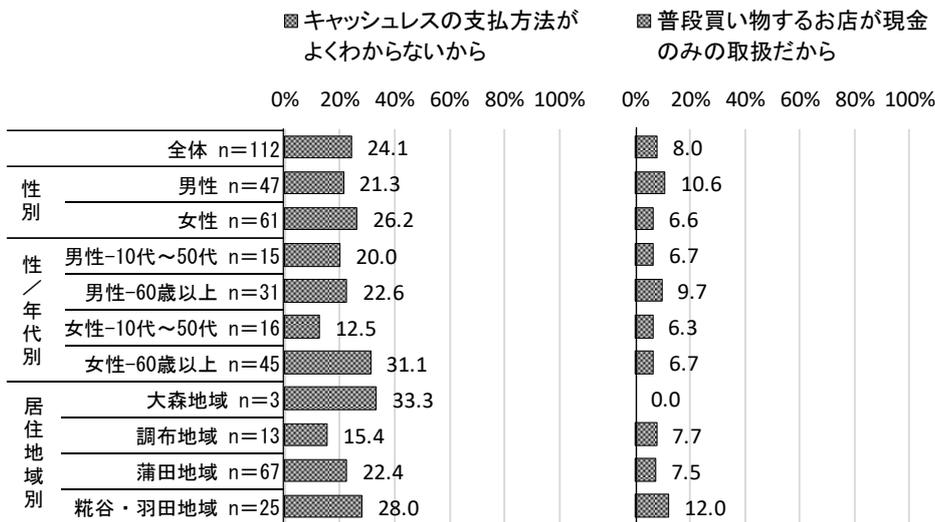
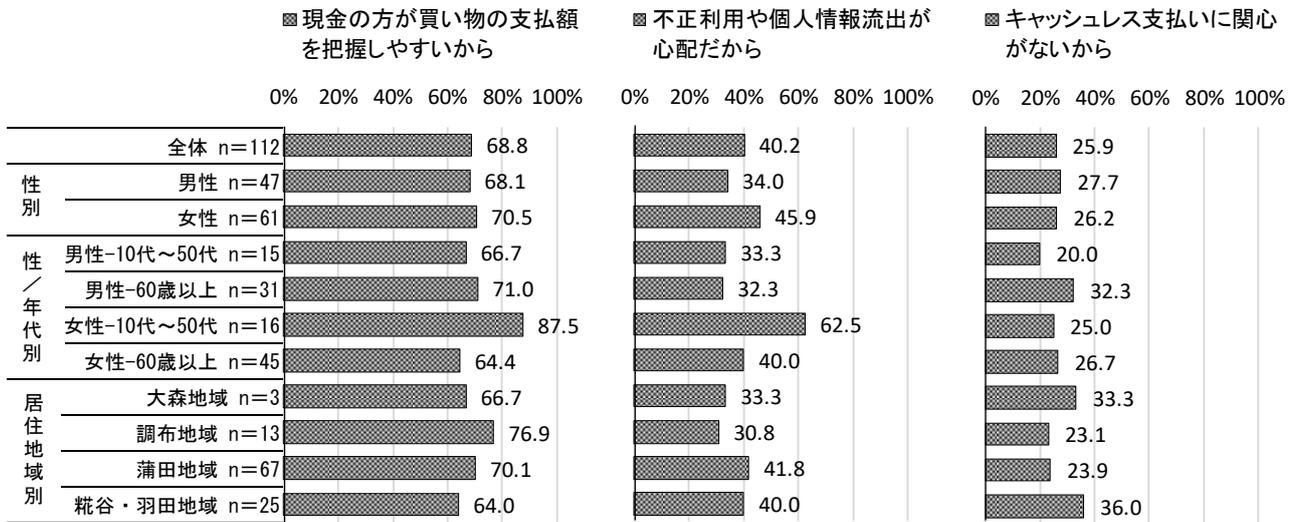
問 10-3 キャッシュレスを使わない（あまり使わない）理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数選択可）

キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が68.8%で最も高く、次いで「不正利用や個人情報流出が心配だから」が40.2%、「キャッシュレス支払いに関心がないから」が25.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が最も高くなっている。



5 羽田空港跡地について

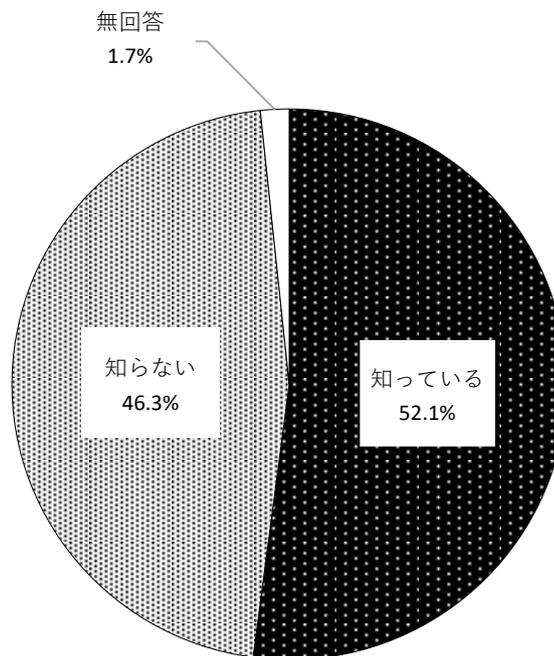
(1) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」が5割前半となっている

**問 11 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)**

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が52.1%、「知らない」が46.3%となっている。

全体 n=601

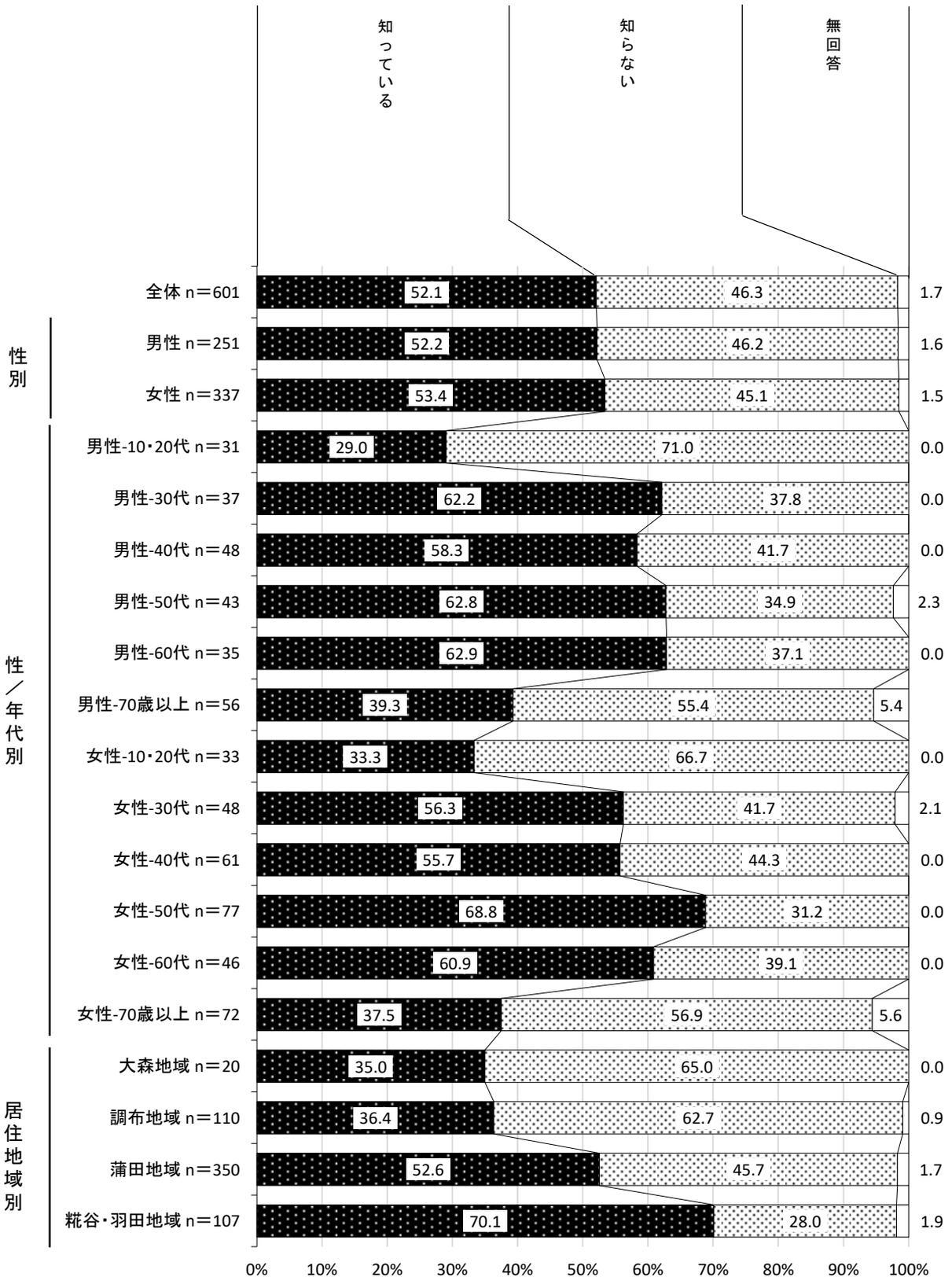


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性では30代、50代、60代が6割前半、女性では50代が6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「知っている」は糀谷・羽田地域で約7割と高くなっている。

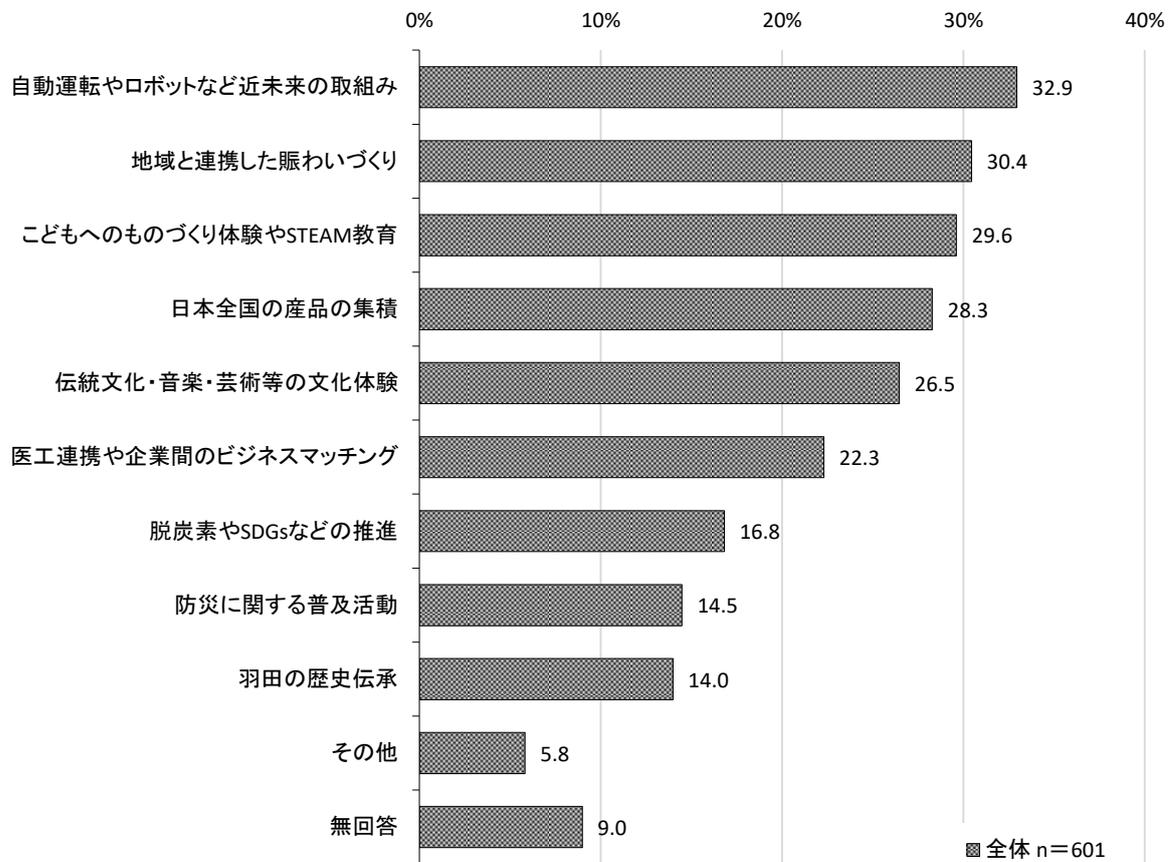


(2) 「羽田イノベーションシティ」に期待すること

◇「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が3割前半で最も高くなっている

問 12 羽田イノベーションシティ・HICityの取組みのうち、期待するものはありますか。
(複数選択可)

“羽田イノベーションシティに期待すること”については、「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が32.9%で最も高く、次いで「地域と連携した賑わいづくり」が30.4%、「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」が29.6%となっている。

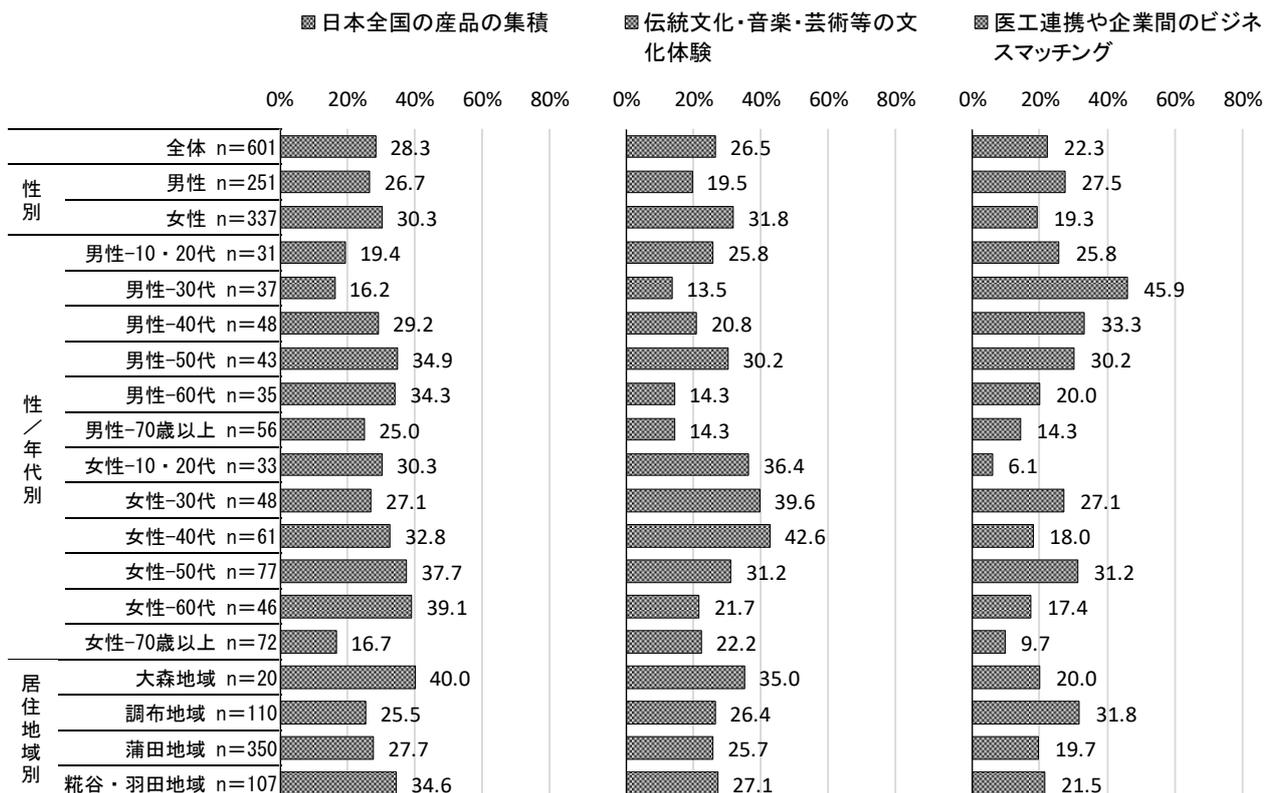
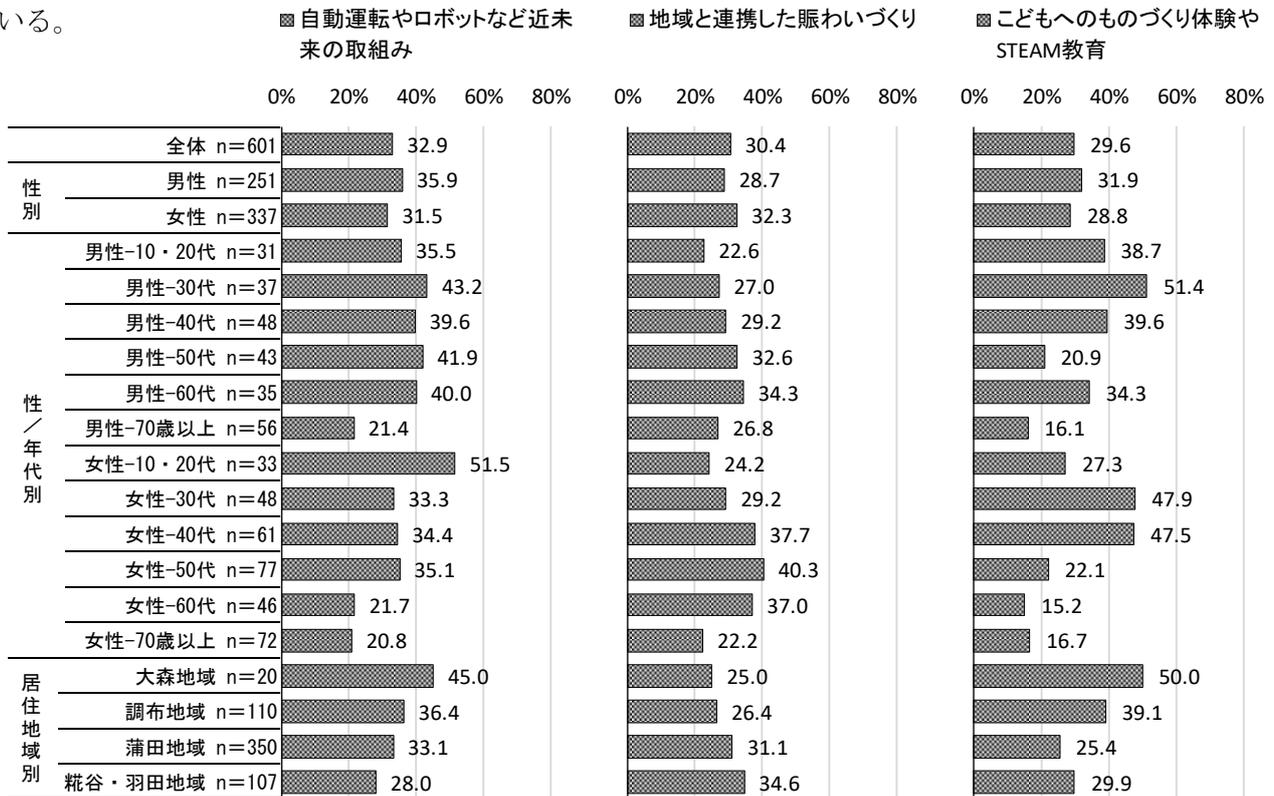


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が、女性では「地域と連携した賑わいづくり」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「自動運転やロボットなど近未来の取組み」は男性では30代、50代、60代で4割前半、女性では10・20代で5割前半と高くなっている。「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」は男性30代で5割前半、女性30代、40代で4割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」は調布地域で3割後半と高くなっている。



6 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇バリアフリーの《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は8割後半となっている
 ユニバーサルデザインの《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は5割後半となっている

問 13 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

(1) 「バリアフリー」

高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方

(2) 「ユニバーサルデザイン」

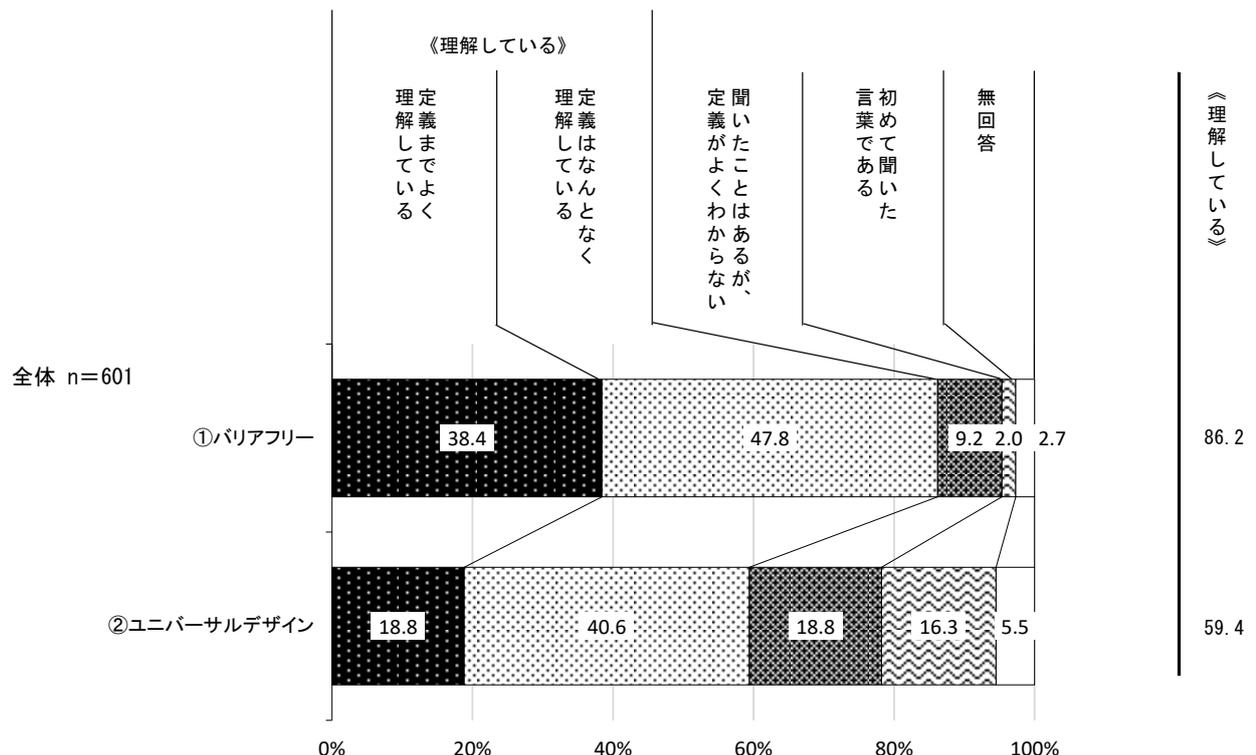
バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

①バリアフリー

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が86.2%で、そのうち、「定義までよく理解している」は38.4%となっている。

②ユニバーサルデザイン

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が59.4%で、そのうち、「定義までよく理解している」は18.8%となっている。

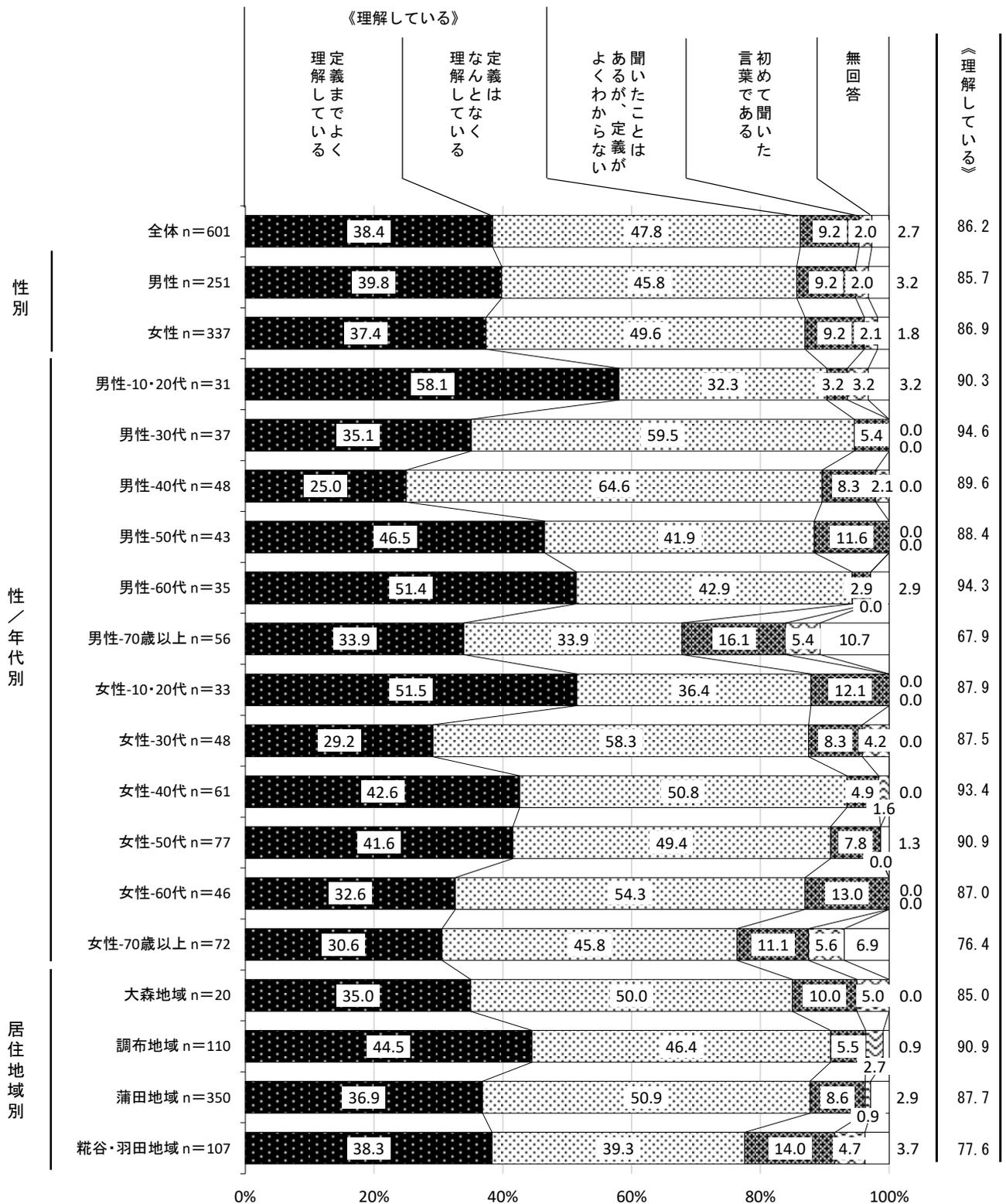


■性別・性/年代別・居住地域別_①バリアフリー

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性39.8%、女性37.4%と、男性が2.4ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《理解している》は男性では10・20代、30代、60代、女性では40代、50代で9割台と高くなっている。そのうち、「定義までよく理解している」は男性10・20代、60代、女性10・20代で5割以上と高くなっている。

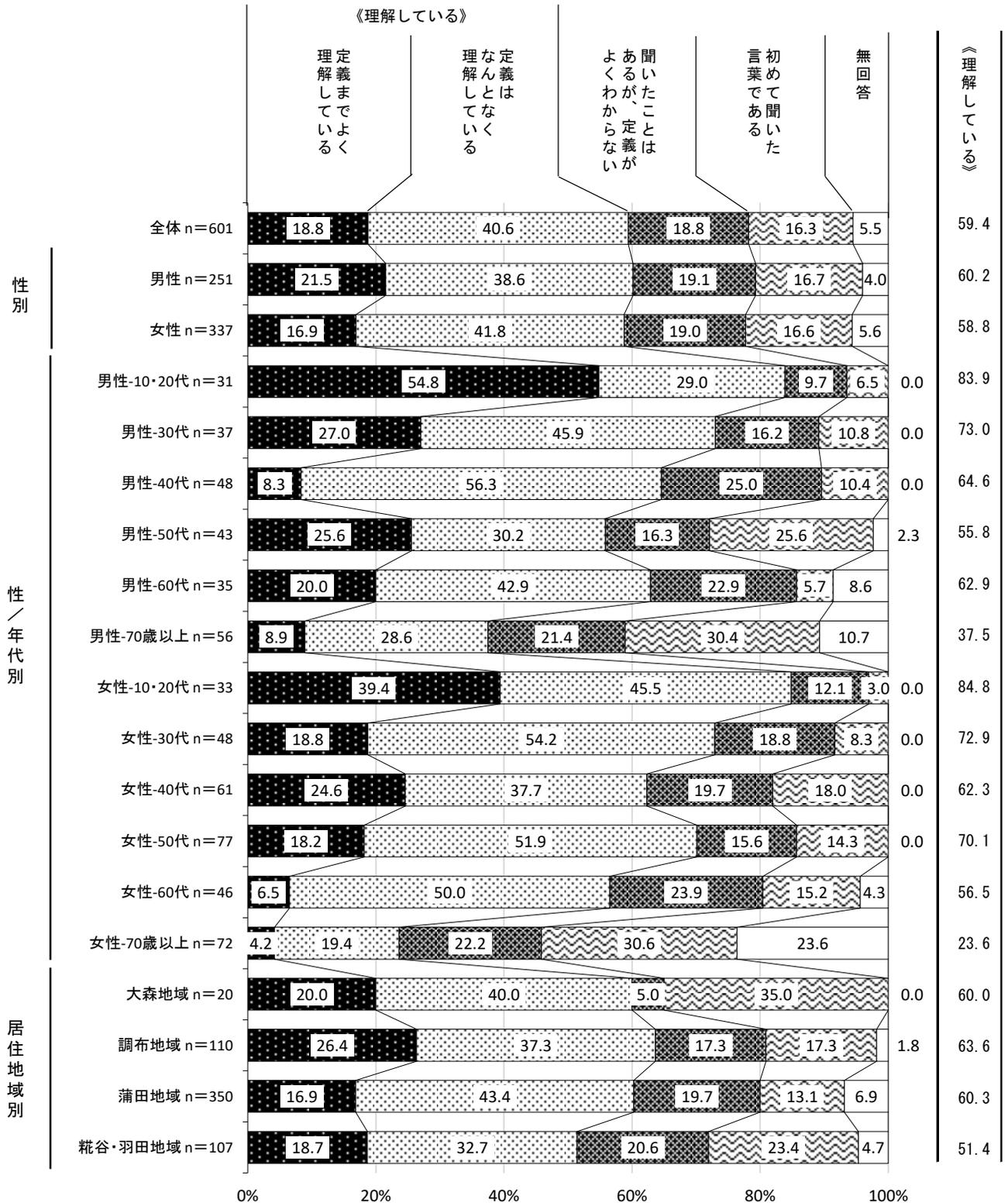
居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で9割前半と高くなっている。



■性別・性／年代別・居住地域別_②ユニバーサルデザイン

性別で見ると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性21.5%、女性16.9%と、男性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《理解している》は男性、女性ともに10・20代で8割前半と高くなっている。また「定義までよく理解している」でも男性10・20代で5割前半、女性10・20代で3割後半と高くなっている。



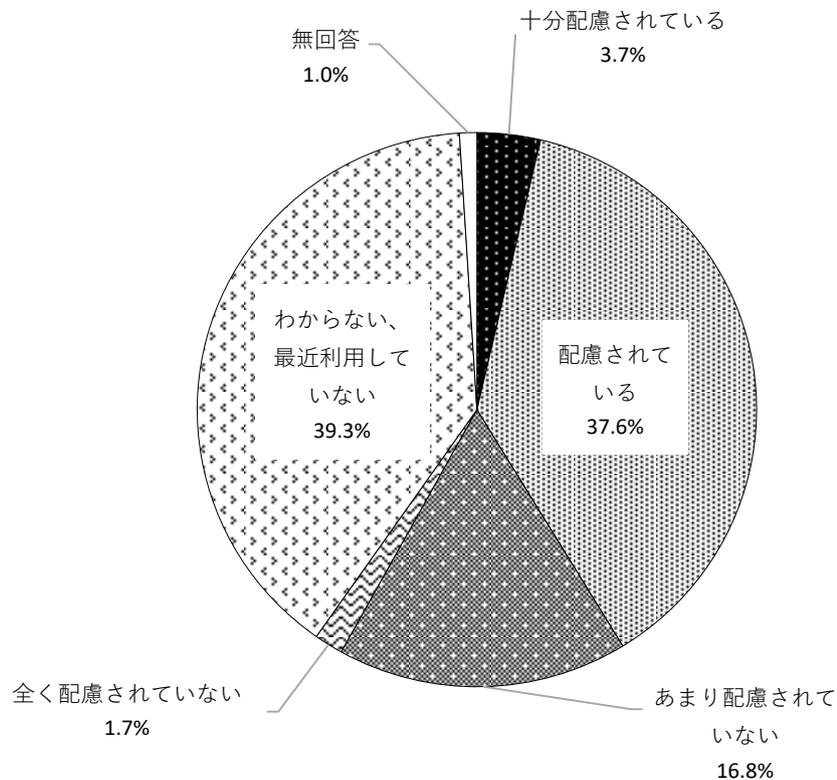
(2) 各区立施設内のバリアフリー配慮

◇ 《配慮されている》（「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値）は4割前半となっている

問 14 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障害者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

各区立施設のバリアフリーの配慮状況については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が41.3%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が18.5%と、《配慮されている》が22.8ポイント上回っている。

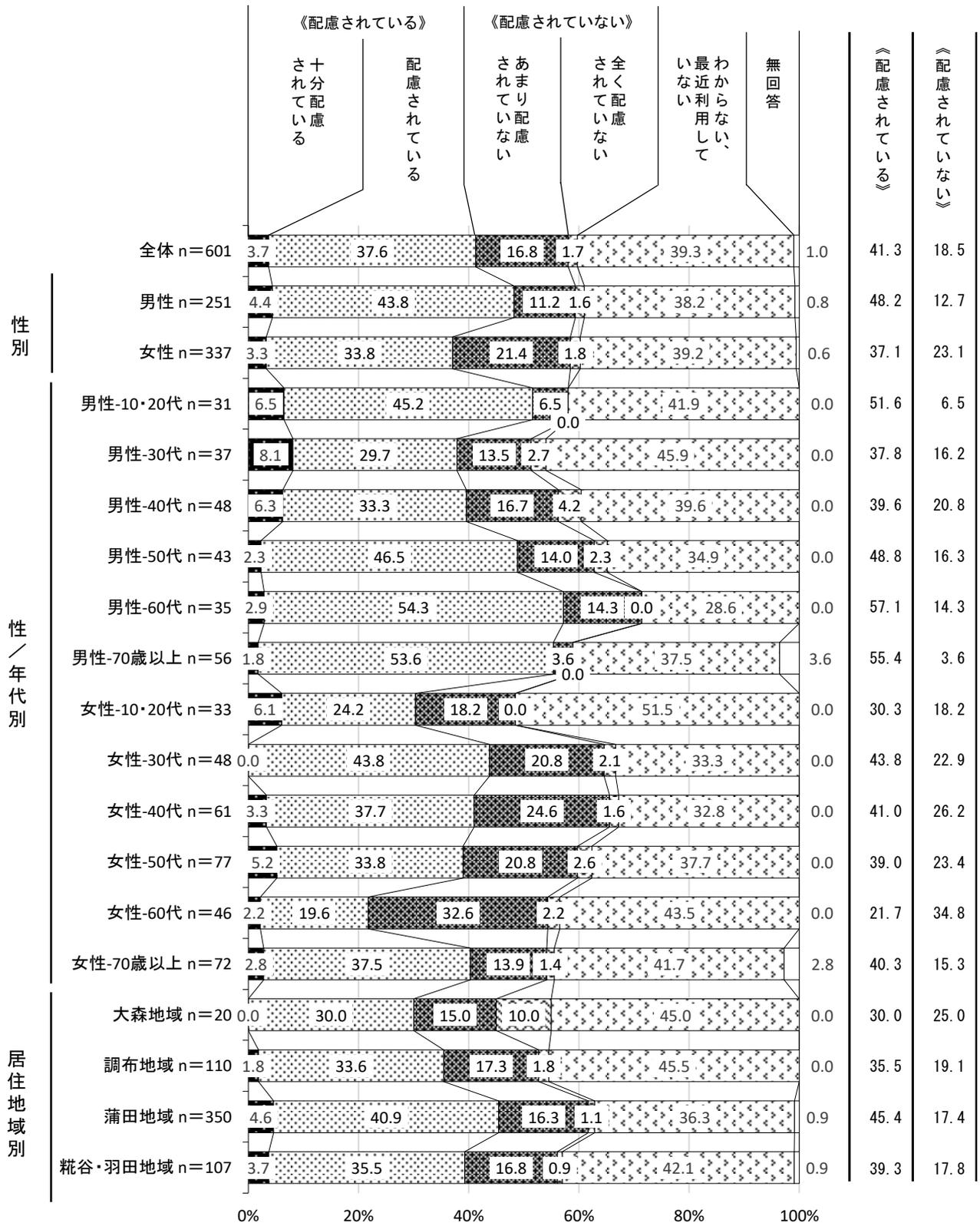
全体 n=601



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《配慮されている》は男性 48.2%、女性 37.1%と、男性が 11.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《配慮されている》は男性では 60 代で 5 割後半、女性では 30 代、40 代、70 歳以上で 4 割前半と高くなっている。また《配慮されている》のうち、「十分に配慮されている」は男性 30 代、女性 10・20 代で比較的高くなっている。



7 まちづくりについて

(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

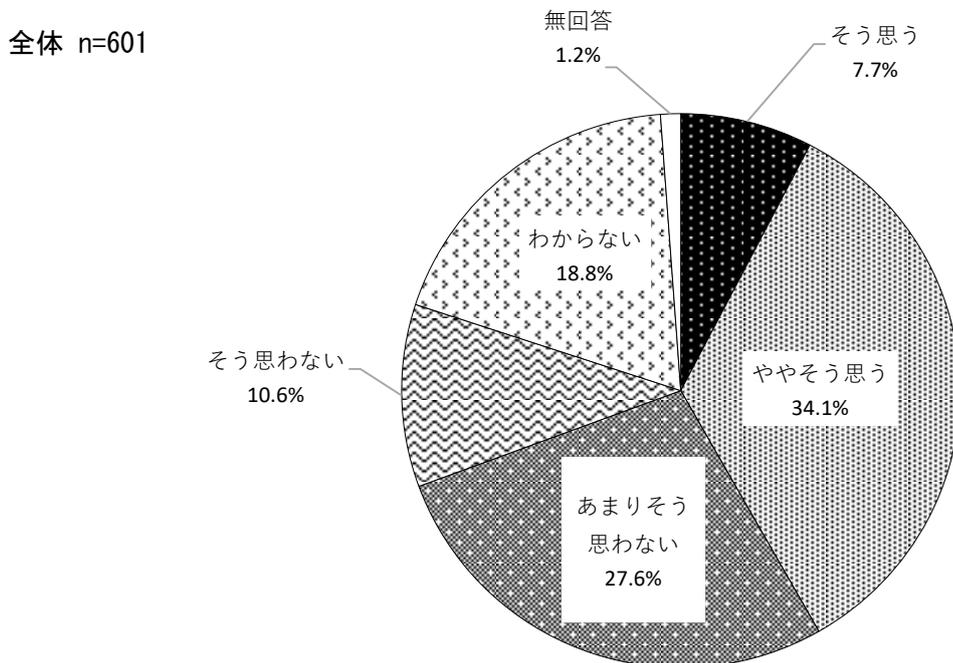
◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は4割前半となっている

問 15 活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

<活力・国際性のある都市づくりの例>

- ・ 来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている
- ・ 日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている
- ・ 国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・ 人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・ 区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・ 大田区内外への移動が便利である など

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が41.8%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が38.3%と、《思う》が3.5ポイント上回っている。

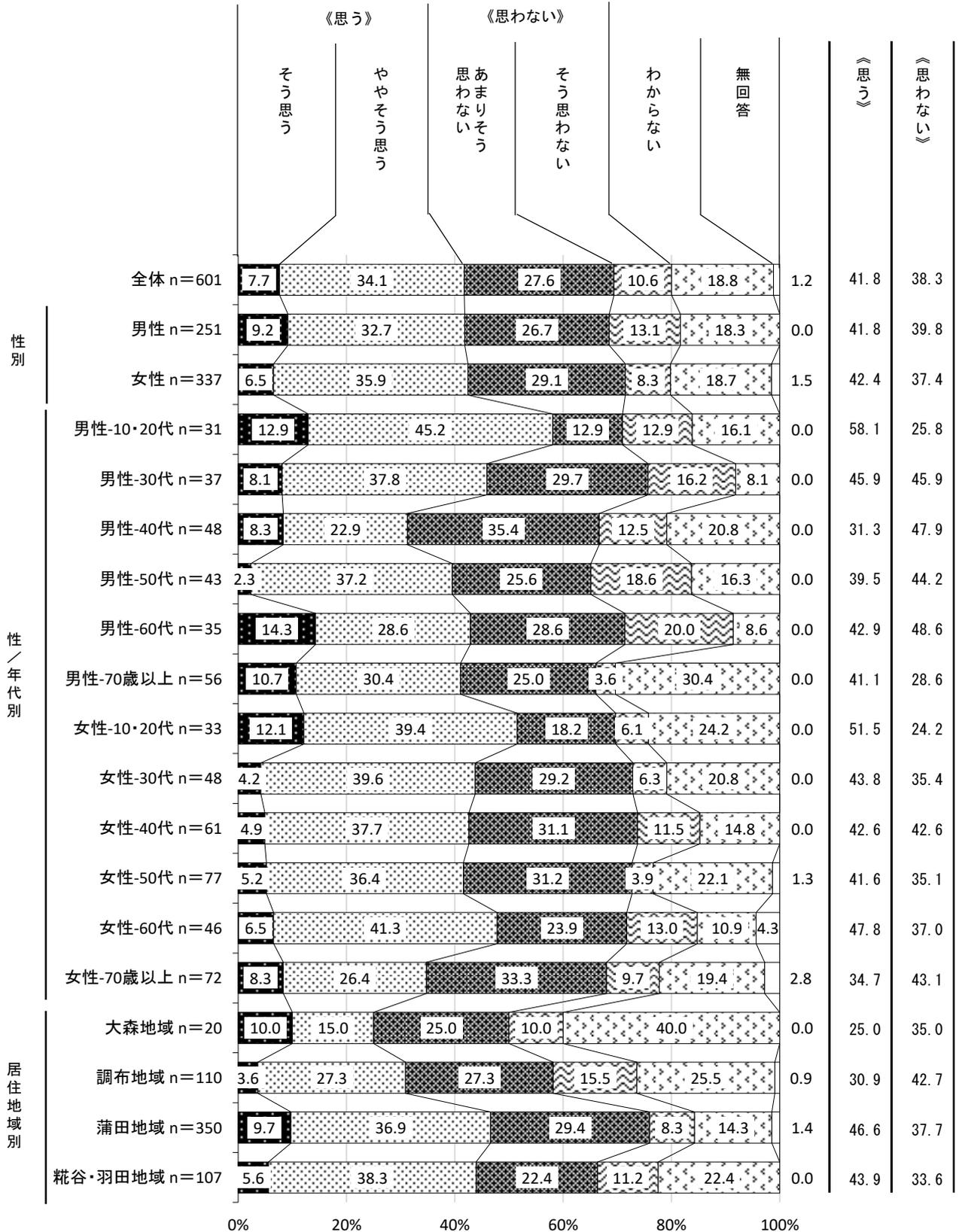


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代で5割後半、女性では10・20代で5割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は蒲田地域で4割後半と高くなっている。



(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は5割後半となっている

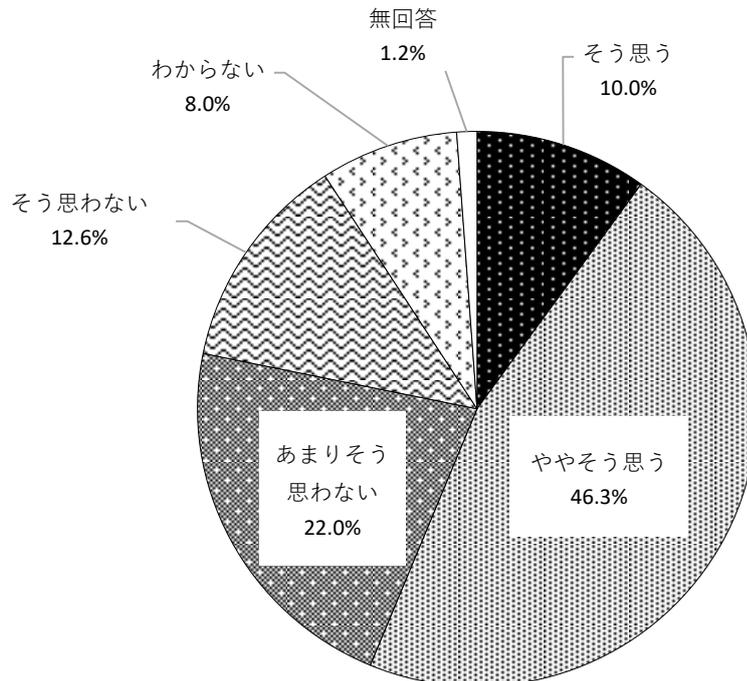
問 16 暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<暮らしやすい都市づくりの例>

- ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・良好なまちなみ・景色が整っている
- ・商店街に人が集まりにぎわっている
- ・住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・区内を移動するための公共交通が充実している
- ・快適で歩きたくなる空間がある
- ・住民主体の都市づくりが進んでいる など

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が56.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が34.6%と、《思う》が21.6ポイント上回っている。

全体 n=601

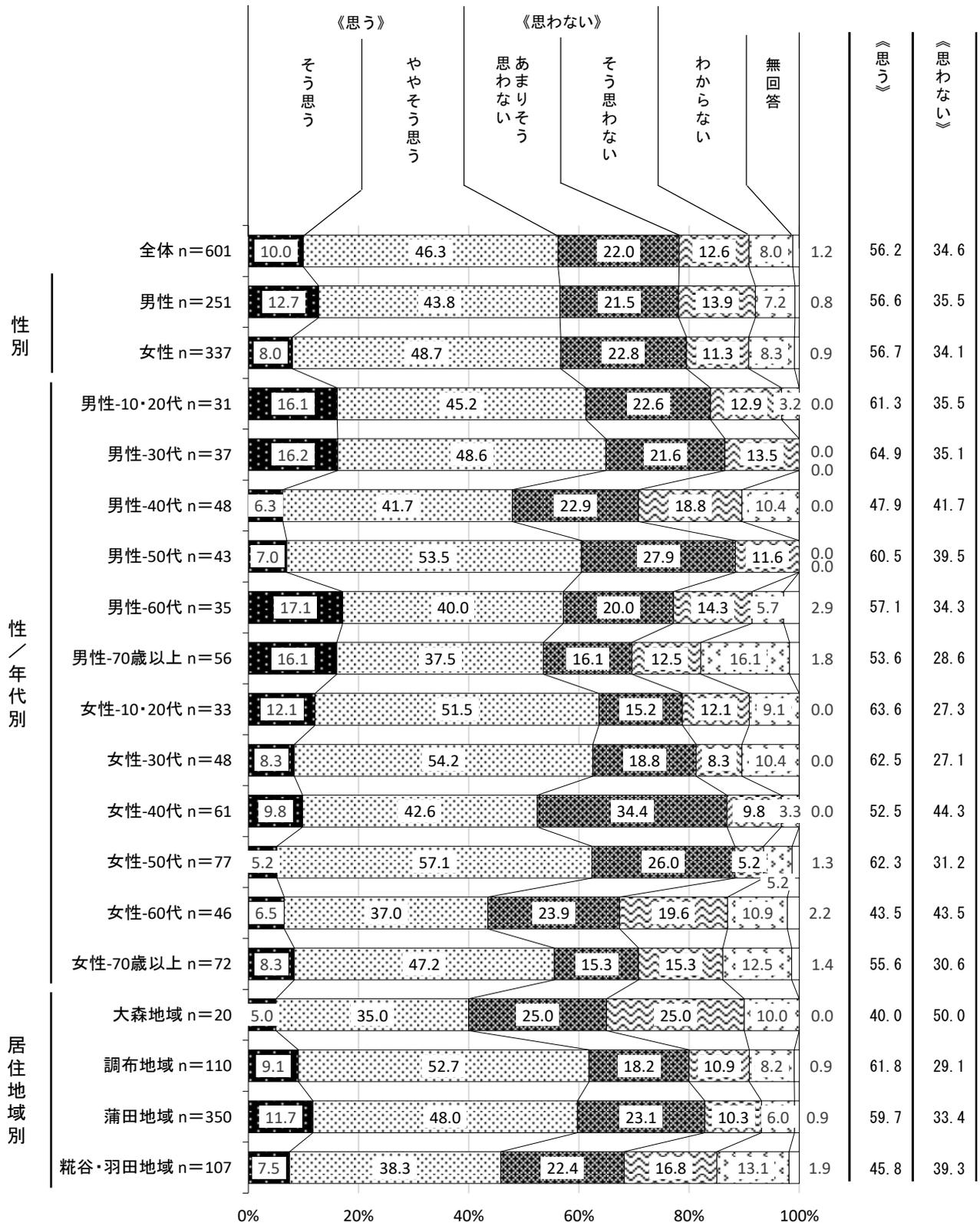


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代、30代50代で6割前半、女性では10・20代、30代、50代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は調布地域で6割前半と高くなっている。



(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割前半となっている

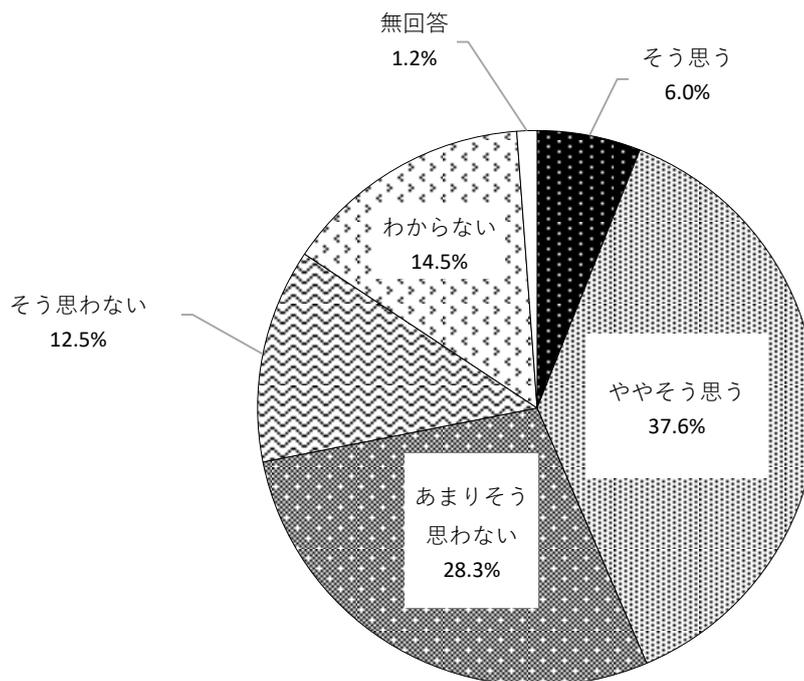
問 17 安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<安全・安心な都市づくりの例>

- ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・災害時に救助や避難に役立つ道路や施設が整備されている
- ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・地域の防災・防犯活動が充実している
- ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が43.6%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.8%と、《思う》が2.8ポイント上回っている。

全体 n=601

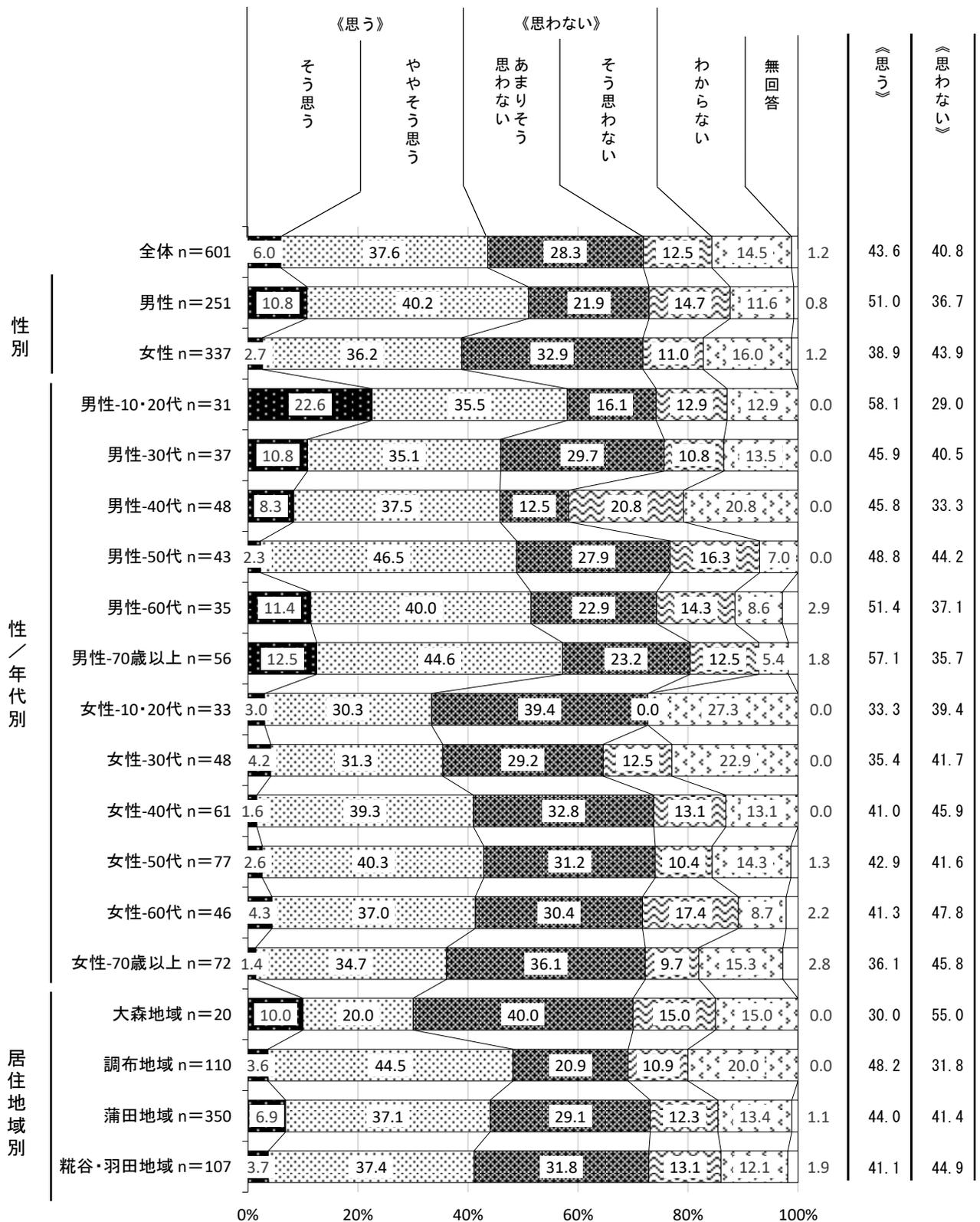


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《思う》は男性が51.0%、女性が38.9%と、男性が12.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代、70歳以上で5割後半、女性では40代～60代で4割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は調布地域で4割後半と高くなっている。



(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割半ばとなっている

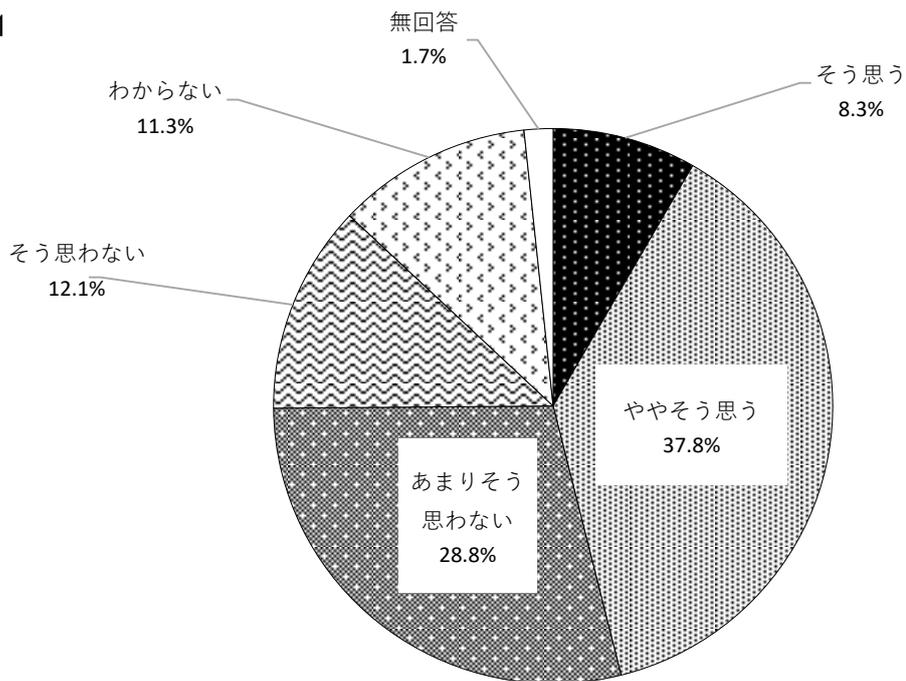
問 18 環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<環境に配慮した都市づくりの例>

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が46.1%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.9%と、《思う》が5.2ポイント上回っている。

全体 n=601

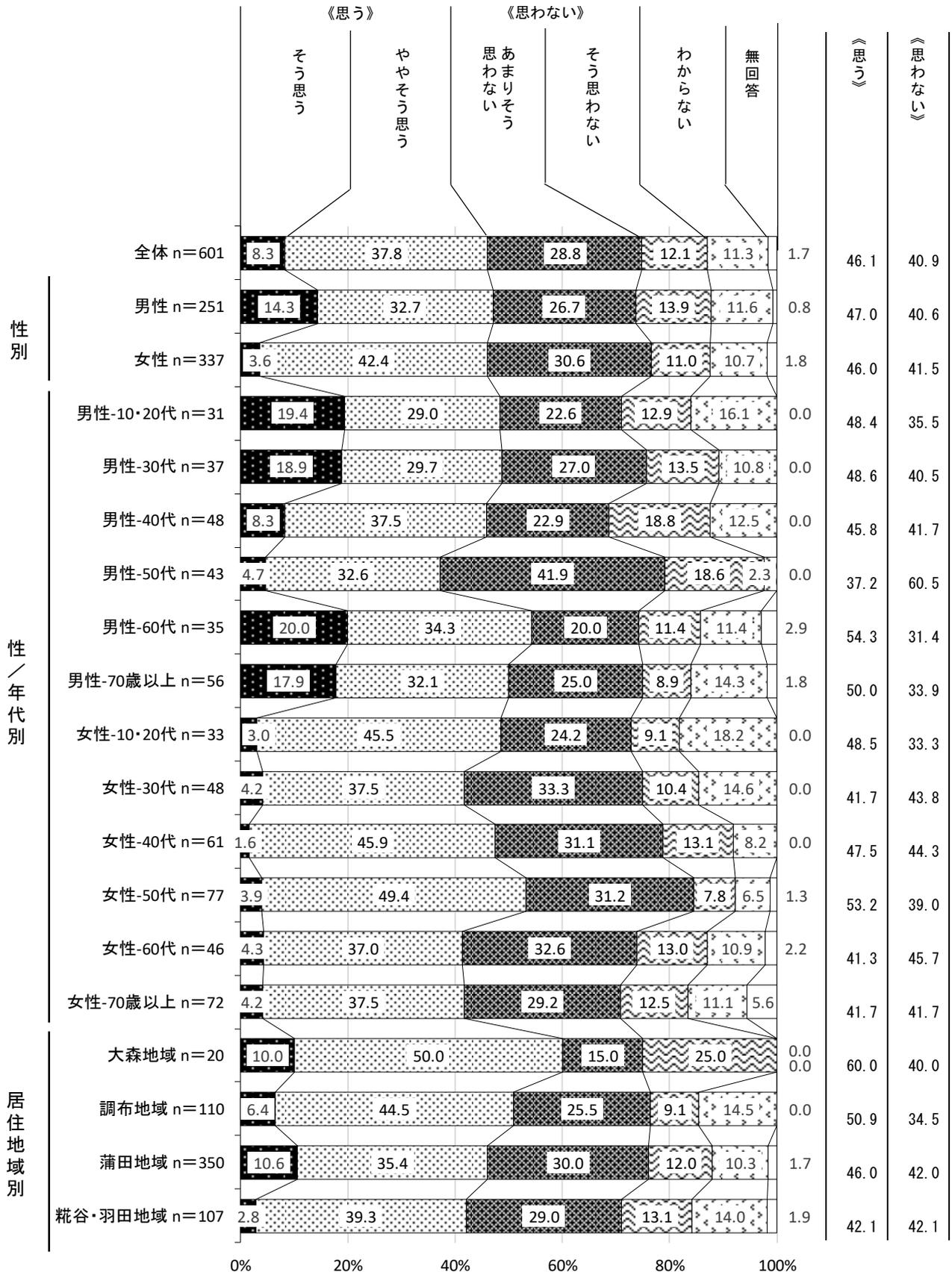


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、「そう思う」では男性が14.3%、女性が3.6%と、男性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性60代、女性50代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で5割前半と高くなっている。



8 公共交通機関について

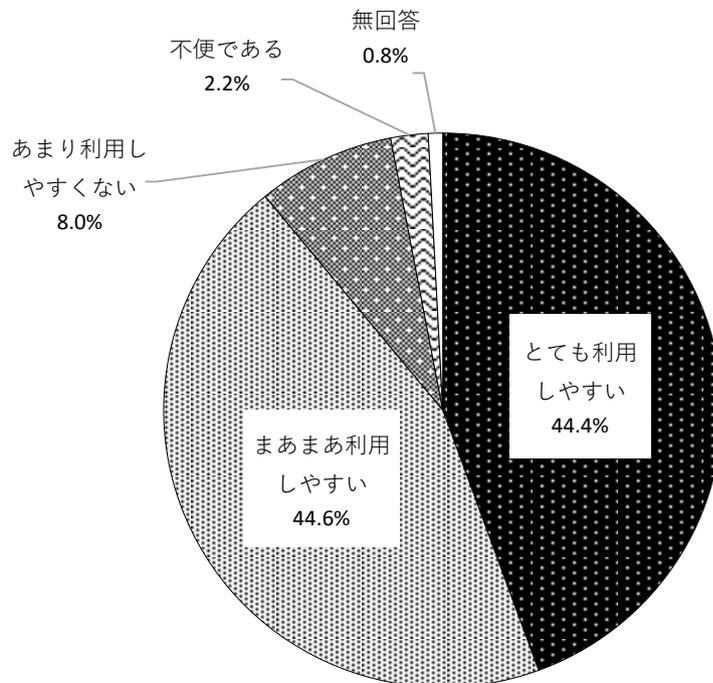
(1) 公共交通機関の利用環境

◇ 《利用しやすい》(「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」)の合計値は8割後半となっている

問 19 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が89.0%である一方で、「あまり利用しやすすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすすくない》が10.1%と、《利用しやすい》が78.9ポイント上回っている。

全体 n=601

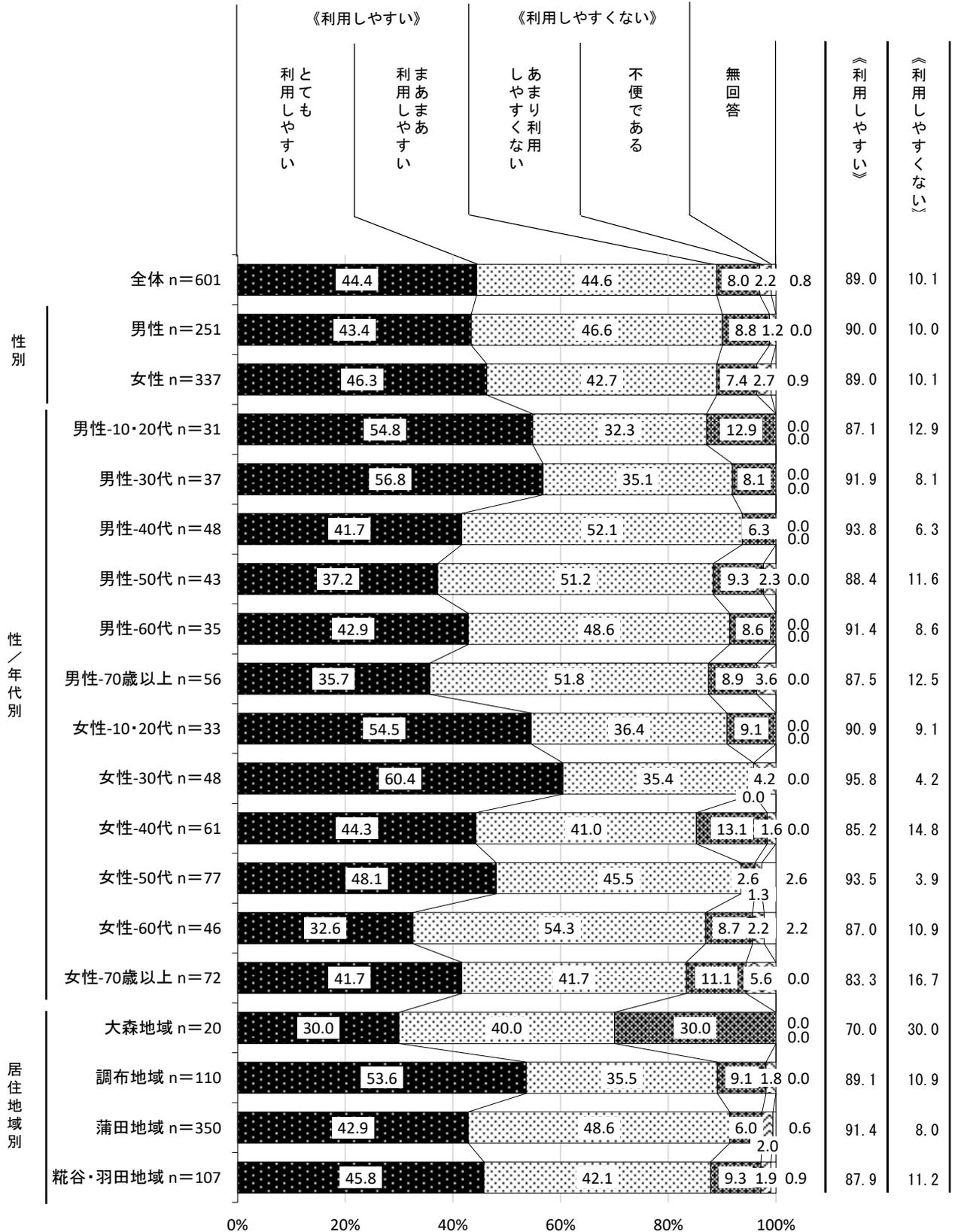


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《利用しやすい》は男性では30代、40代、60代で9割前半、女性では30代で9割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「とても利用しやすい」は調布地域で5割前半と高くなっている。



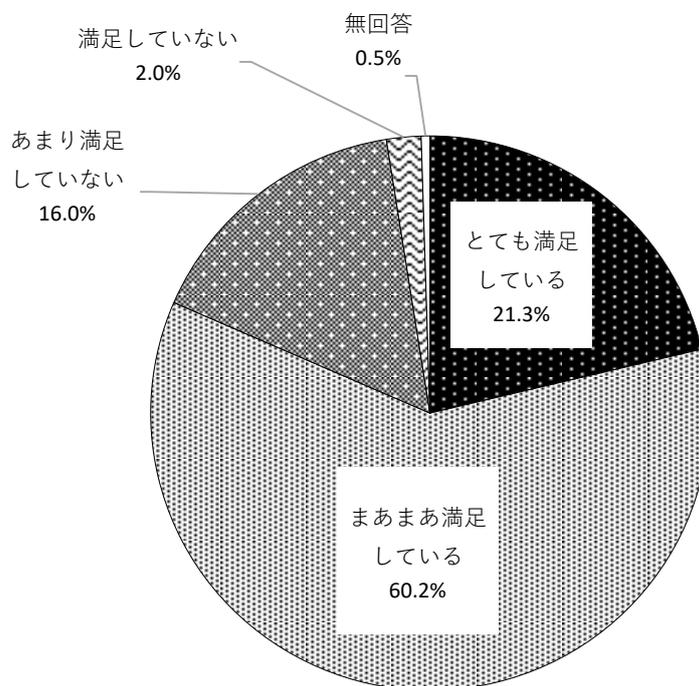
(2) 公共交通網の満足度

◇《満足している》(「とても満足している」、「まあまあ満足している」)の合計値は8割前半となっている

問 20 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.5%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が18.0%と、《満足している》が63.5ポイント上回っている。

全体 n=601

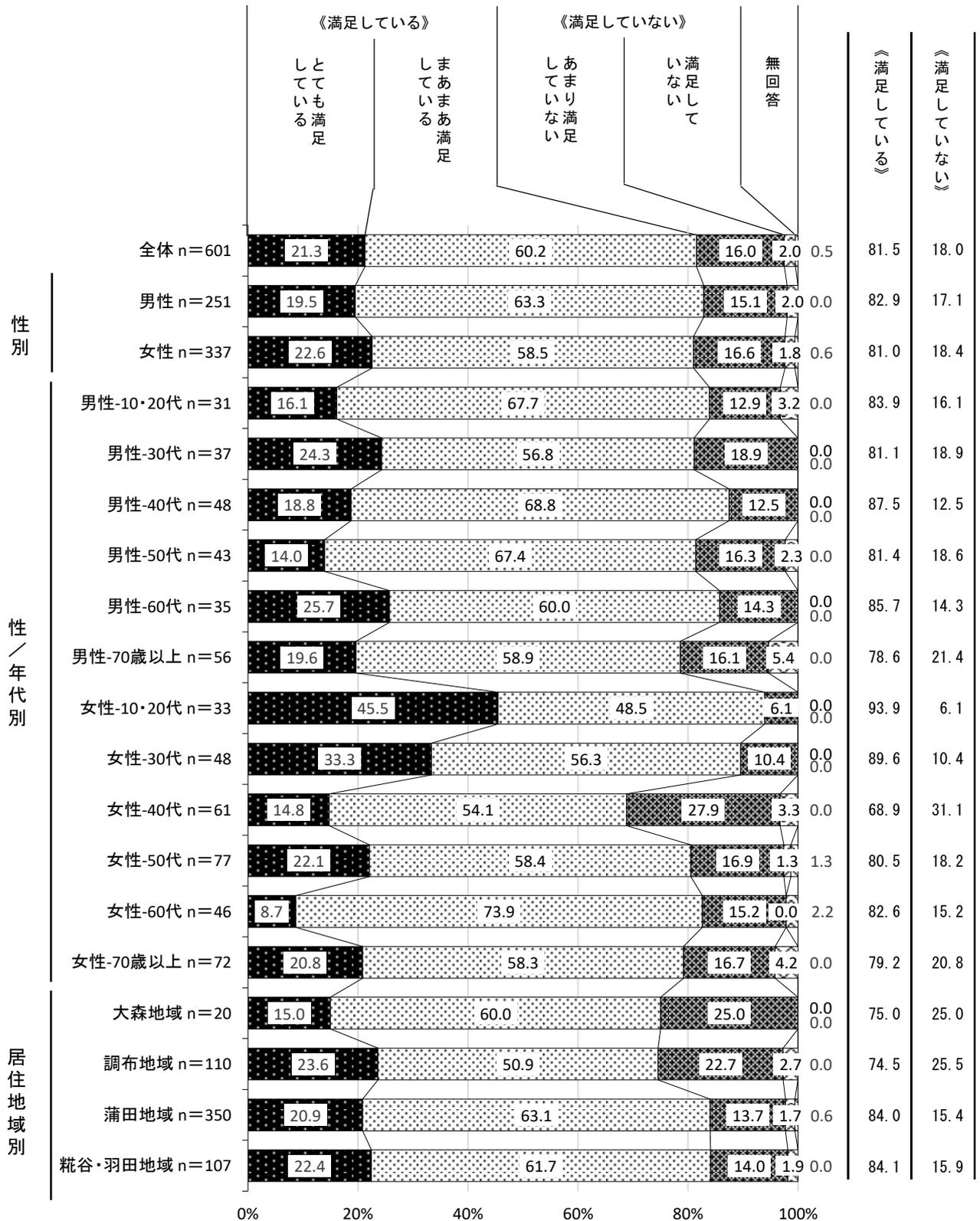


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《満足している》では男性40代で8割後半、女性では10・20代で9割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《満足している》は蒲田地域、糎谷・羽田地域で8割前半と高くなっている。



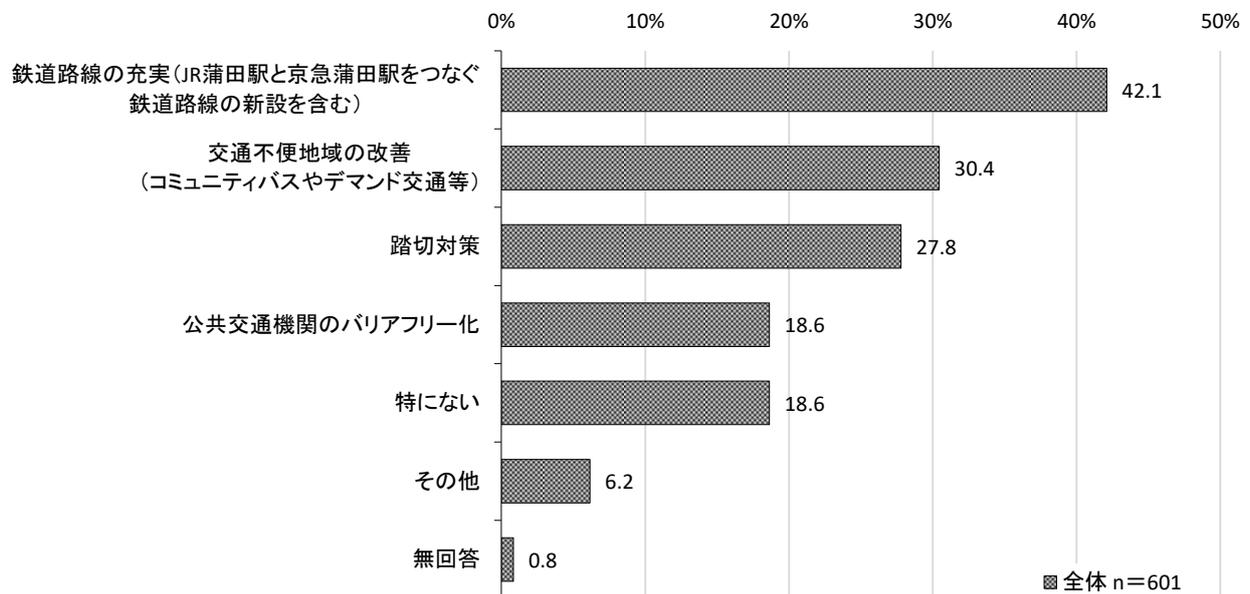
(3) 公共交通対策で実現してほしいこと

◇「鉄道路線の充実（JR蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が4割前半で最も高くなっている

問 21 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が42.1%で最も高く、次いで「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」が30.4%、「踏切対策」が27.8%となっている。

なお、「特にない」は18.6%となっている。

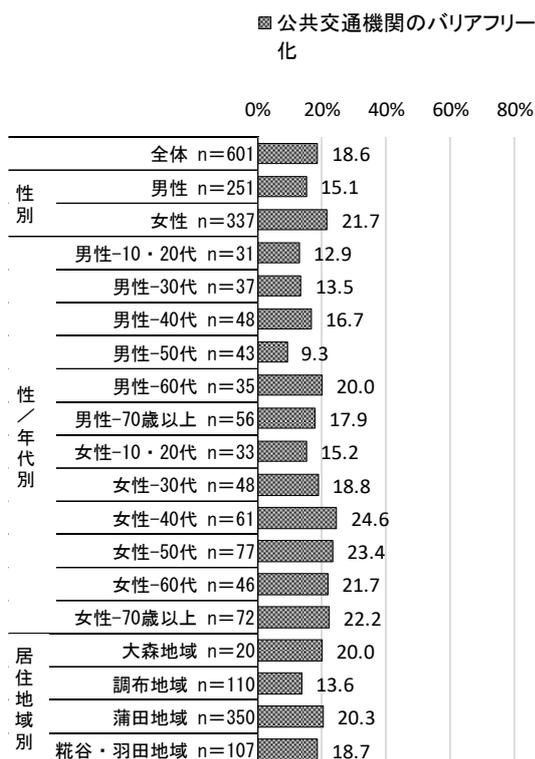
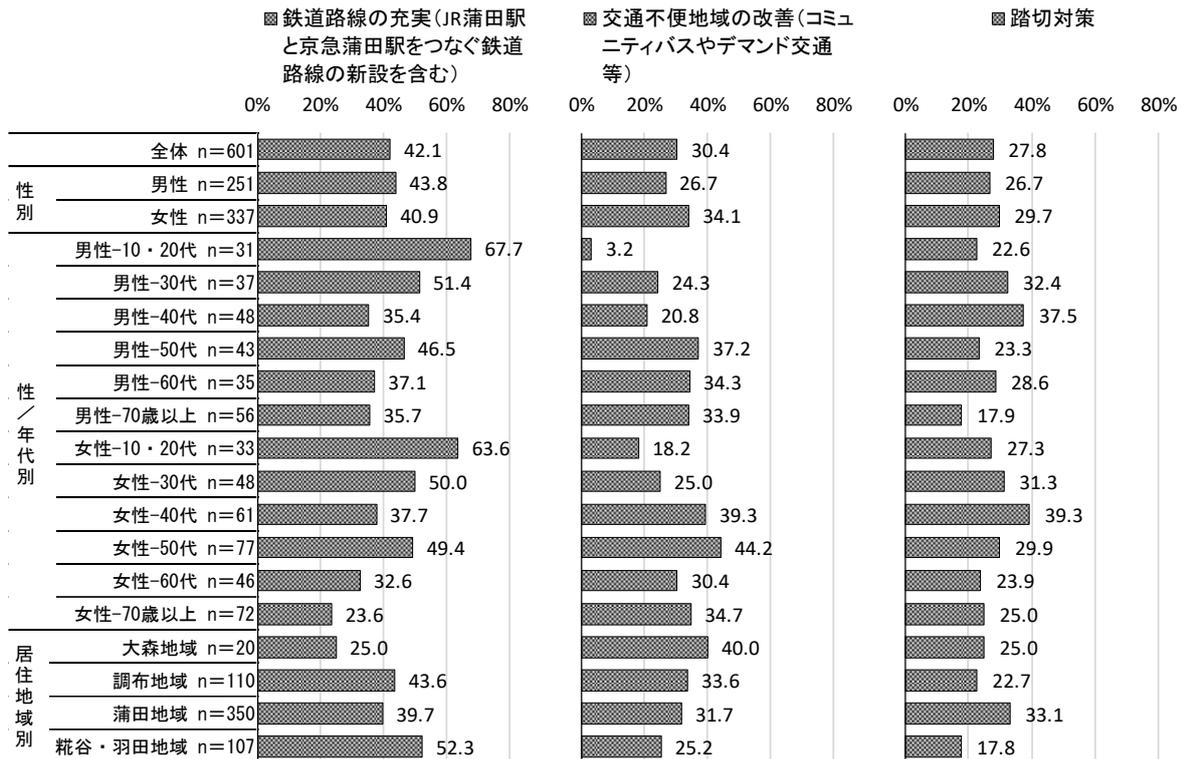


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、男性が43.8%、女性が40.9%と、男性が2.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性、女性ともに10・20代で6割台と高くなっている。「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」は女性50代で4割前半、「踏切対策」は男性、女性ともに40代で3割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



9 耐震改修について

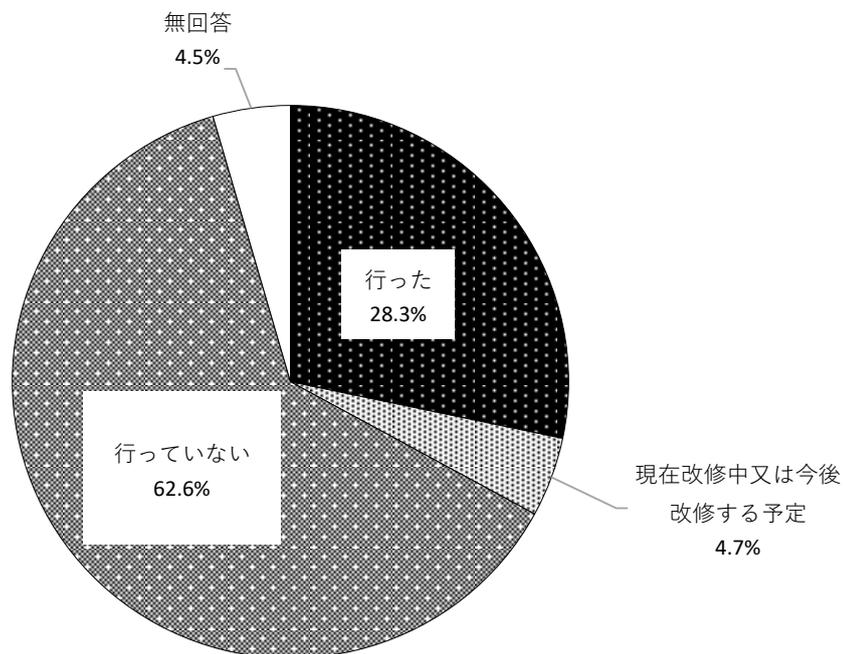
(1) 建物の耐震改修の有無

◇「行った」が2割後半となっている

問 22 現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(1つのみ)

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「行っていない」が62.6%で最も高く、次いで「行った」が28.3%、「現在改装中又は今後改修する予定」が4.7%となっている。

全体 n=601

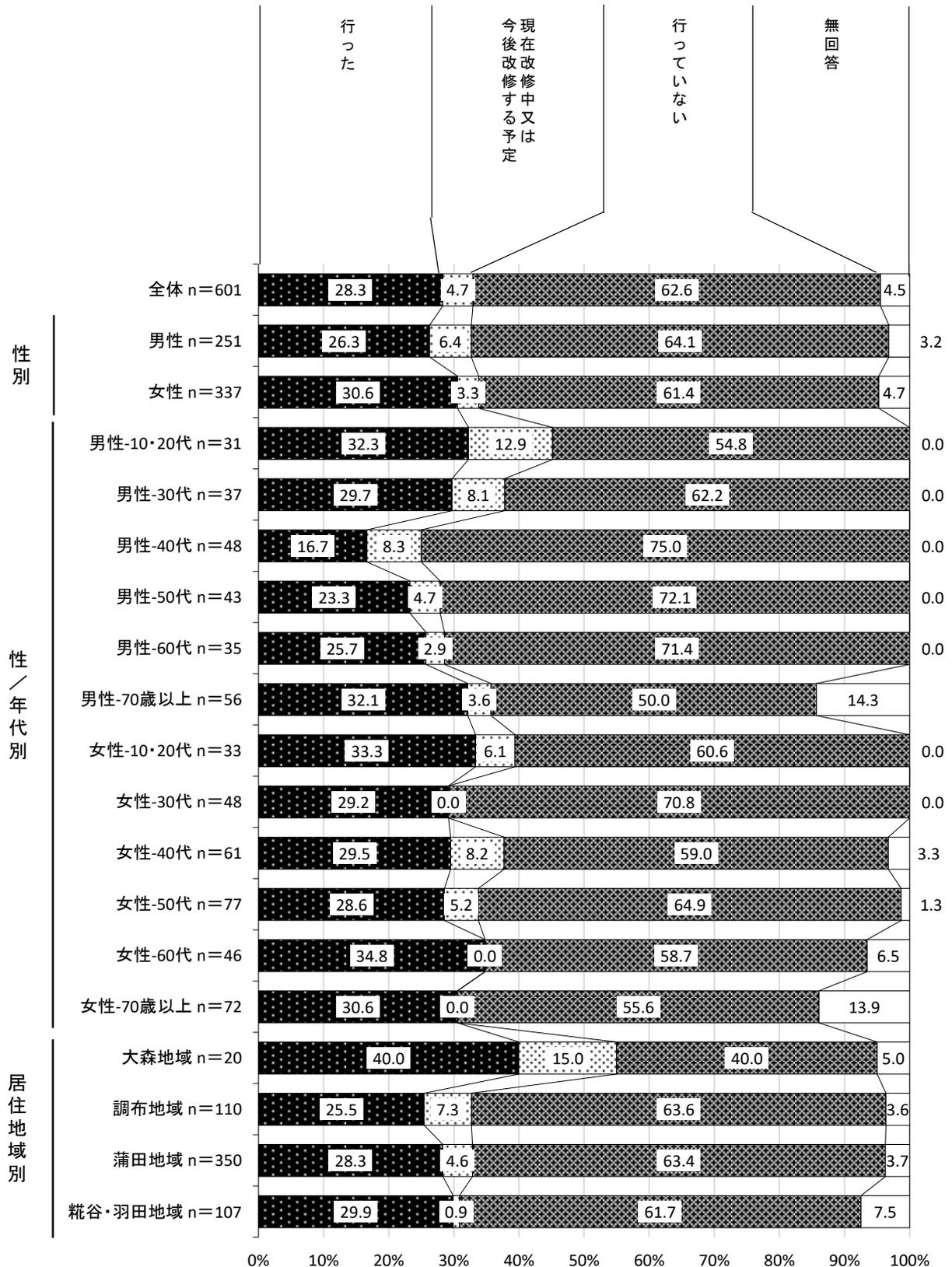


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「行った」は男性が26.3%、女性が30.6%と、女性が4.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「行った」は男性では10・20代、70歳以上で3割前半、女性では10・20代、60代で3割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「行った」は糞谷・羽田地域で約3割と高くなっている。



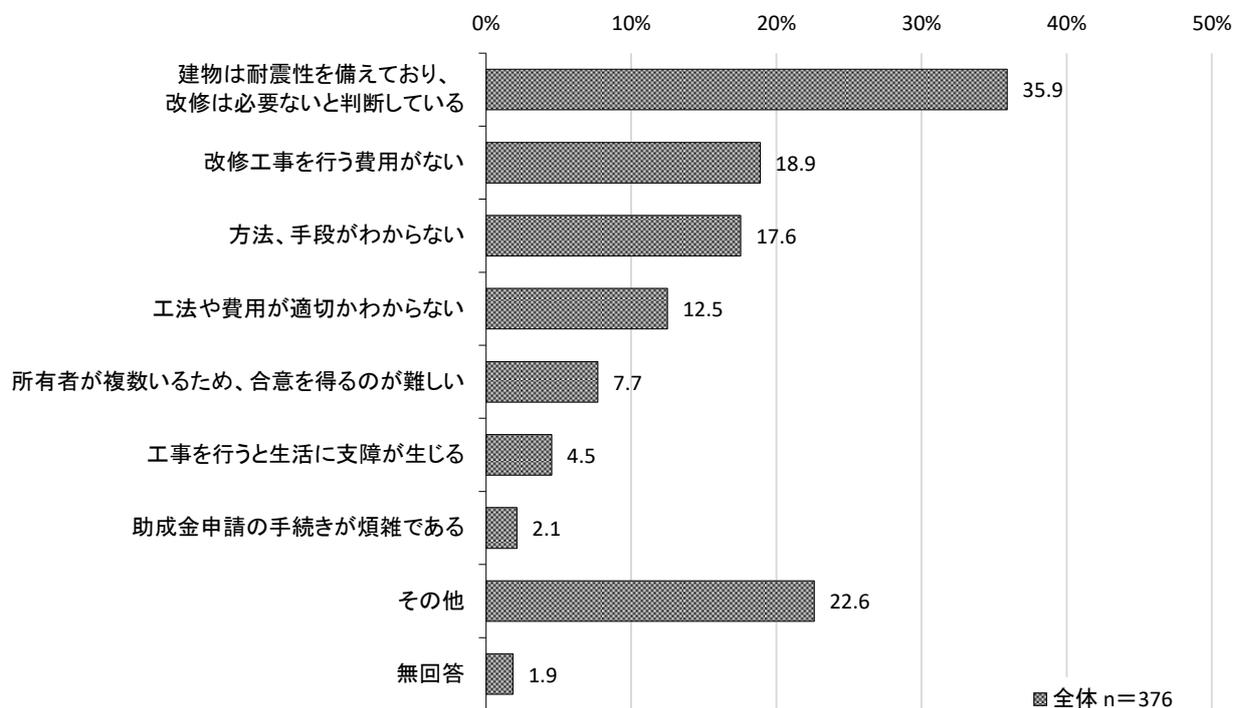
(2) 耐震改修を行っていない理由

◇「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が3割半ばで最も高くなっている

【問 22 で「3 行っていない」と回答した方に伺います。】

問 22-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(複数選択可)

耐震改修を行っていない理由については、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が35.9%、次いで「改修工事を行う費用がない」が18.9%、「方法、手段がわからない」が17.6ポイントとなっている。

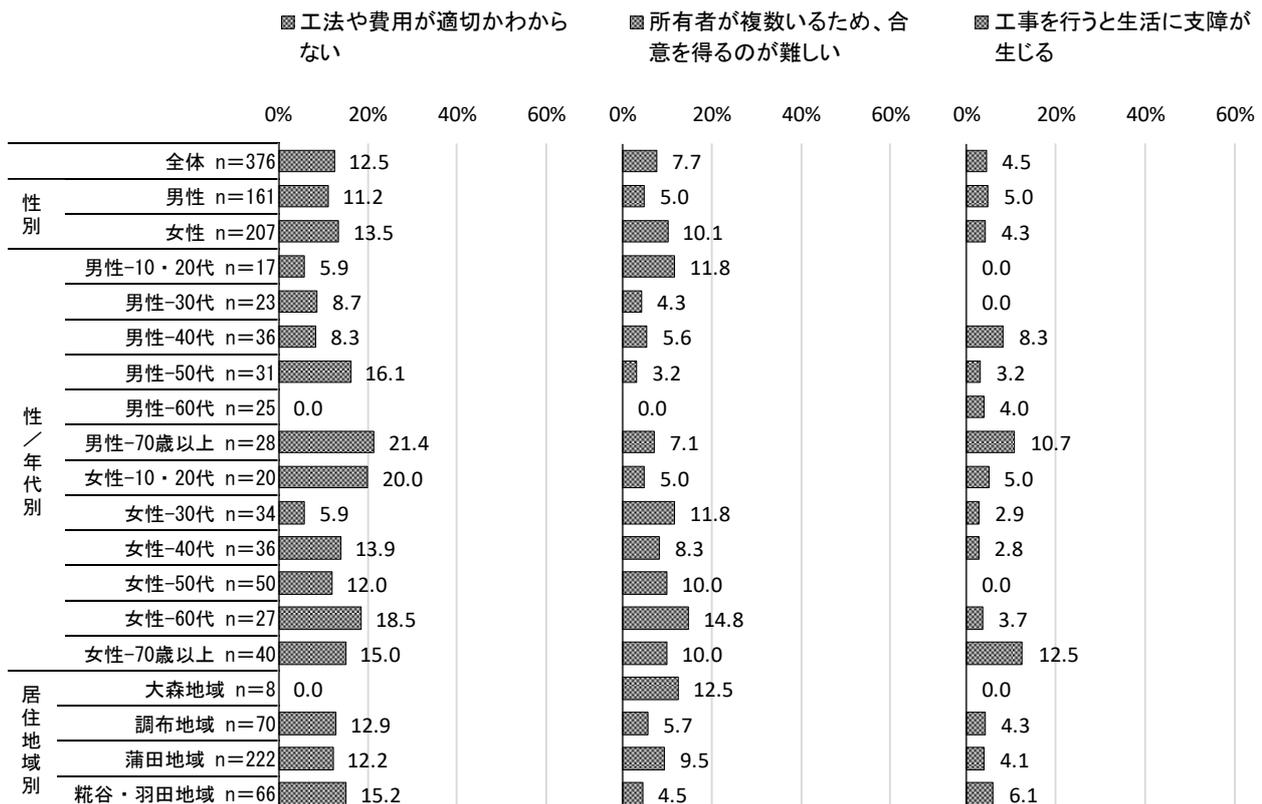
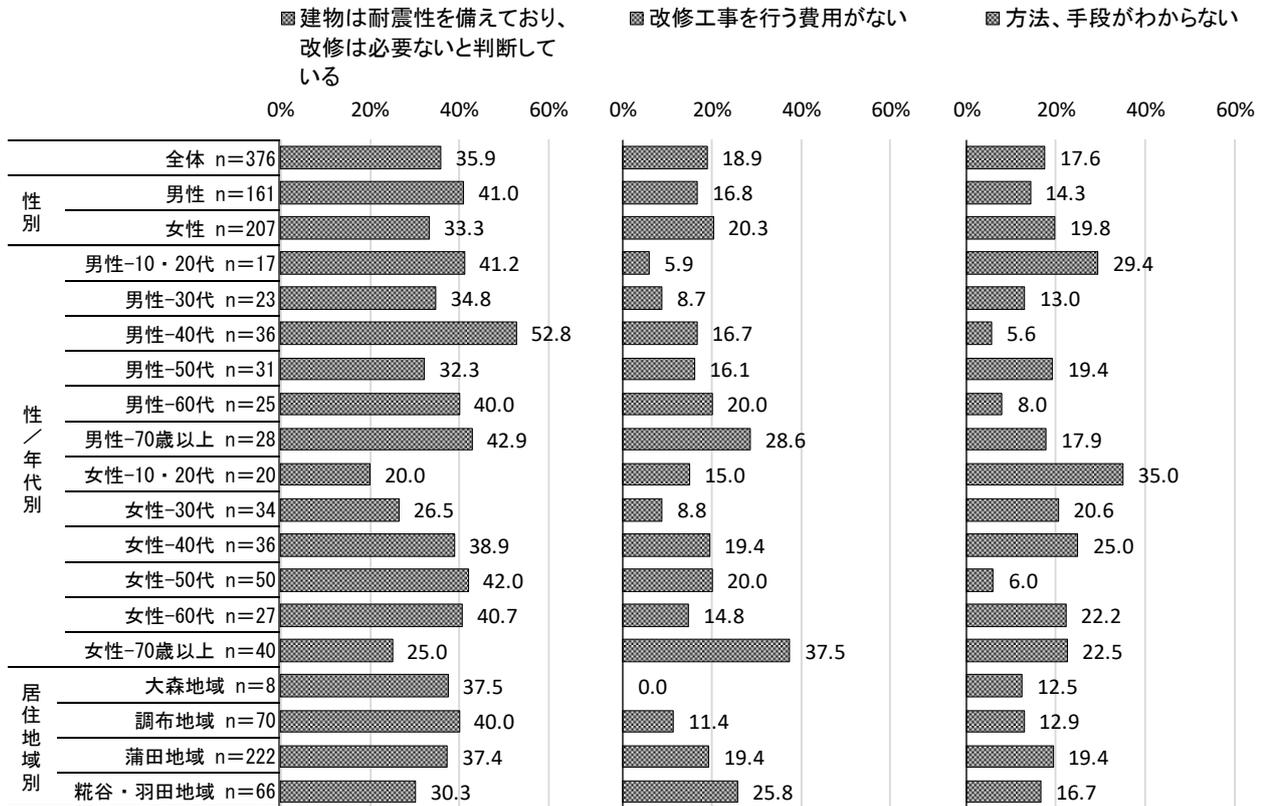


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高く、男性が41.0%、女性が33.3%と、男性が7.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は男性では40代で5割前半、女性では50代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は調布地域で4割と高くなっている。



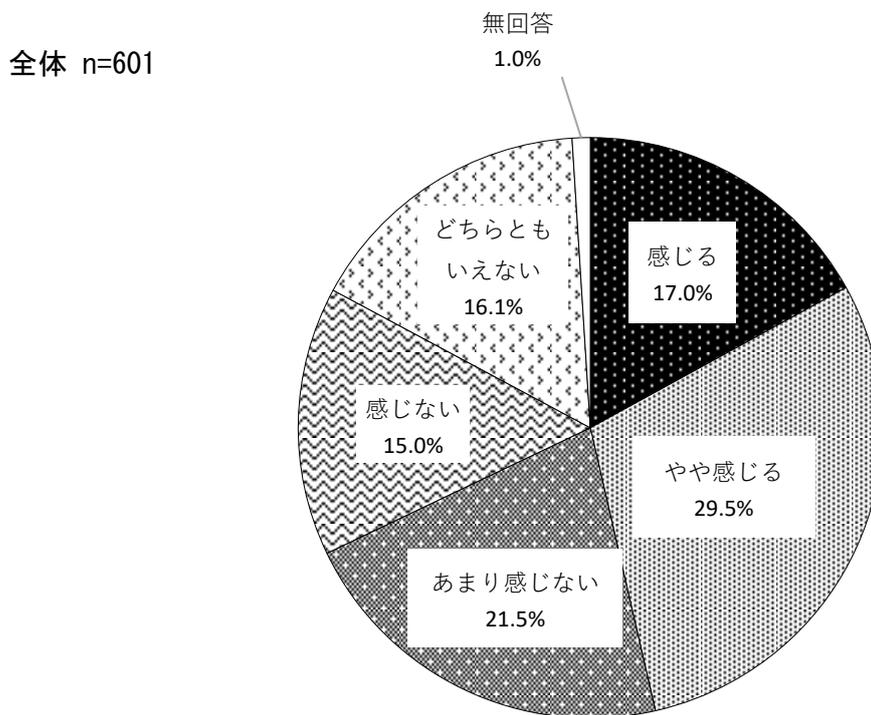
10 空港臨海部について

(1) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は4割後半となっている

問 23 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。（1つのみ）

空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が46.4%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が36.4%と、10ポイント上回っている。

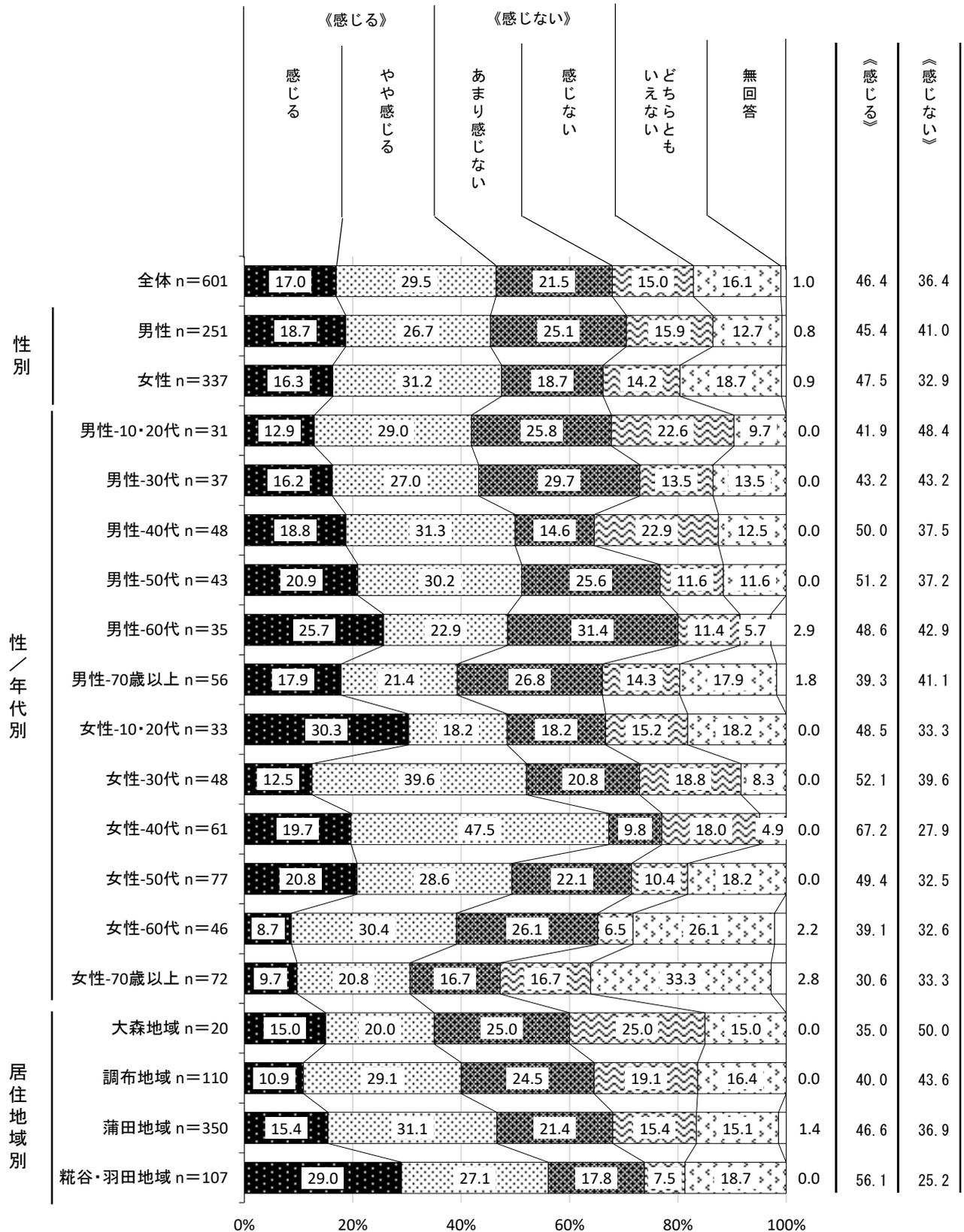


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》に大きな差はみられないものの、《感じない》では男性が41.0%、女性が32.9%と、男性が8.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性50代で5割前半、女性40代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で5割後半と高くなっている。



11 鉄道駅周辺のまちづくりについて

(1) 駅周辺のまちづくり方針の要望

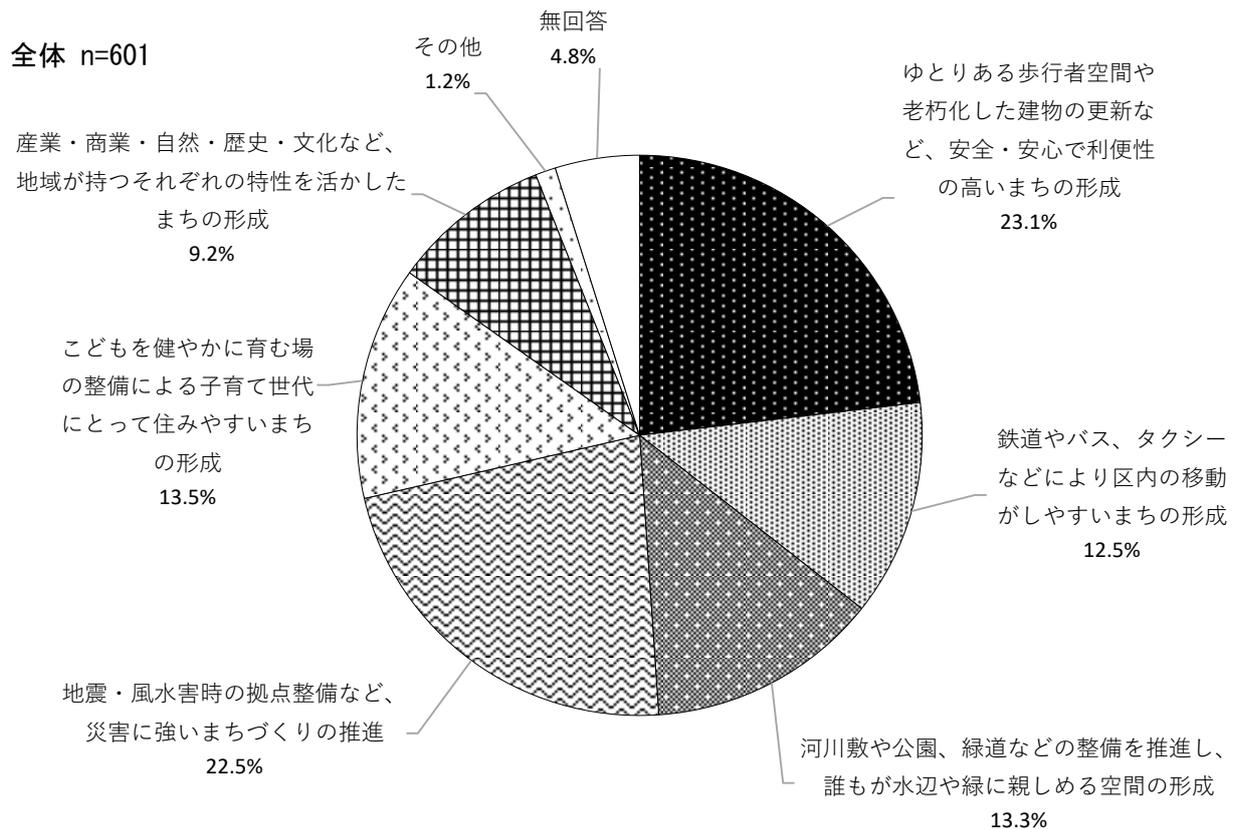
◇「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が2割前半で最も高くなっている

問 24 区は「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」に基づき、鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

地域の魅力向上や活性化のため、どのような取組の方針を望みますか。

※最も望む回答を1つ選択してください。(1つのみ)

駅周辺のまちづくり方針の要望については、「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が23.1%、次いで「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」が22.5%、「こどもを健やかに育む場の整備による子育て世代にとって住みやすいまちの形成」が13.5%となっている。



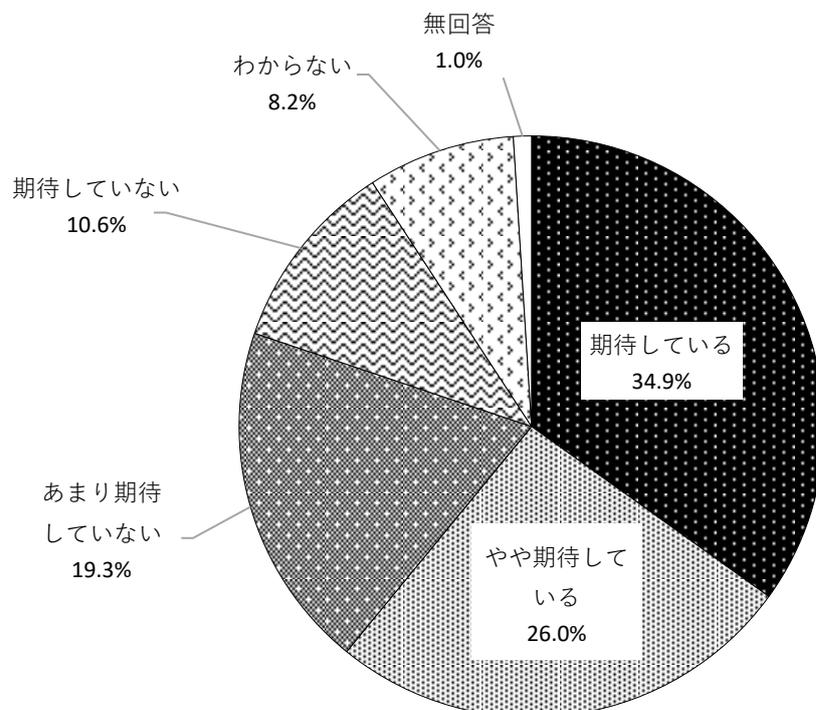
(2) 蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度

◇《期待している》(「期待している」、「やや期待している」の合計値)は6割前半となっている

問 25 区では、新空港線の整備を好機と捉え、魅力あふれる蒲田駅周辺のまちづくりを進めています。蒲田駅周辺では、蒲田駅周辺地区グランドデザインに基づき、駅前広場に、にぎわいの拠点となるイベントスペースを確保することで、人的交流を活発化することを検討しております。この取組みによる、「地域の価値を高める空間の充実」や「文化・交流・にぎわいを生み出す活動の創出」に期待していますか。(1つのみ)

蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度については、「期待している」、「やや期待している」の合計値《期待している》が60.9%で、「あまり期待していない」、「期待していない」の合計値《期待していない》は30.0%と、《期待している》が30.9ポイント上回っている。

全体 n=601

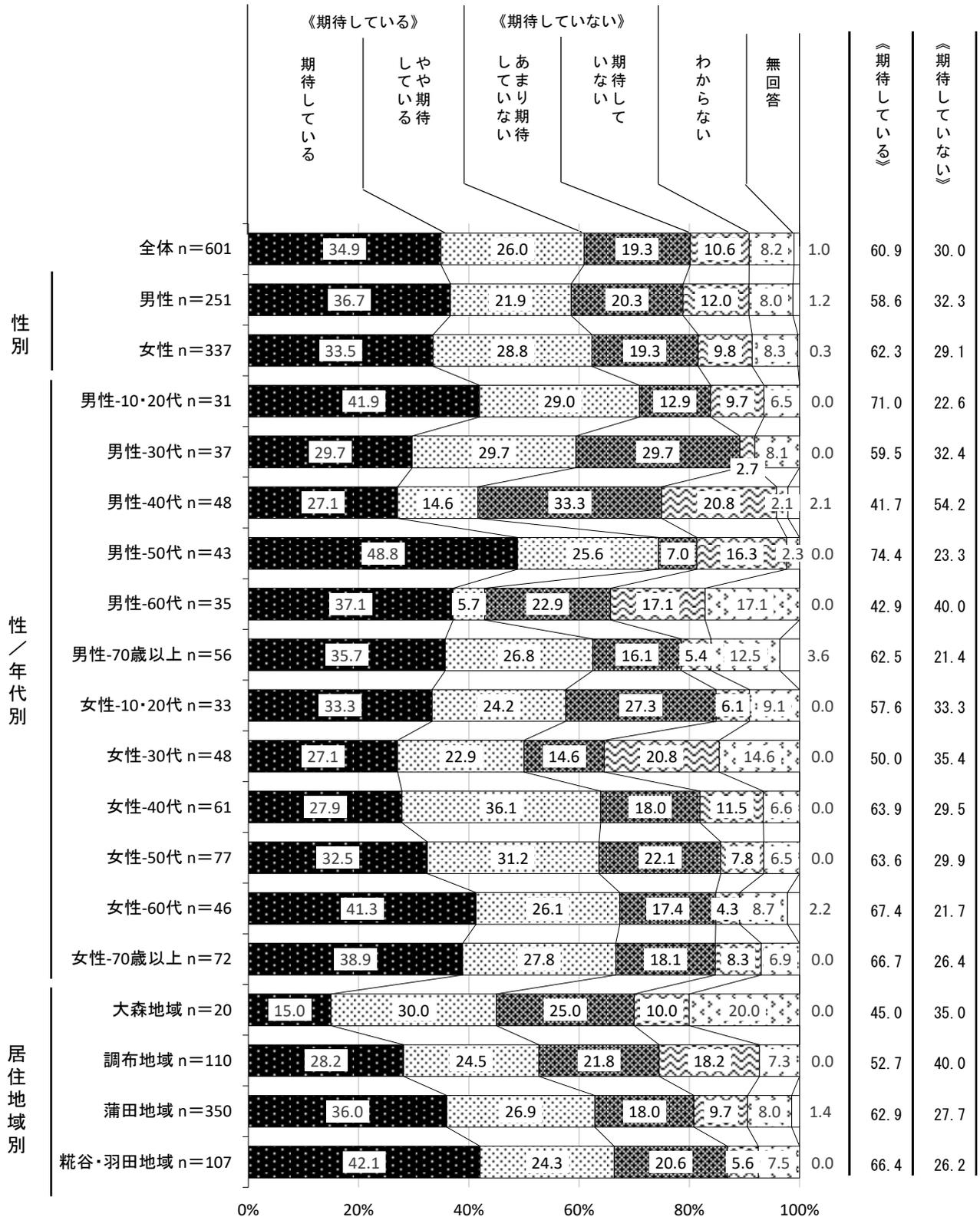


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《期待している》は男性では10・20代、50代で7割前半、女性では60代、70歳以上で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《期待している》は糶谷・羽田地域で6割後半と高くなっている。

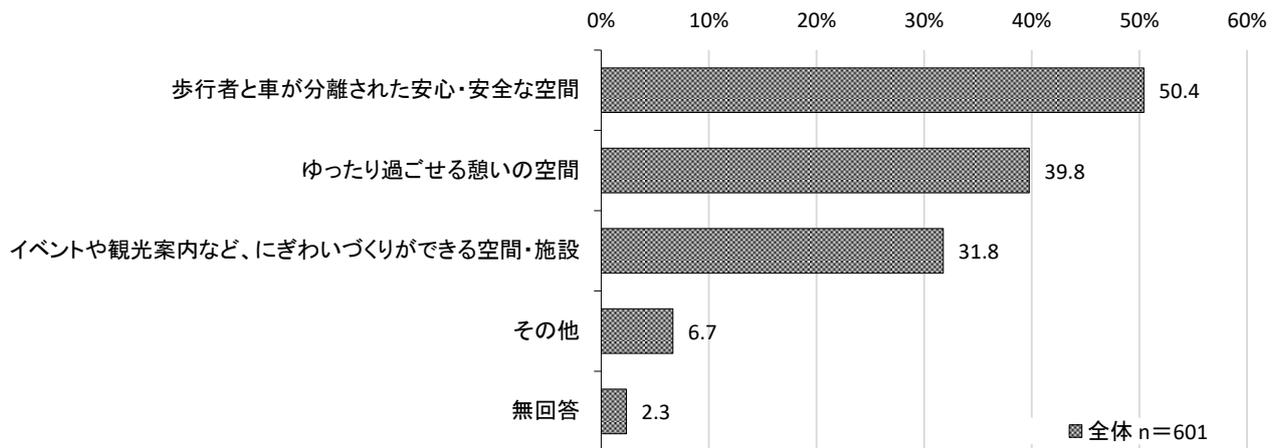


(3) 蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能

◇「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が約5割で最も高くなっている

問 26 蒲田駅の駅前広場やその周辺の、にぎわい拠点に求める機能はありますか。(複数選択可)

蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能については、「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が50.4%、次いで「ゆったり過ごせる憩いの空間」が39.8%と、「イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設」が31.8%となっている。

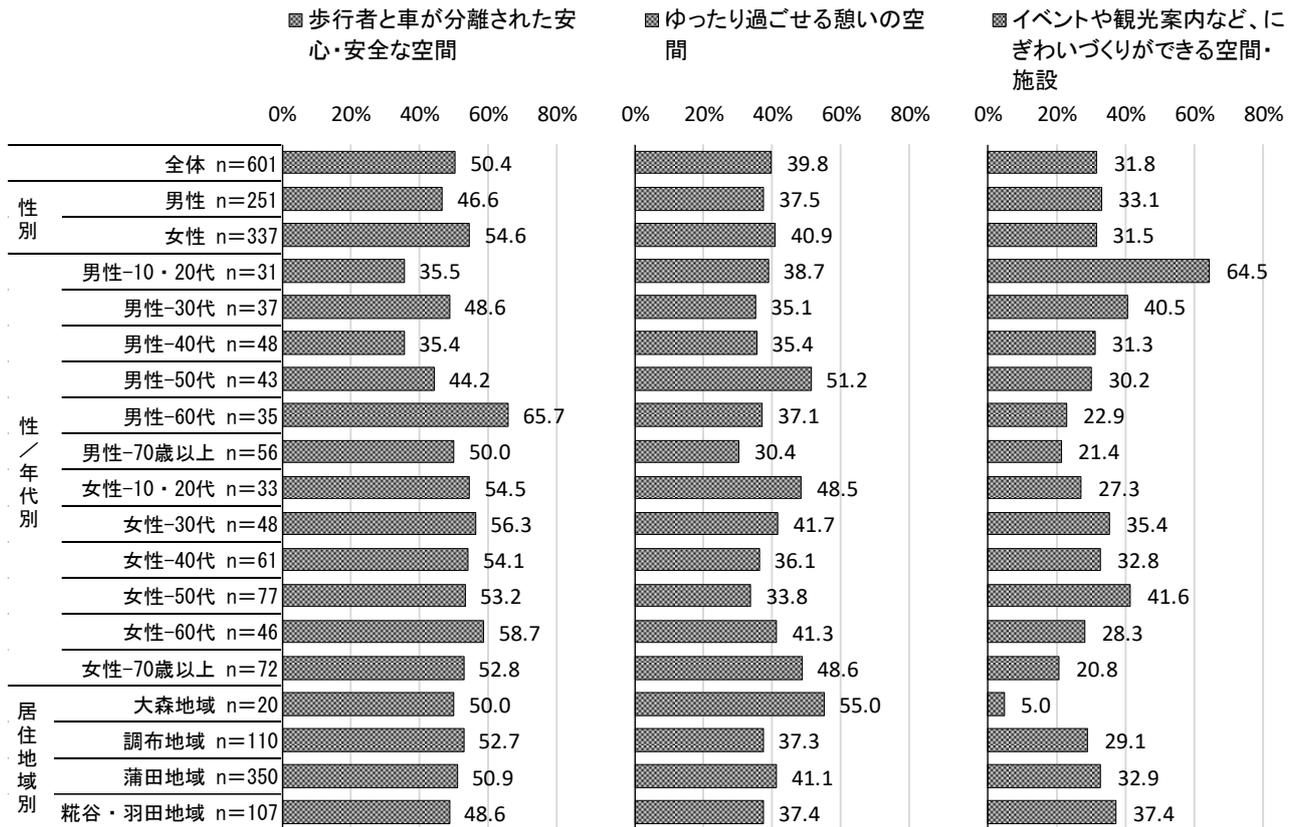


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が最も高く、男性が46.6%、女性が54.6%と、女性が8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」は男性では60代で6割半ば、女性では30代、60代で5割後半と高くなっている。「ゆったり過ごせる憩いの空間」は男性50代で5割前半、女性10・20代、70歳以上で4割後半と高くなっている。「イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設」は男性10・20代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域でも「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が最も高くなっている。



12 羽田空港跡地について

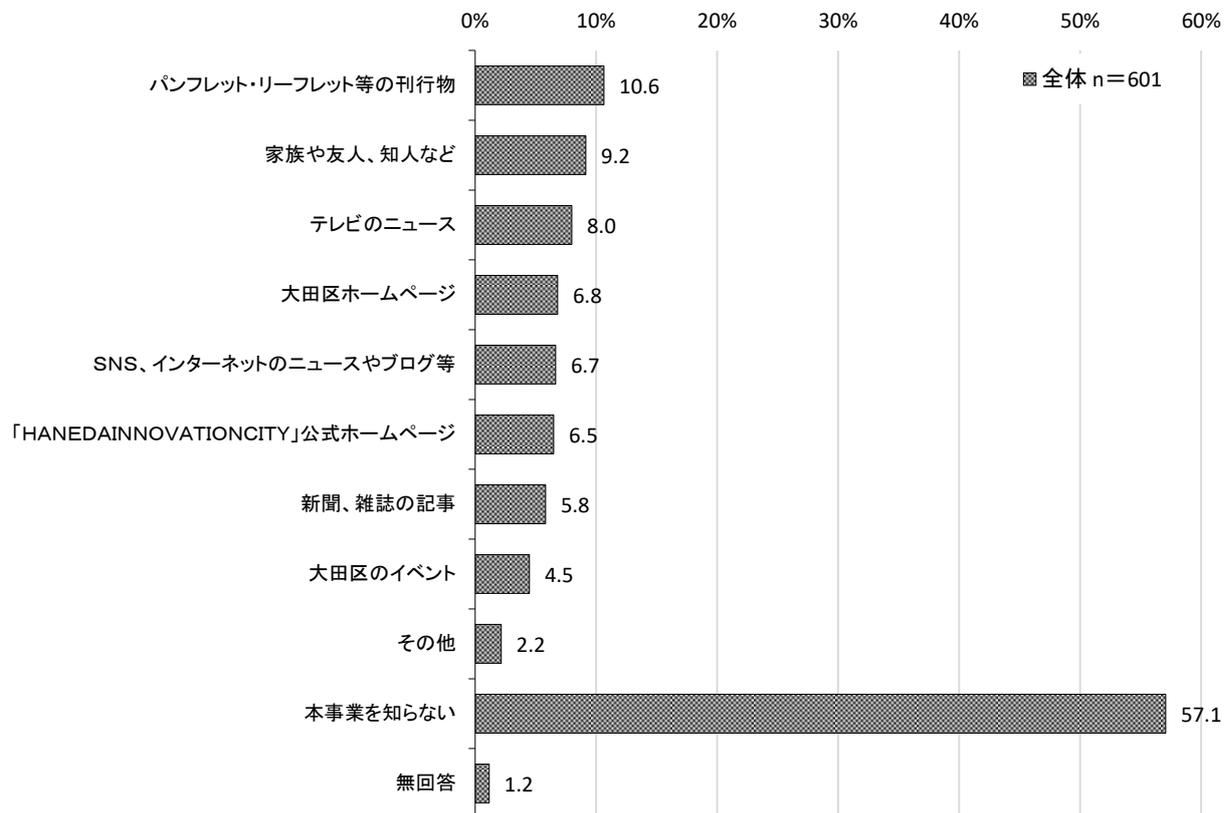
(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法

◇ 「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

問 27 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(複数選択可)

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が10.6%で最も高く、次いで「家族や友人、知人など」が9.2%、「テレビのニュース」が8.0%となっている。

なお、「本事業を知らない」は57.1%となっている。

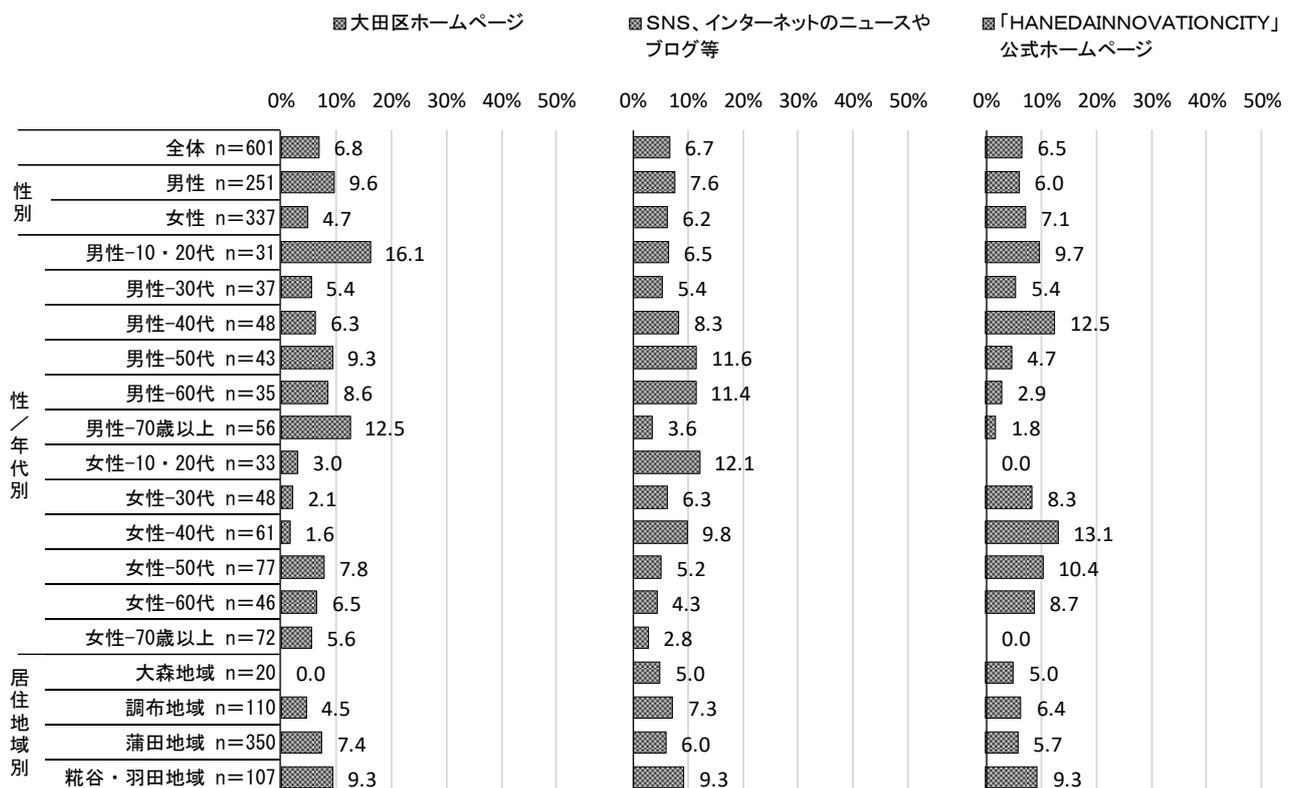
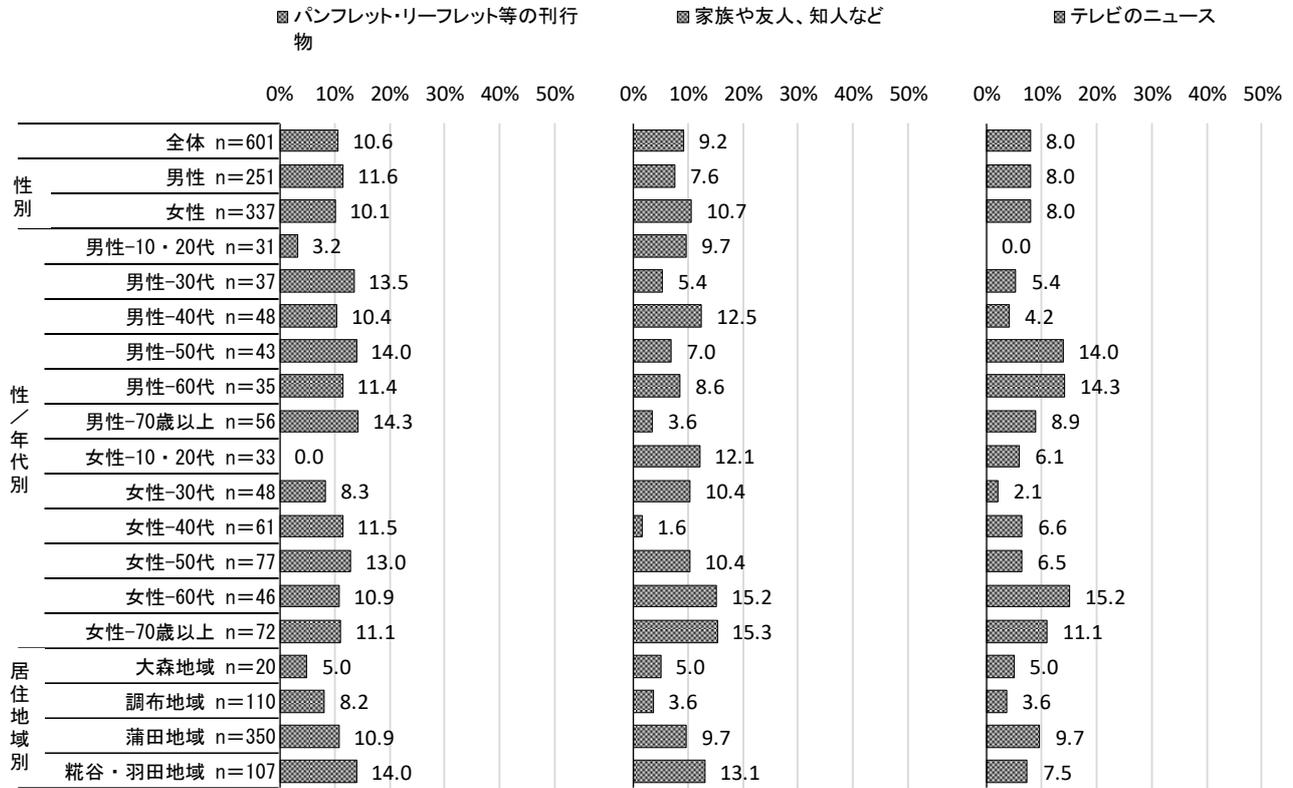


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が、女性では「家族や友人、知人など」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「大田区のホームページ」は男性10・20代で1割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」は糞谷・羽田地域で1割前半と高くなっている。



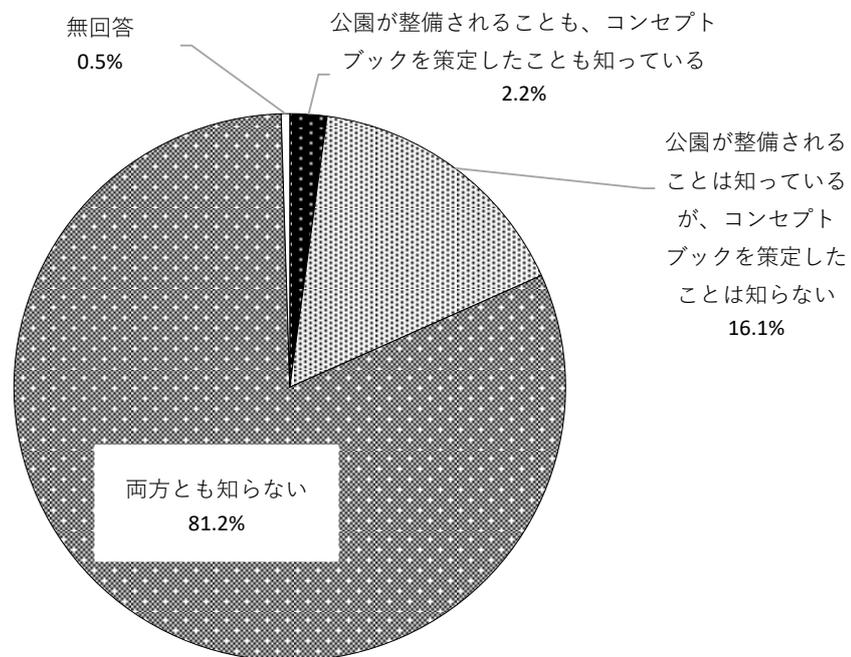
(2) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度

◇「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は1割未満となっている

問 28 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)

“羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック”の認知度については、「両方とも知らない」が81.2%で最も高く、次いで「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」が16.1%、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」が2.2%となっている。

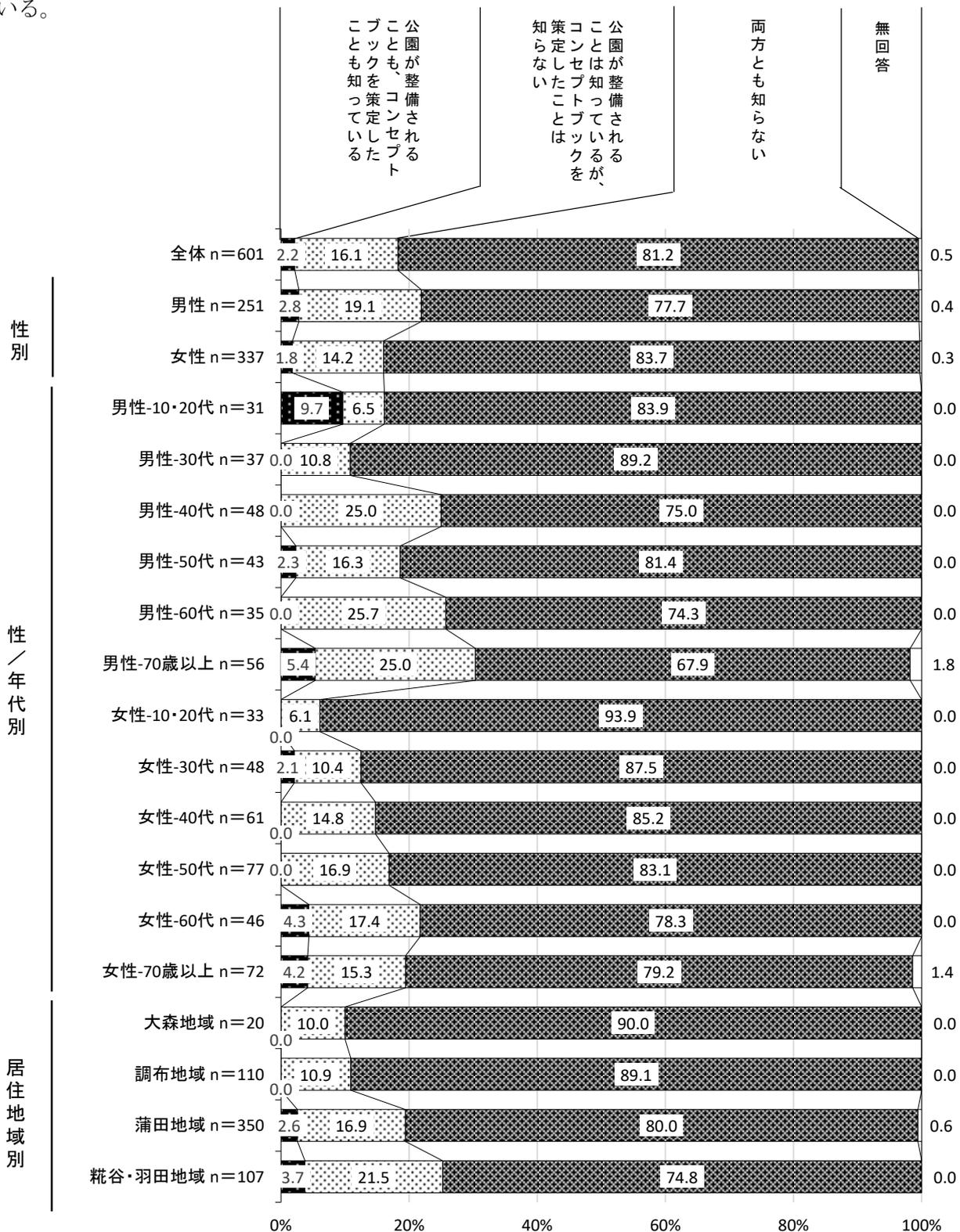
全体 n=601



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は男性2.8%、女性1.8%と、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は男性10・20代で約1割と高くなっている。「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は男性40代、60代、70歳以上で2割半ばと高くなっている。居住地域別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は糞谷・羽田地域で最も高くなっている。

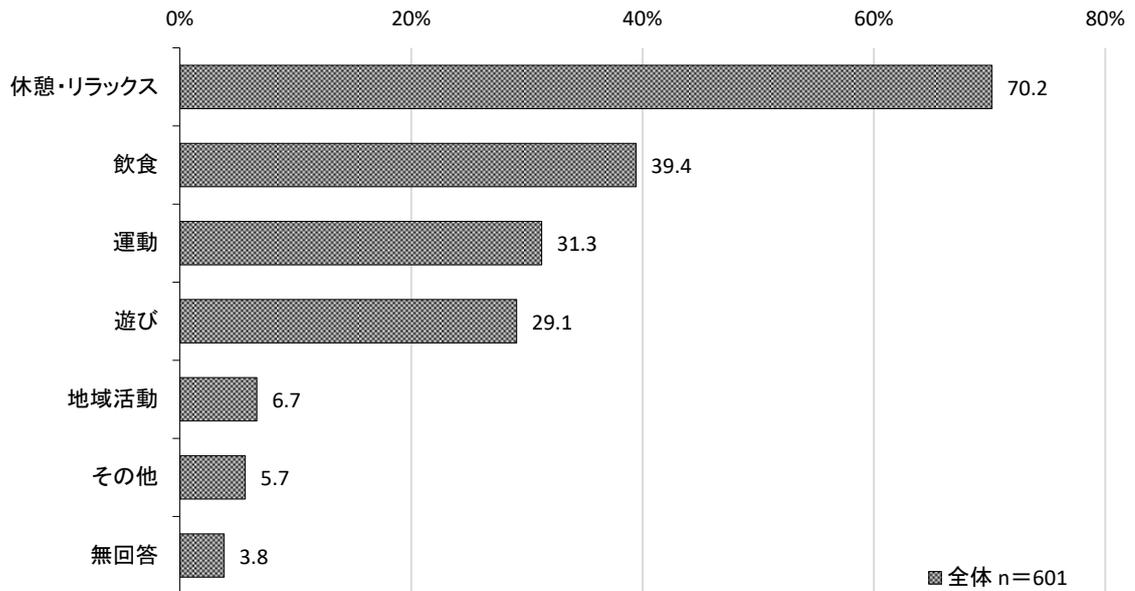


(3) 整備される公園でしてみたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

問 29 問 28 で整備される予定の公園でしてみたいことはありますか。(複数選択可)

整備される公園でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が39.4%、「運動」が31.3%となっている。

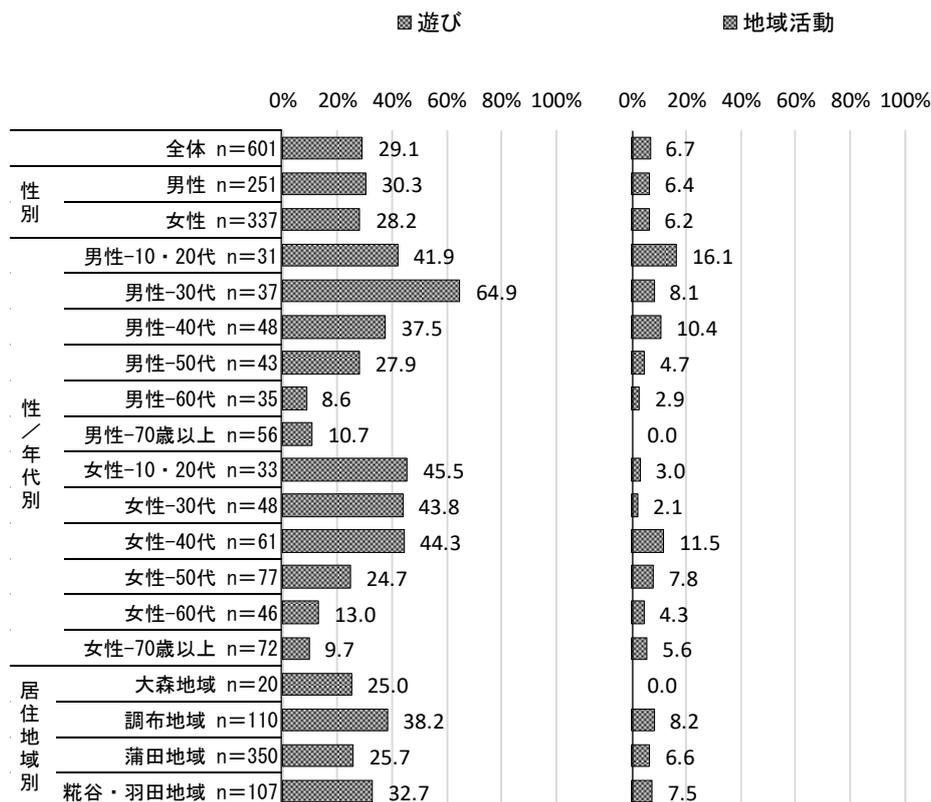
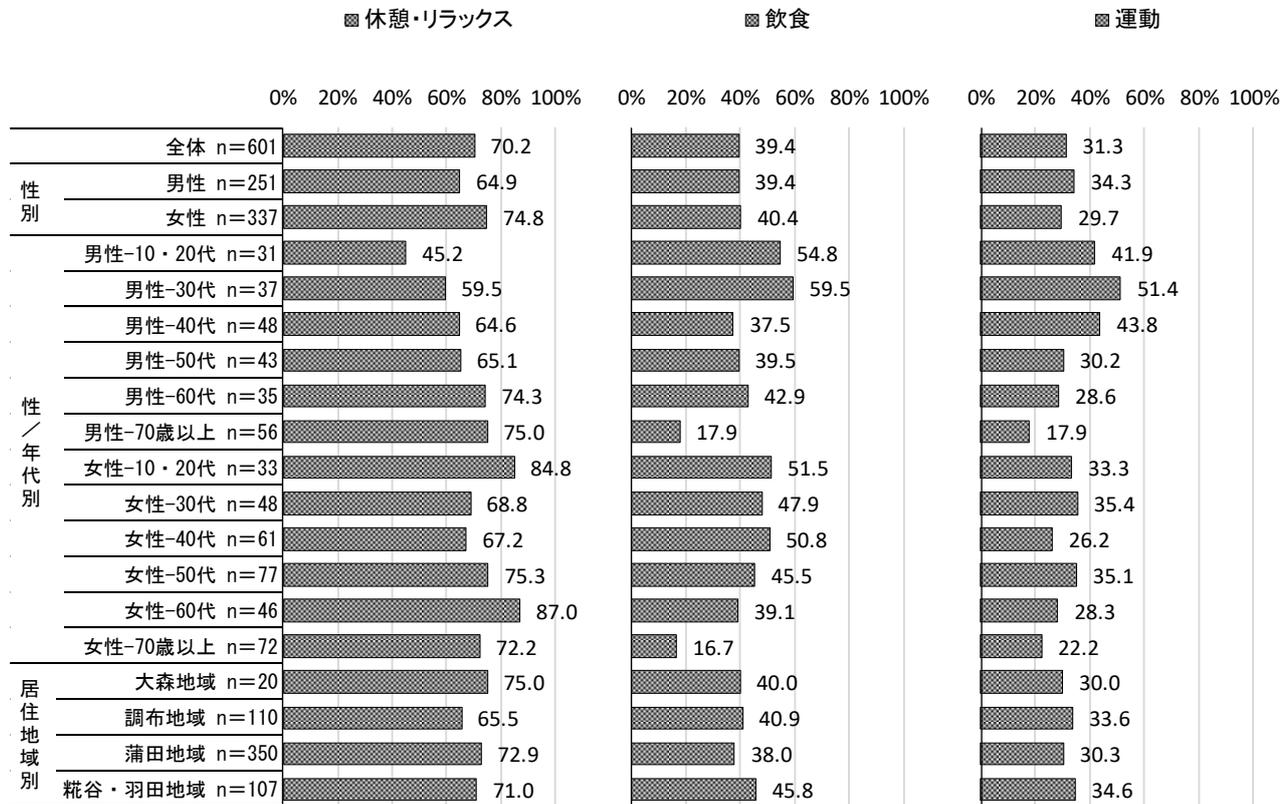


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高く、男性64.9%、女性74.8%と、女性が9.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「休憩・リラックス」は男性では70歳以上で7割半ば、女性では60代で8割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「休憩・リラックス」は蒲田地域、糎谷・羽田地域で7割前半と高くなっている。



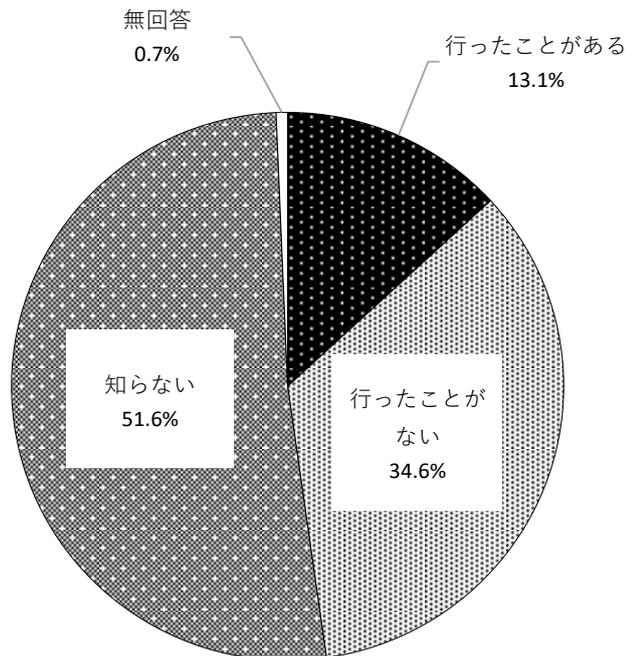
(4) 「ソラムナード羽田緑地」の利用有無

◇「行ったことがある」は1割前半となっている

問 30 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）があります。スカシユリや飛行機のビュースポットが見所ですが、ここに行ったことはありますか。（1つのみ）

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が51.6%で最も高く、次いで「行ったことがない」が34.6%、「行ったことがある」が13.1%となっている。

全体 n=601

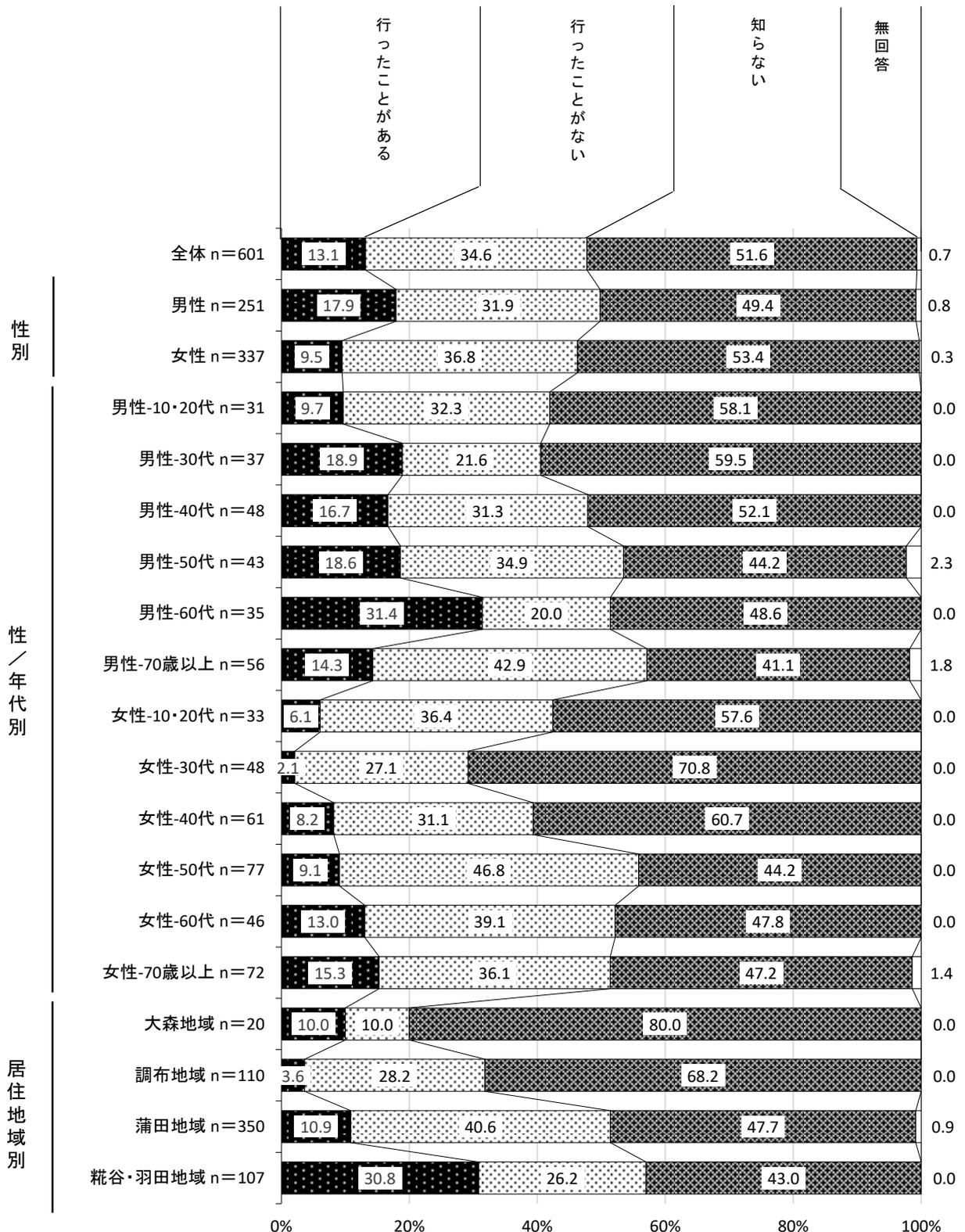


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」は男性が17.9%、女性が9.5%と、男性が8.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行ったことがある」は男性では60代で3割前半、女性では70歳以上で1割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。

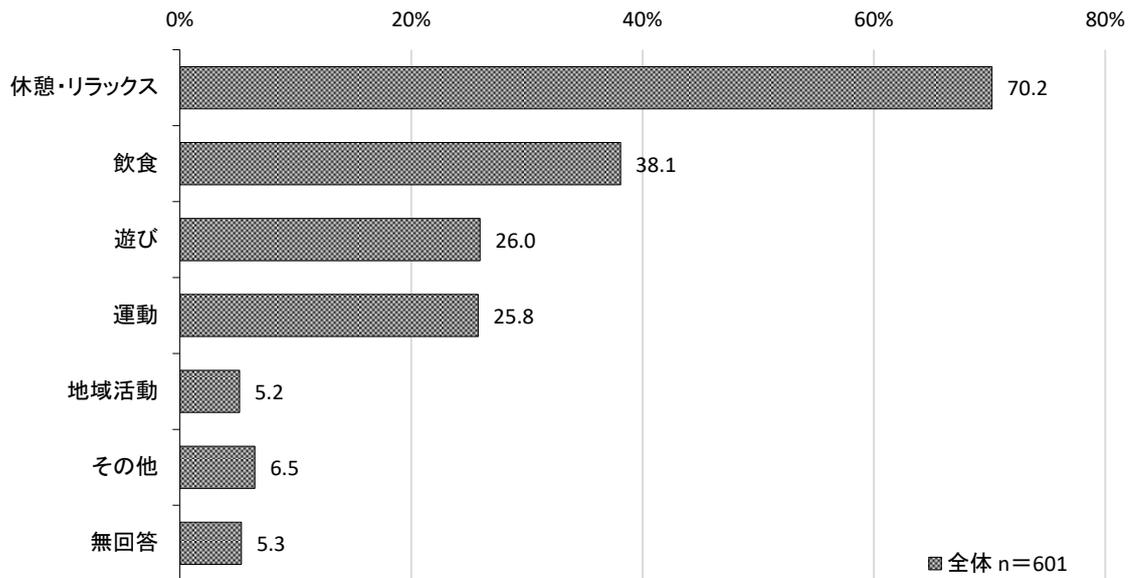


(5) 「ソラムナード羽田緑地」でしてみたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

問 31 「ソラムナード羽田緑地」は、今年度さらに拡張します。ここでしてみたいことはありますか。(複数選択可)

“ソラムナード羽田緑地”でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が38.1%、「遊び」が26.0%となっている。

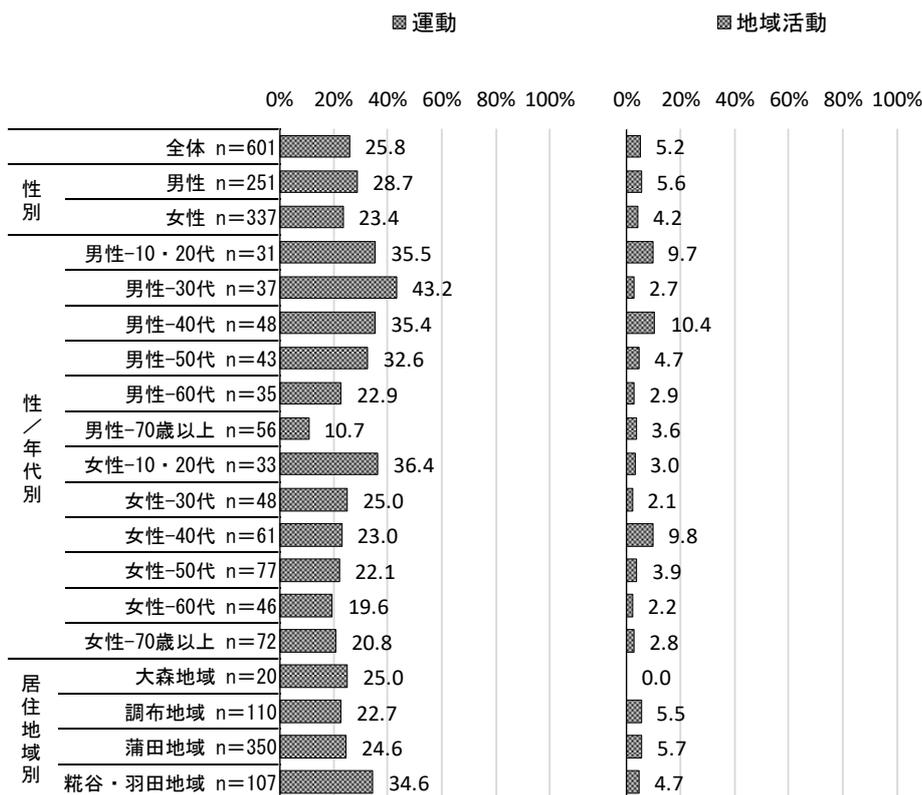
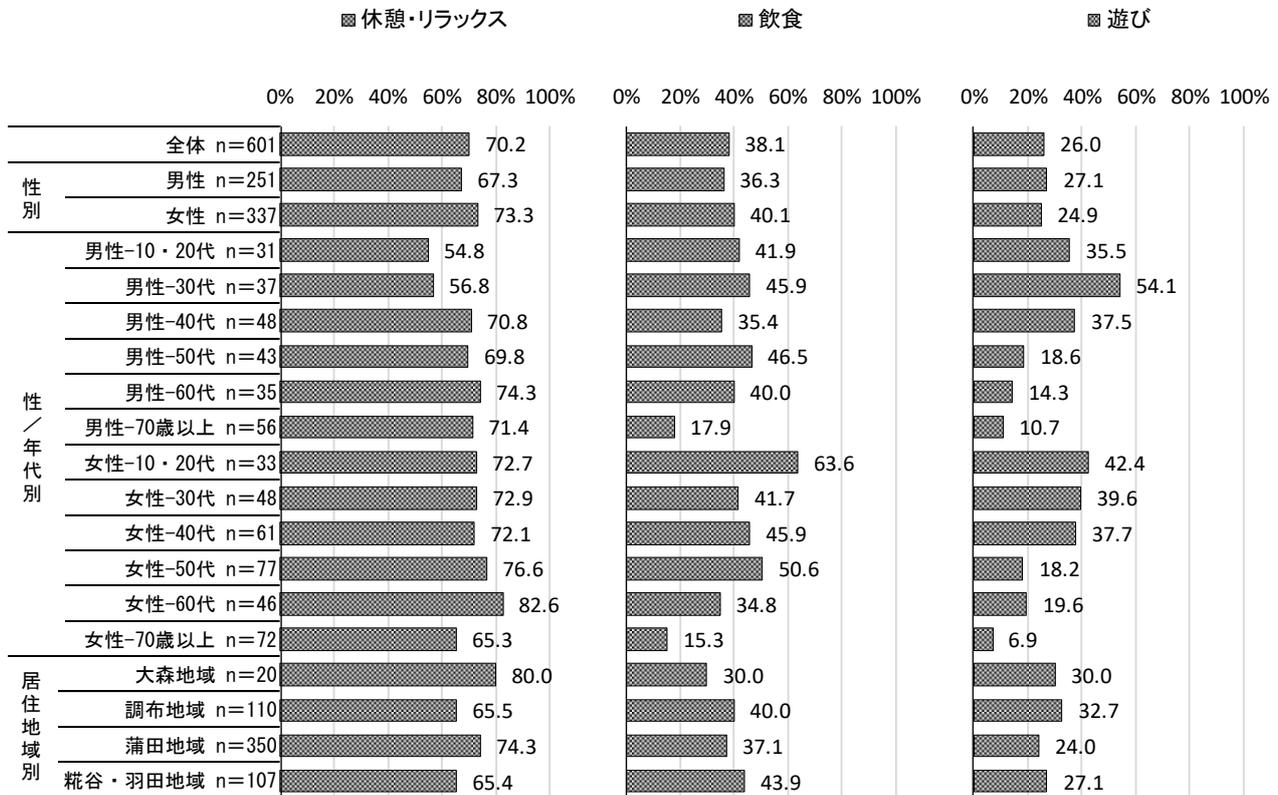


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高く、男性67.3%、女性73.3%と、女性が6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「休憩・リラックス」は男性では60代で7割前半、女性では60代で8割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「休憩・リラックス」は蒲田地域で7割前半と高くなっている。



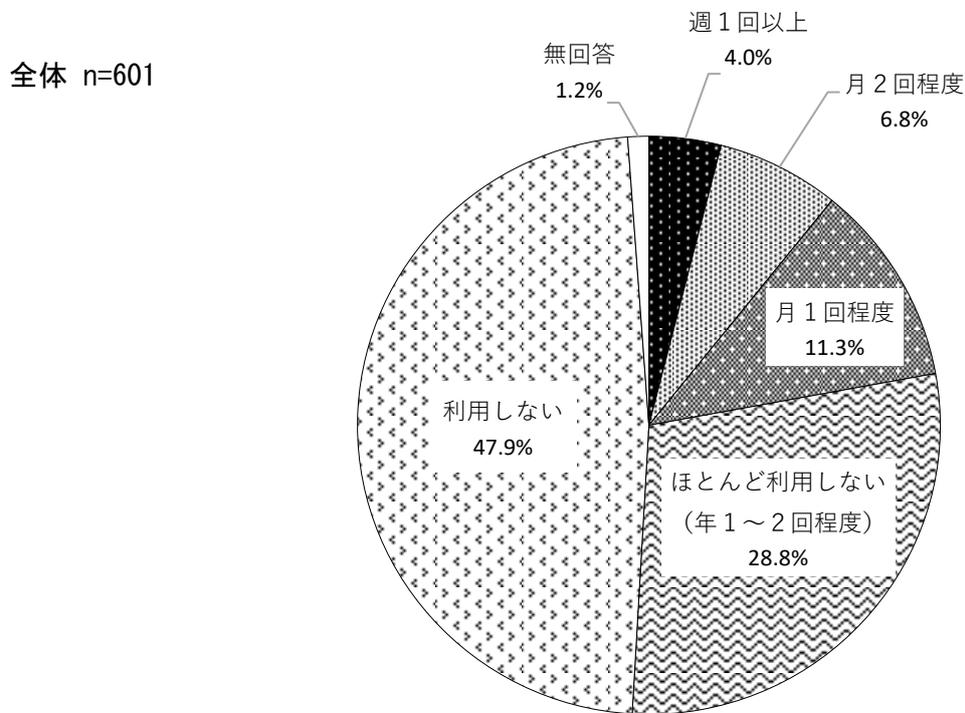
13 図書館について

(1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》（「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値）は2割前半となっている

問 32 大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用していますか。（1つのみ）

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》が22.1%である一方で、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》は76.7%と、「利用しない」が54.6ポイント上回っている。

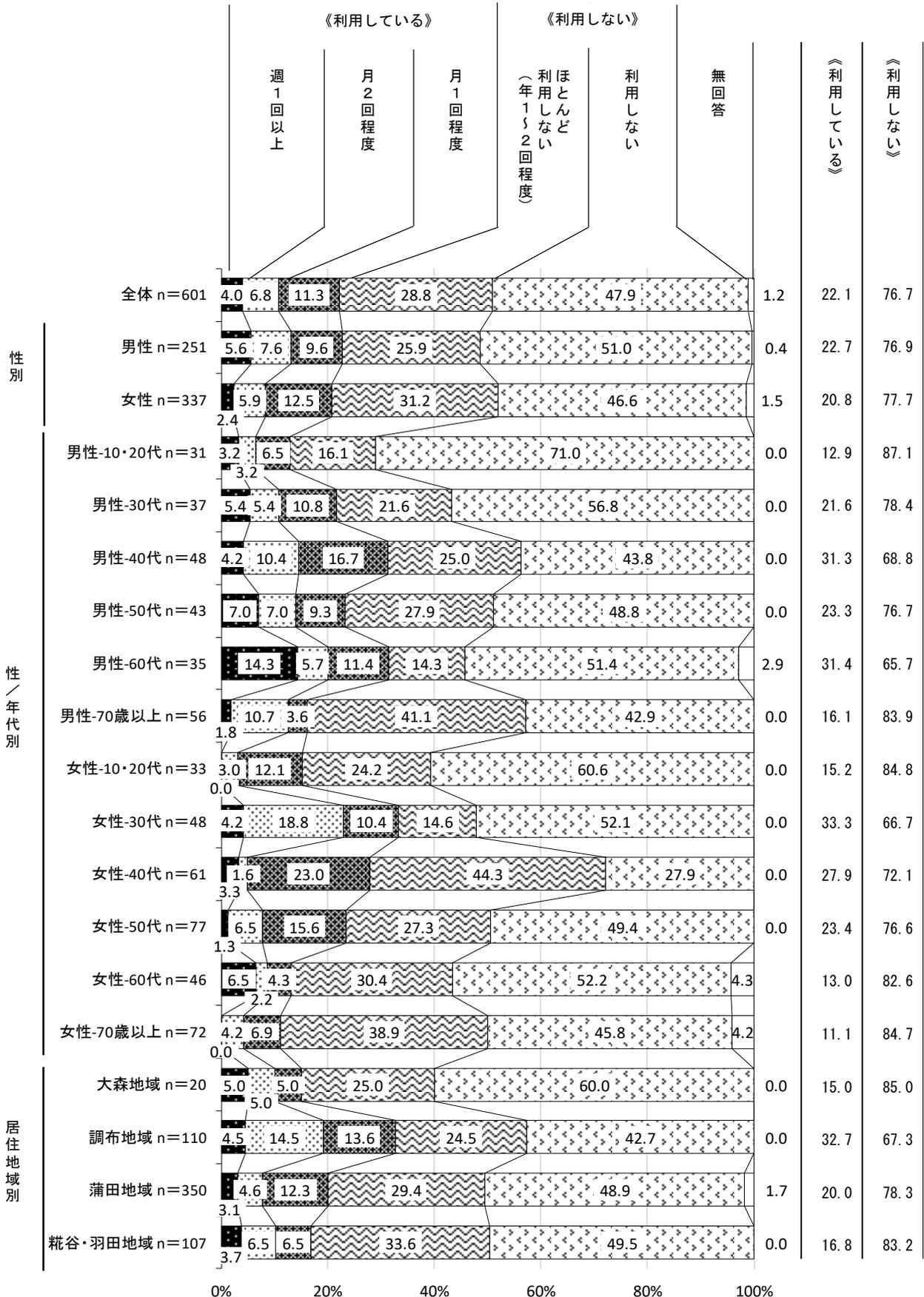


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《利用している》は男性では40代、60代、女性では30代で3割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《利用している》は調布地域で3割前半と高くなっている。



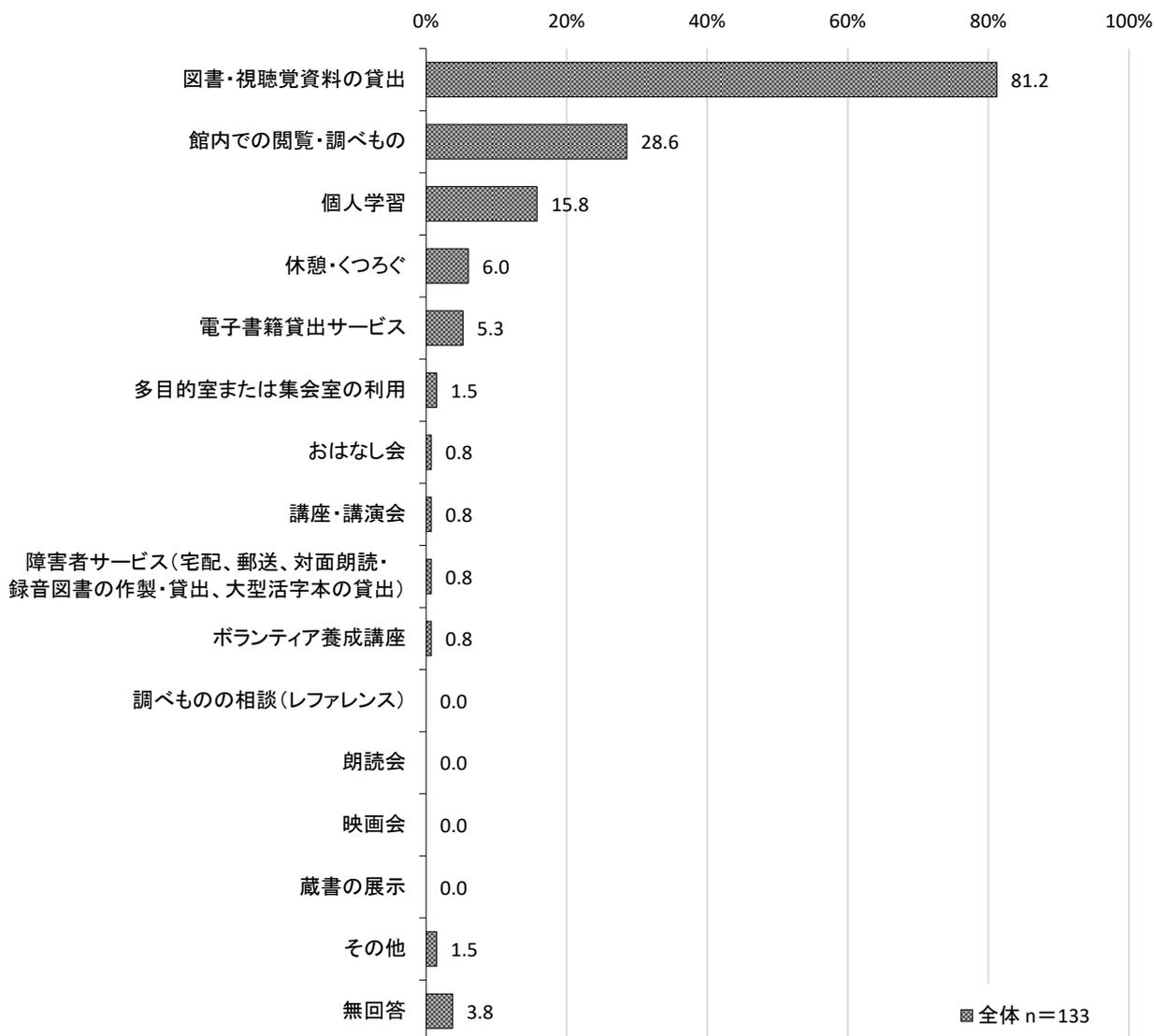
(2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割前半で最も高くなっている

【問32で「1週1回以上」「2月2回程度」「3月1回程度」と回答した方に伺います。】

問32-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(複数選択可)

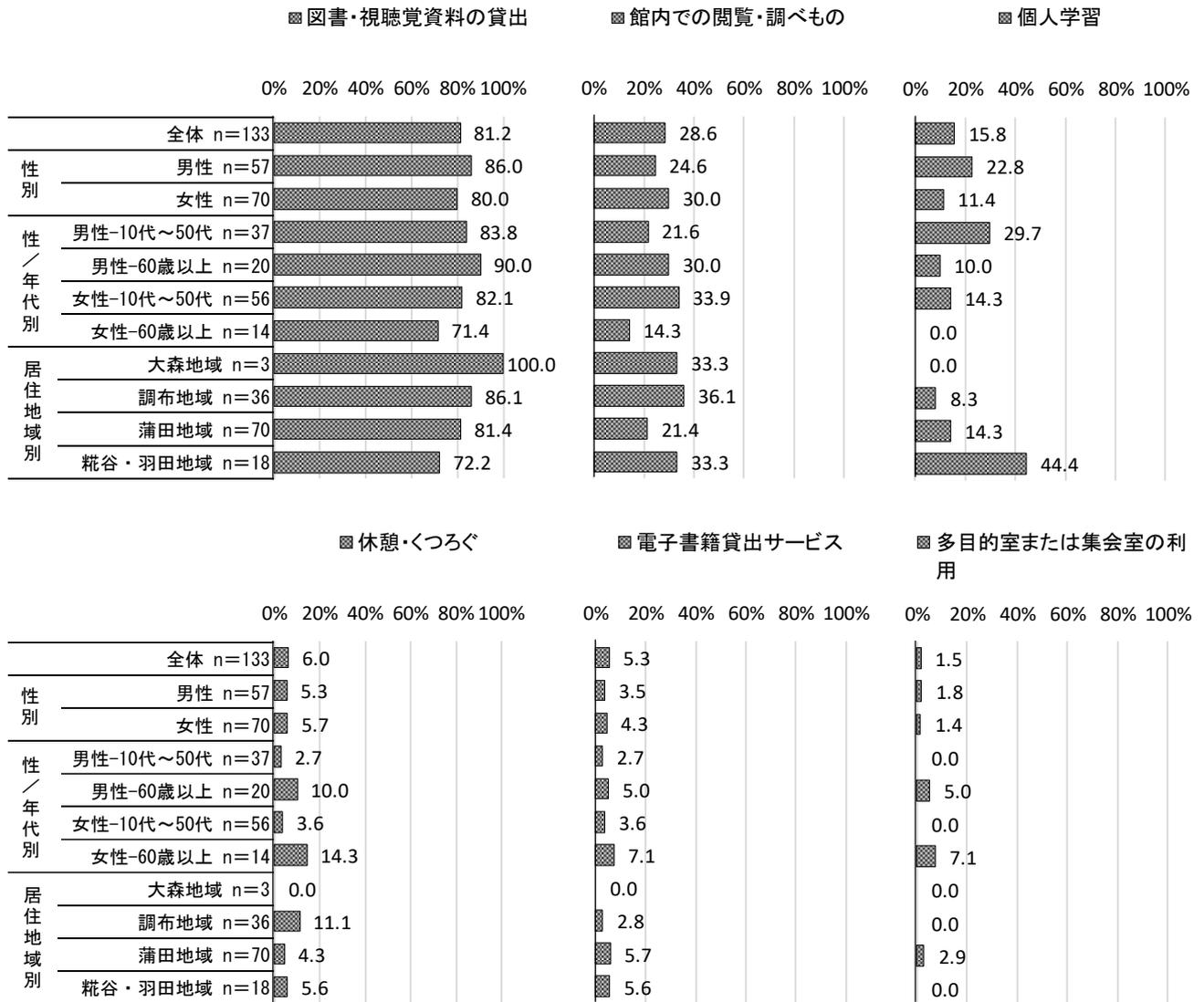
図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が81.2%で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が28.6%、「個人学習」が15.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性86.0%、女性80.0%と、男性が6ポイント上回っている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高くなっている。



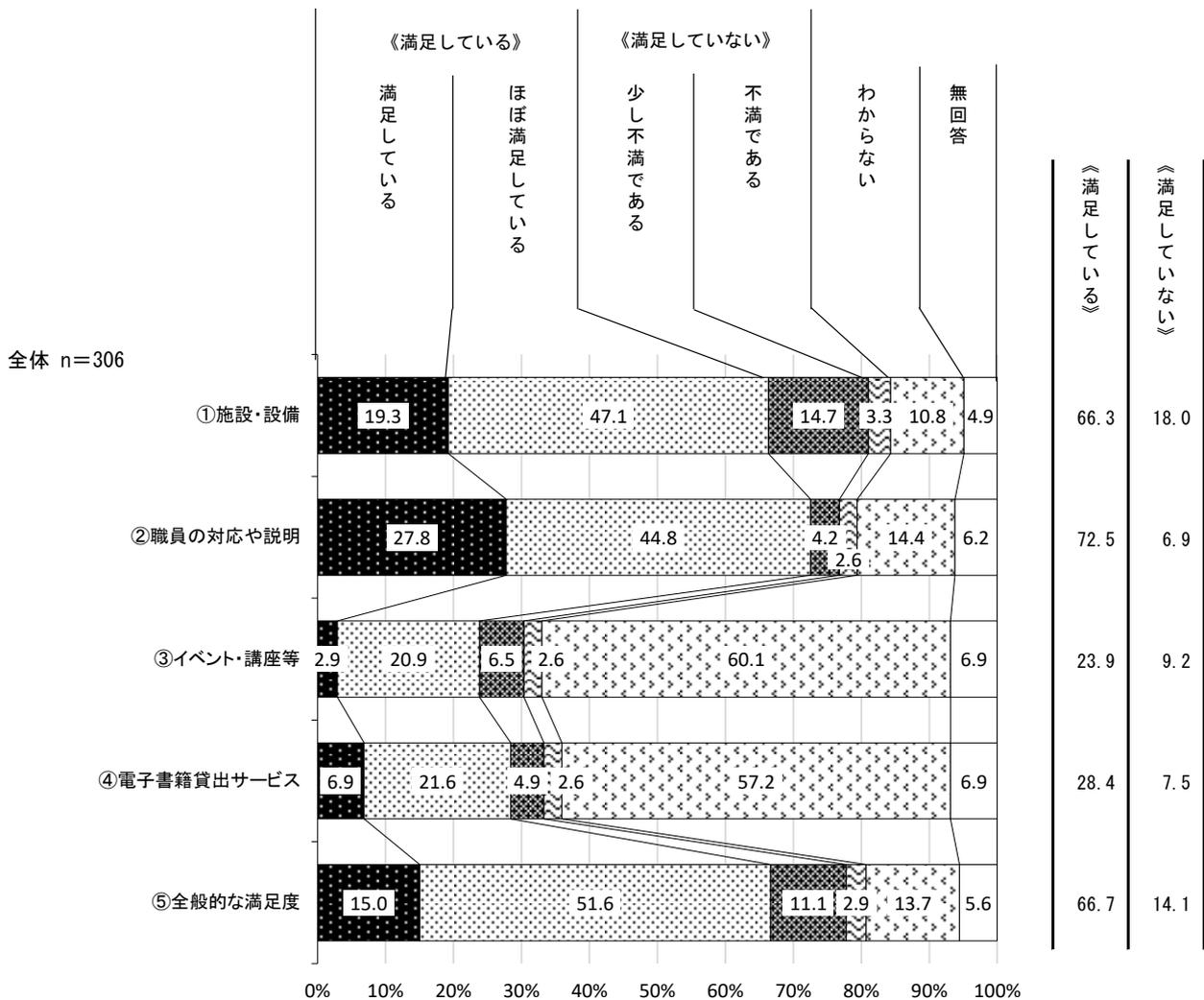
(3) 図書館の満足度

◇②職員の対応や説明の《満足している》(「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値)は7割前半で最も高くなっている

【問 32 で「1 週 1 回以上」「2 月 2 回程度」「3 月 1 回程度」「4 ほとんど利用しない (年 1～2 回程度) と回答した方に伺います。】

問 32-2 図書館について、どの程度満足していますか。1 から 5 のそれぞれに回答ください。
(それぞれ1つのみ)

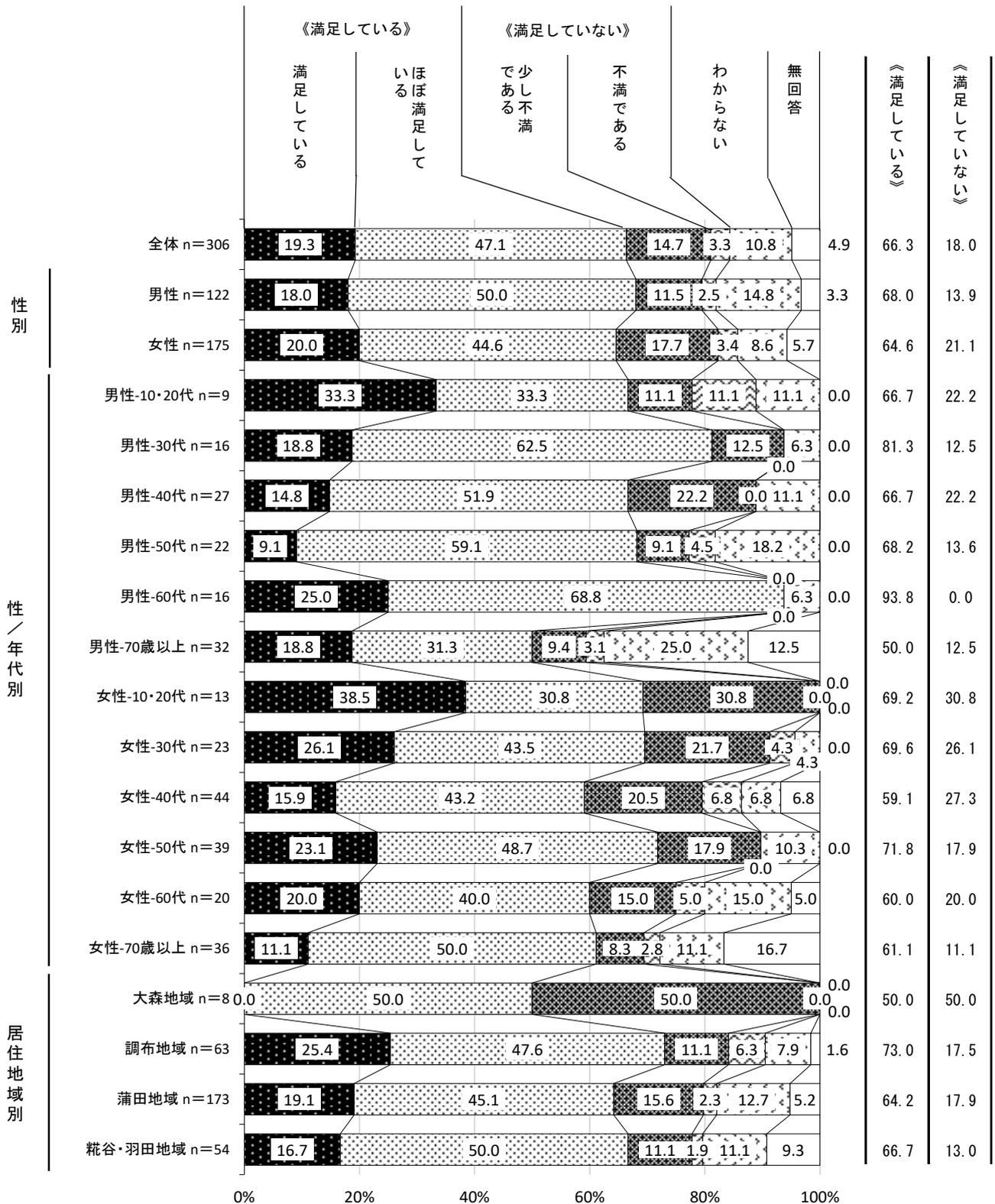
図書館の満足度については、②職員の対応や説明の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 72.5%と最も高く、次いで⑤全般的な満足度の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.7%、①施設・設備の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.3%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_①施設・設備

性別でみると、《満足している》は男性68.0%、女性64.6%と、男性が3.4ポイント上回っている。

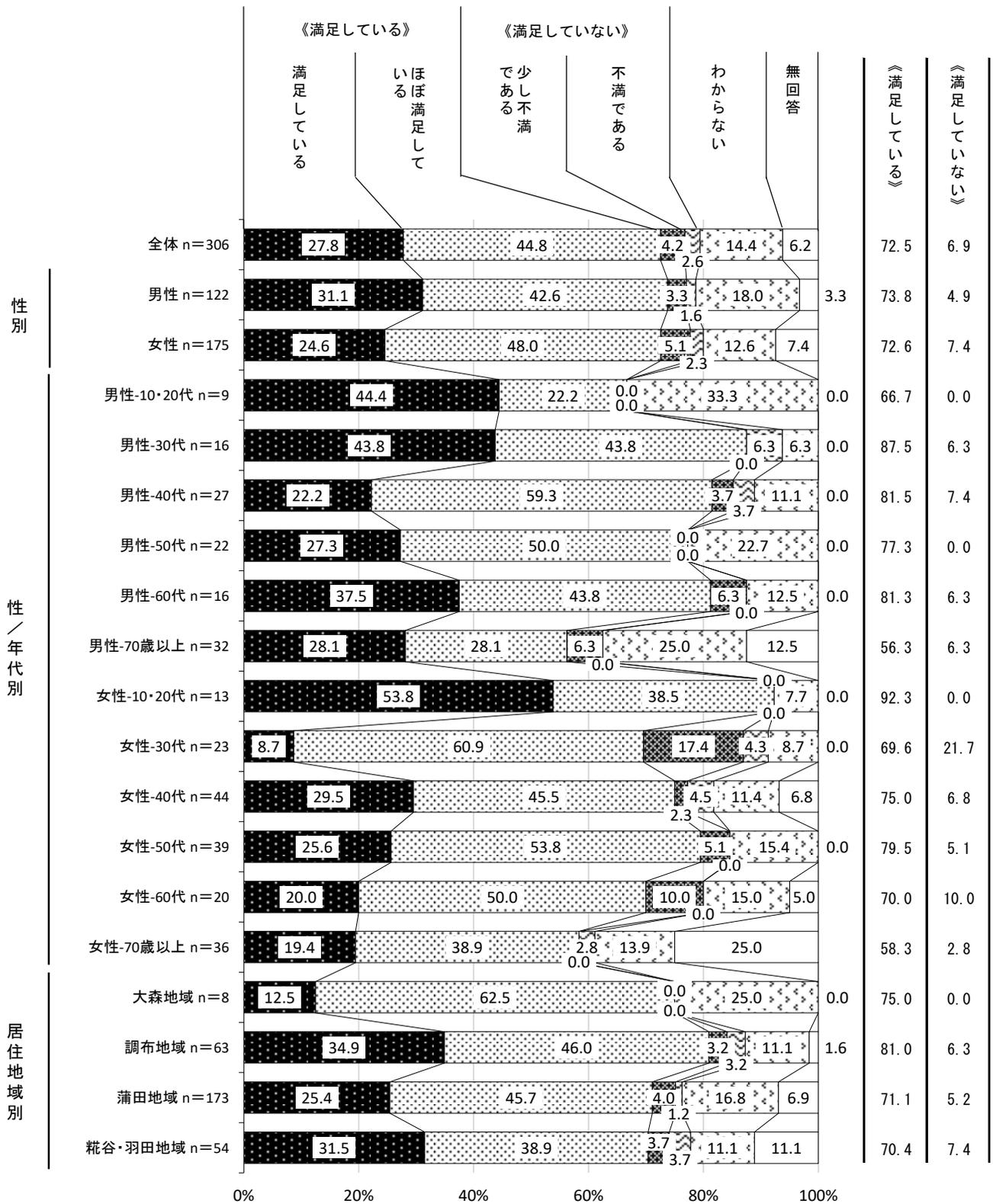
居住地域別でみると、《満足している》は調布地域で7割前半、その中の「満足している」が2割半ばと高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_②職員の対応や説明

性別で見ると、《満足している》に大きな差はみられないものの、「満足している」では男性が31.1%、女性が24.6%と、男性が6.5ポイント上回っている。

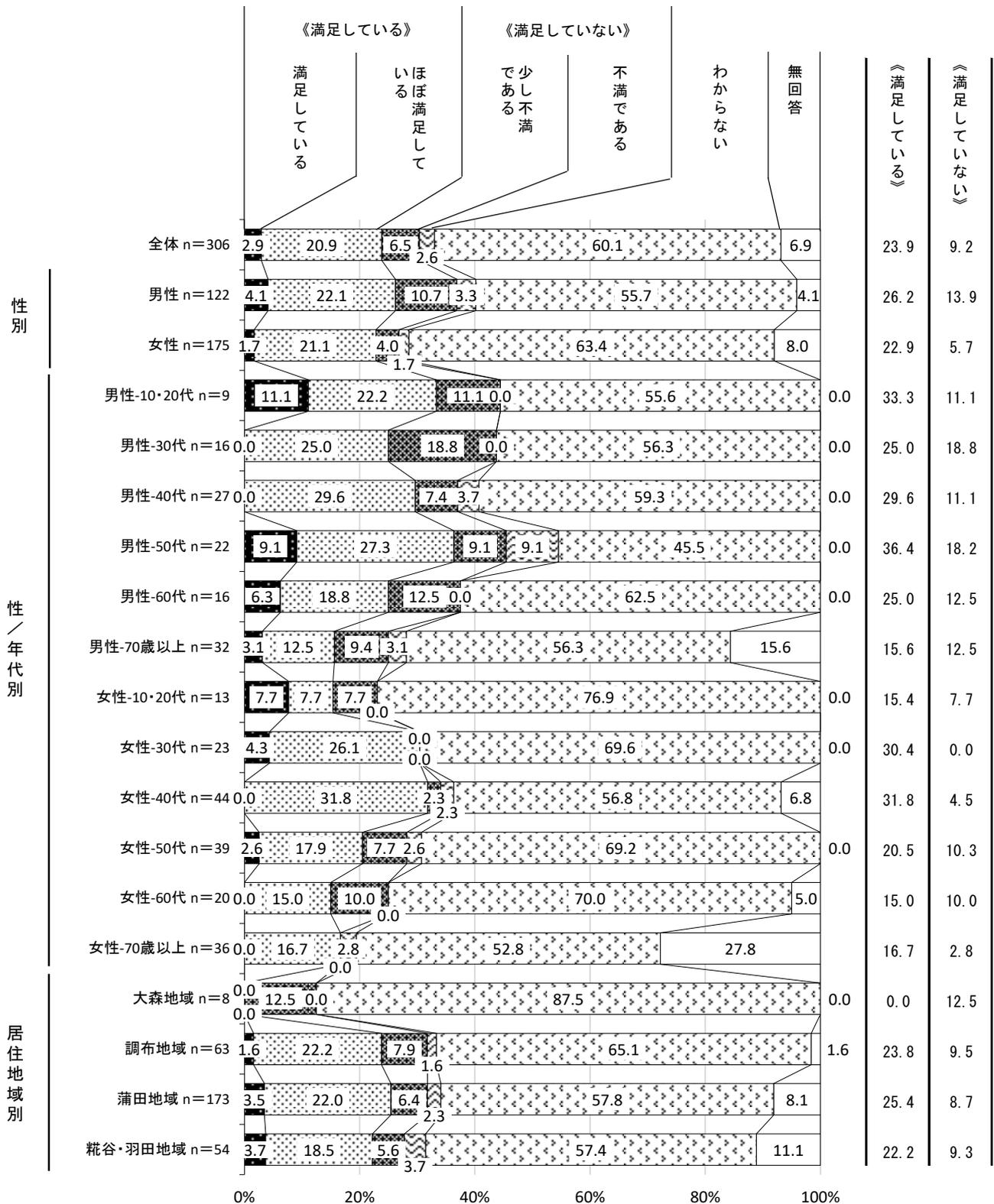
居住地域別で見ると、《満足している》は調布地域で8割前半と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_③イベント・講座等

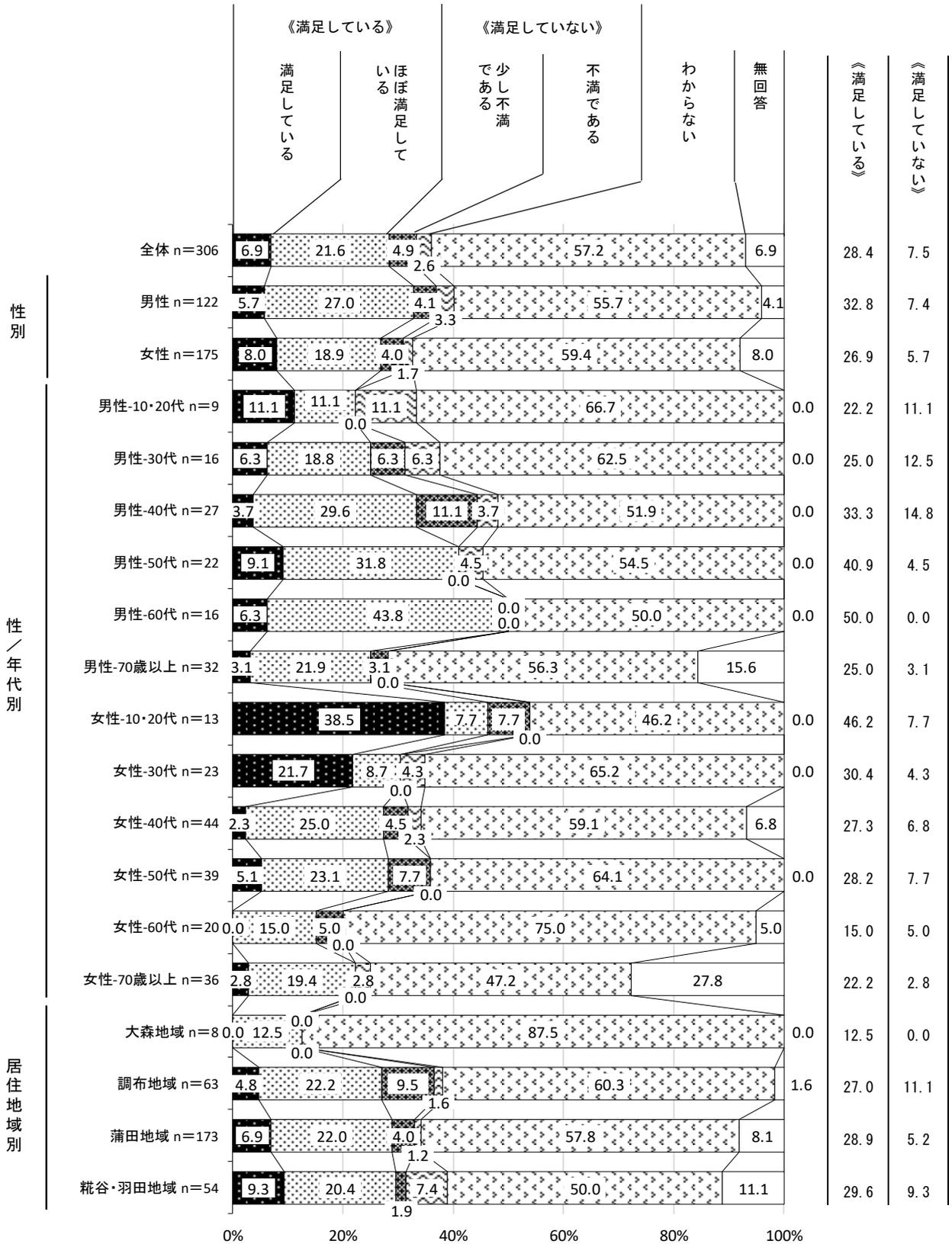
性別でみると、《満足している》に大きな差はみられないものの、《満足していない》では男性が13.9%、女性が5.7%と、男性が8.2ポイント上回っている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



■性別・性/年代別・居住地域別_④電子書籍貸出サービス

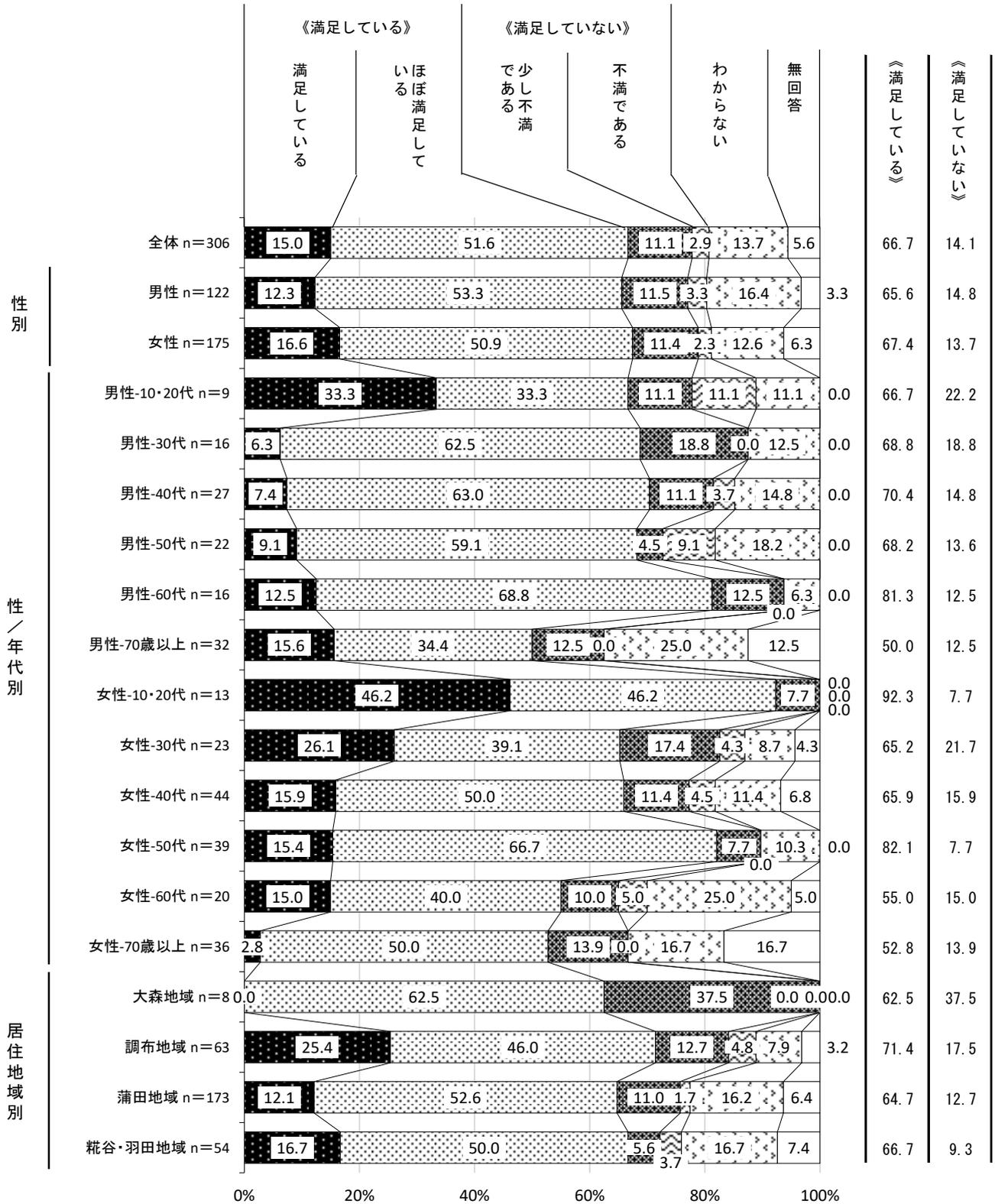
性別で見ると、《満足している》は男性 32.8%、女性 26.9%と、男性が 5.9 ポイント上回っている。
居住地域別で見ると、大きな差はみられない。



■性別・性/年代別・居住地域別_⑤全般的な満足度

性別で見ると、大きな差はみられない。

居住地域別で見ると、《満足している》は調布地域で7割前半、その中の「満足している」が2割半ばと最も高くなっている一方で、《満足していない》も1割後半と最も高くなっている。



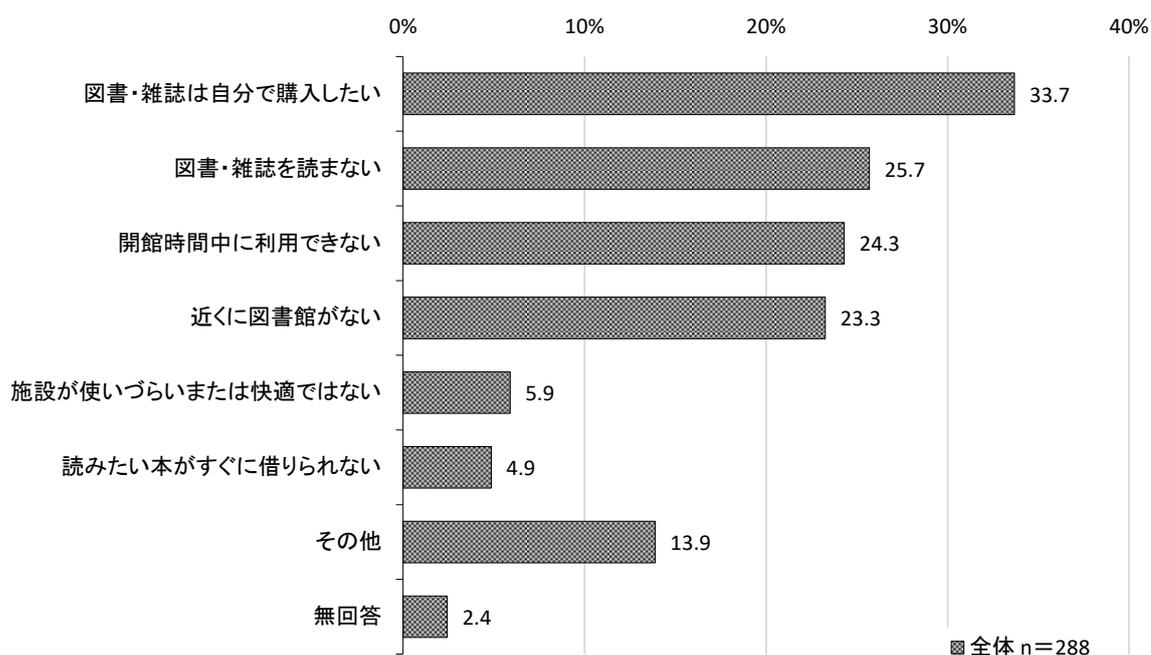
(4) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が3割前半で最も高くなっている

【問 32 で「5 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 32-3 図書館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

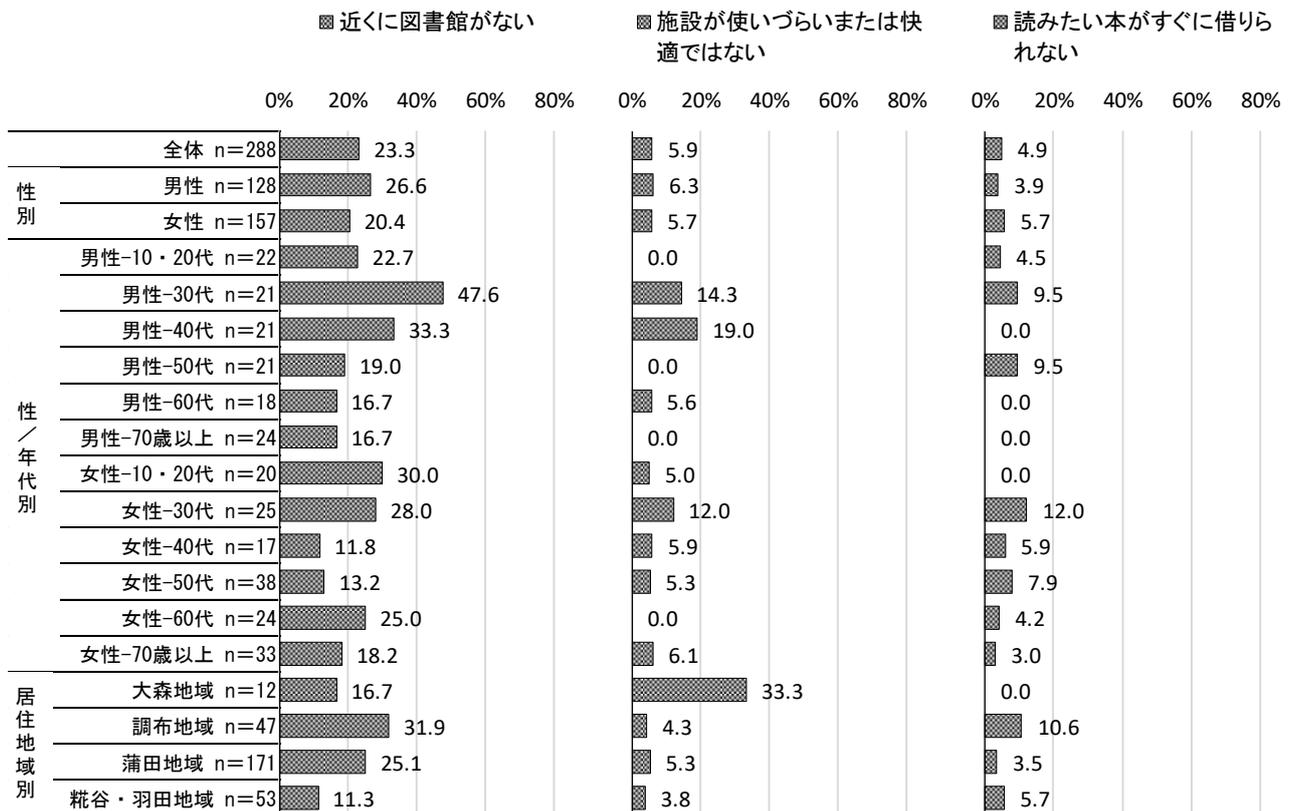
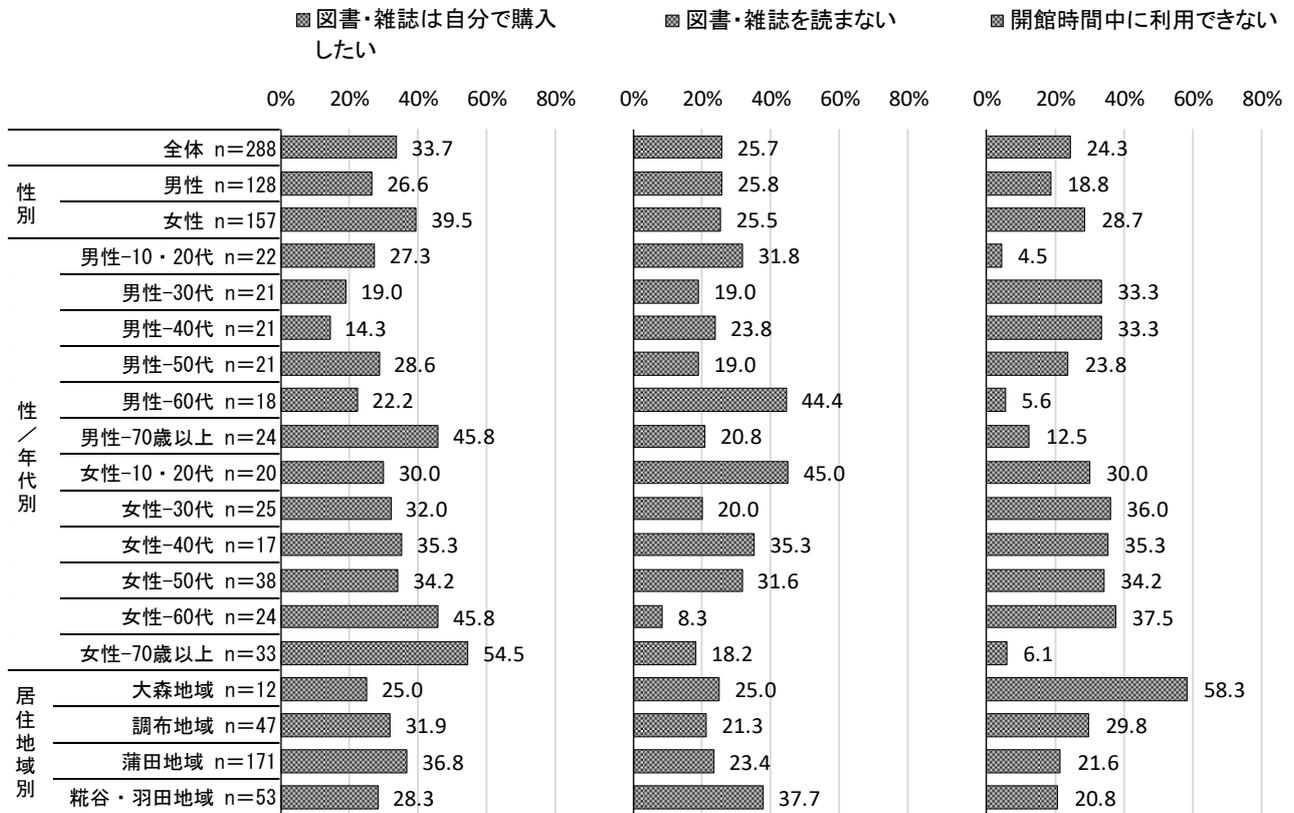
図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が33.7%で最も高く、次いで「図書・雑誌を読まない」が25.7%、「開館時間中に利用できない」が24.3%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

居住地域別で見ると、調布地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」、「近くに図書館がない」が、蒲田地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」が、糞谷・羽田地域では「図書・雑誌を読まない」が最も高くなっている。

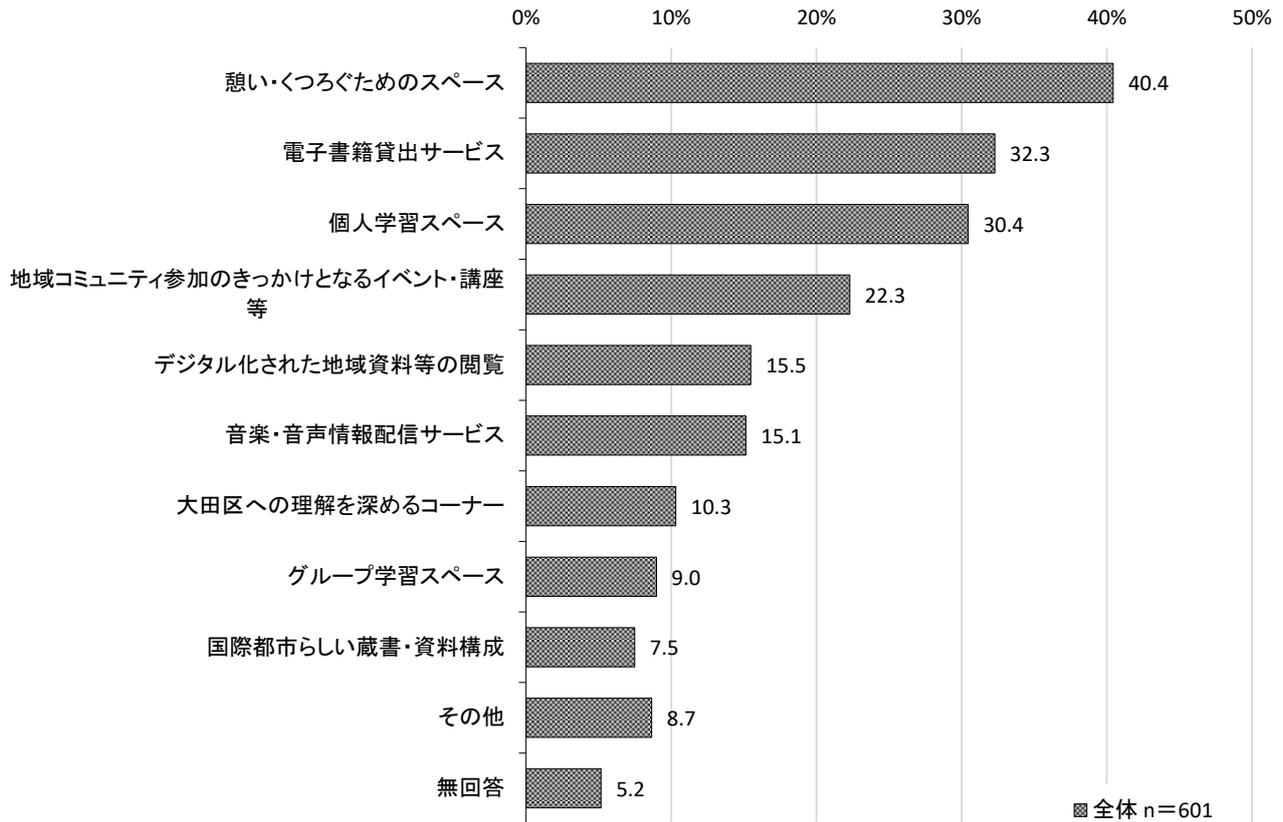


(5) 図書館に期待する機能・サービス

◇「憩い・くつろぐためのスペース」が約4割で最も高くなっている

**問 33 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
(複数選択可)**

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が40.4%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が32.3%、「個人学習スペース」が30.4%となっている。

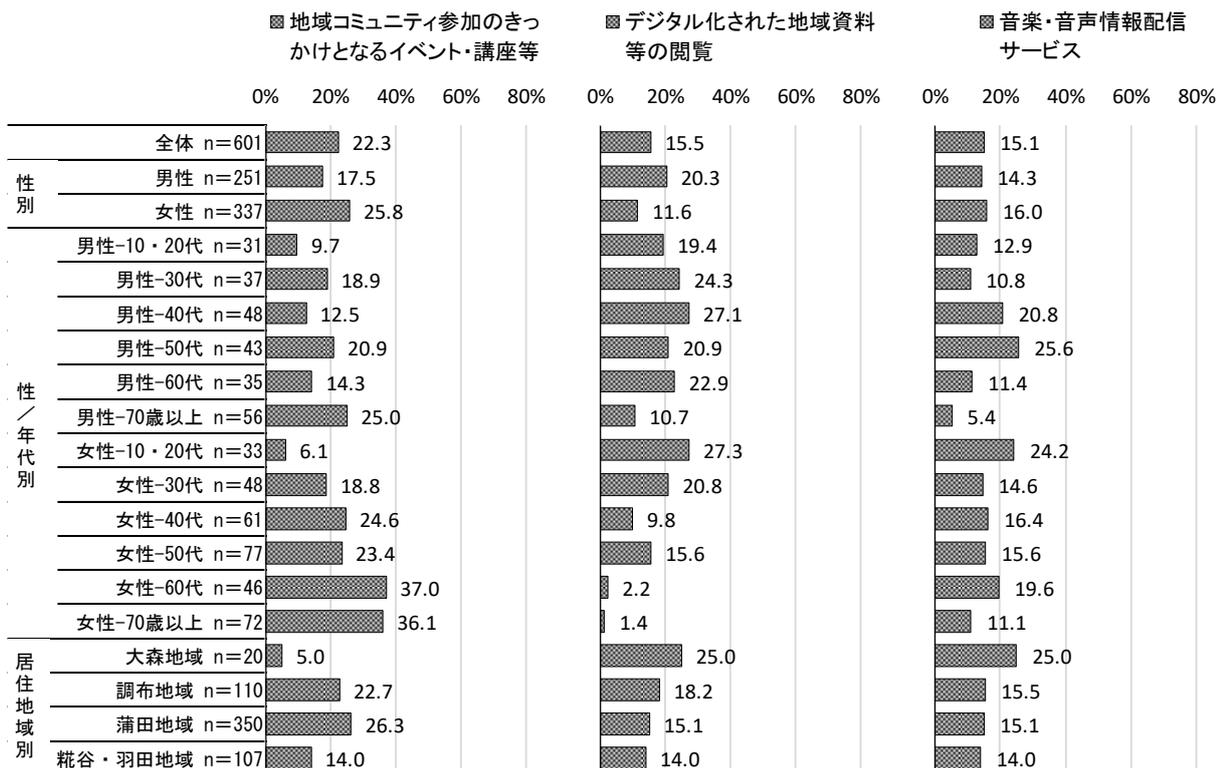
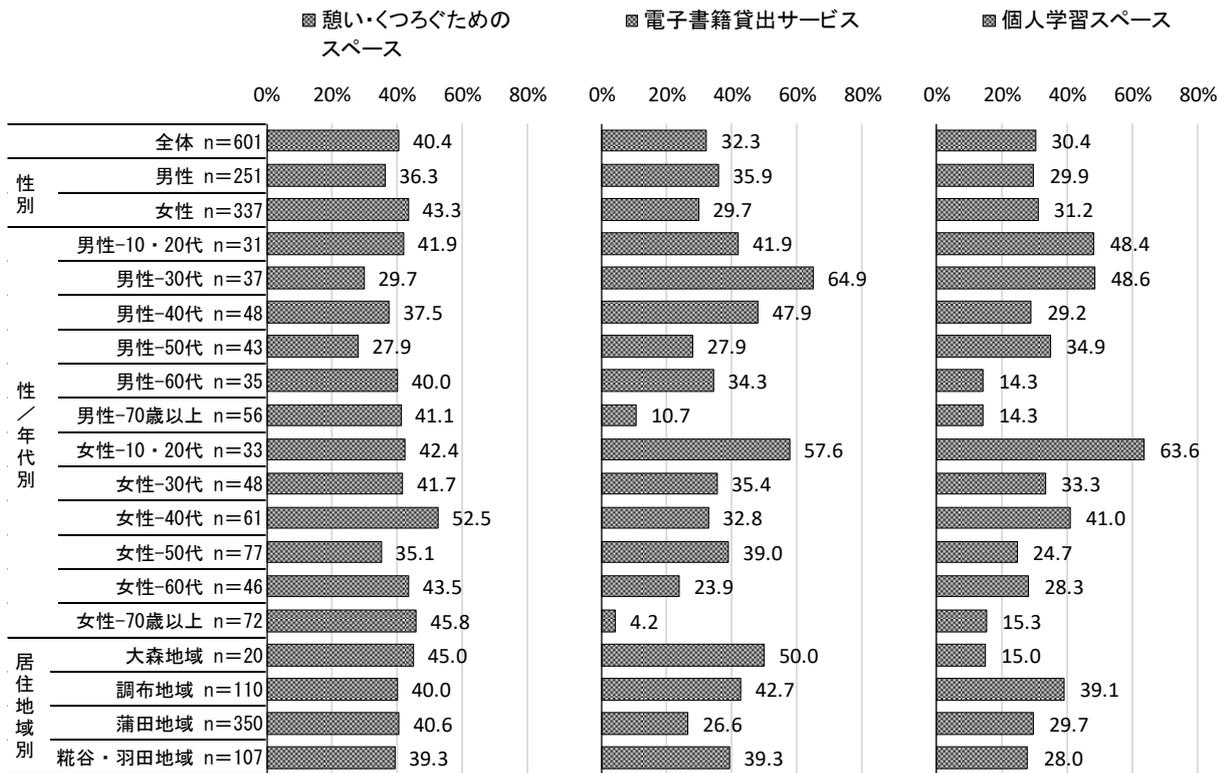


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、男性が36.3%、女性43.3%と女性が7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「憩い・くつろぐためのスペース」は男性では10・20代、70歳以上で4割前半、女性では40代で5割前半と高くなっている。「電子書籍貸出サービス」は男性30代で6割前半、女性10・20代で5割後半、「個人学習スペース」は男性10・20代、30代で4割後半、女性10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「電子書籍貸出サービス」は調布地域で4割前半と最も高くなっている。



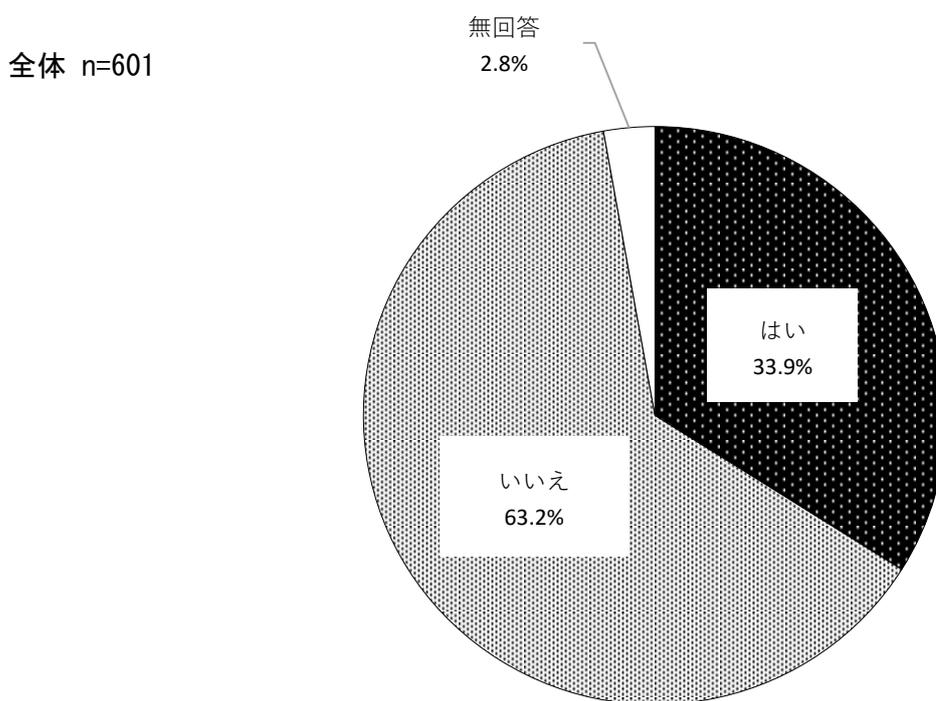
14 公園について

(1) 公園の利用頻度

◇ 「はい」は3割前半となっている

問 34 月に1回以上公園を利用していますか。(1つのみ)

公園の利用頻度については、「はい」が33.9%で、「いいえ」が63.2%と、「いいえ」が29.3ポイント上回っている。

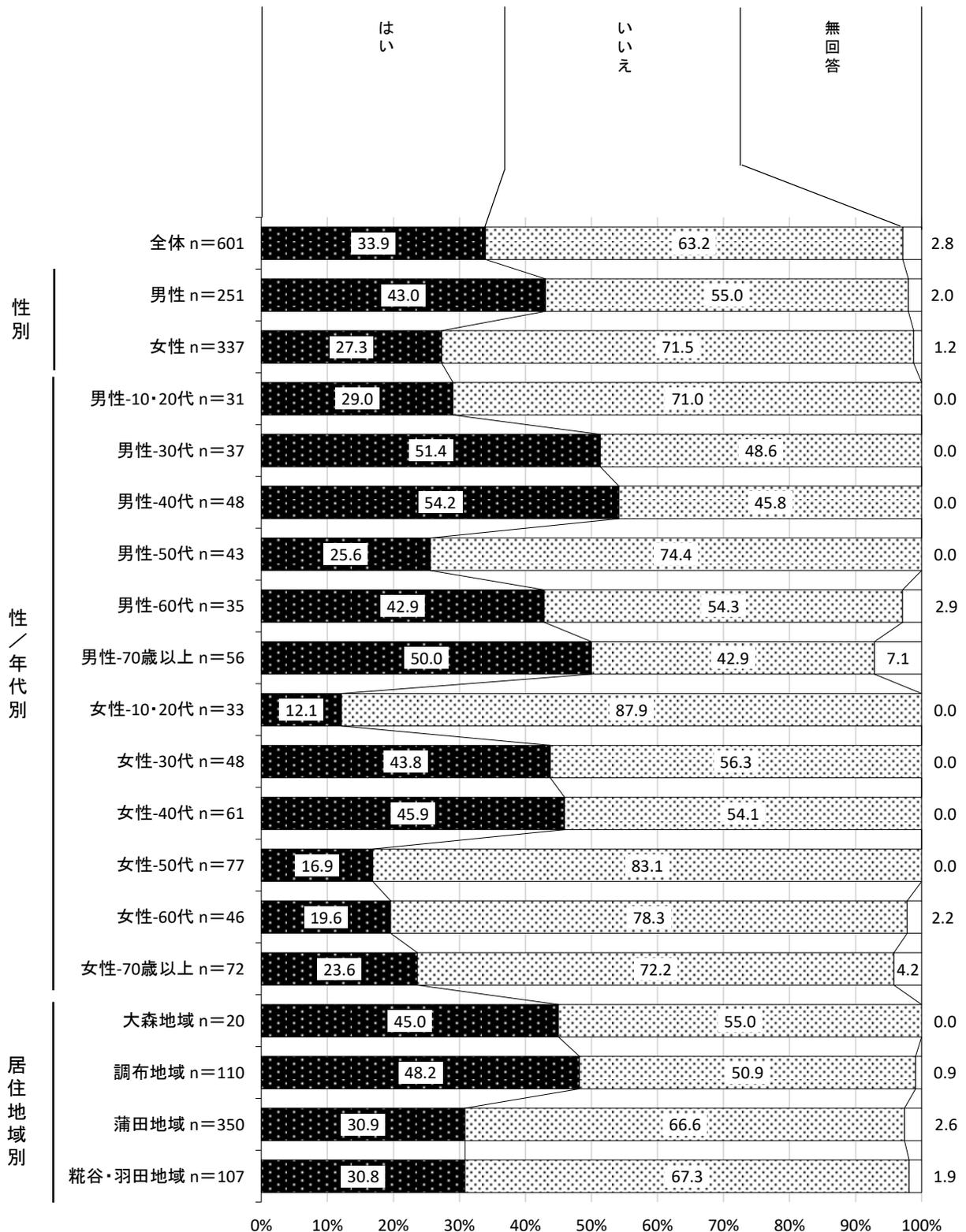


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「はい」は男性が43.0%、女性が27.3%と、男性が15.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「はい」は男性では30代、40代で5割前半、女性では40代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「はい」は調布地域で4割後半と高くなっている。



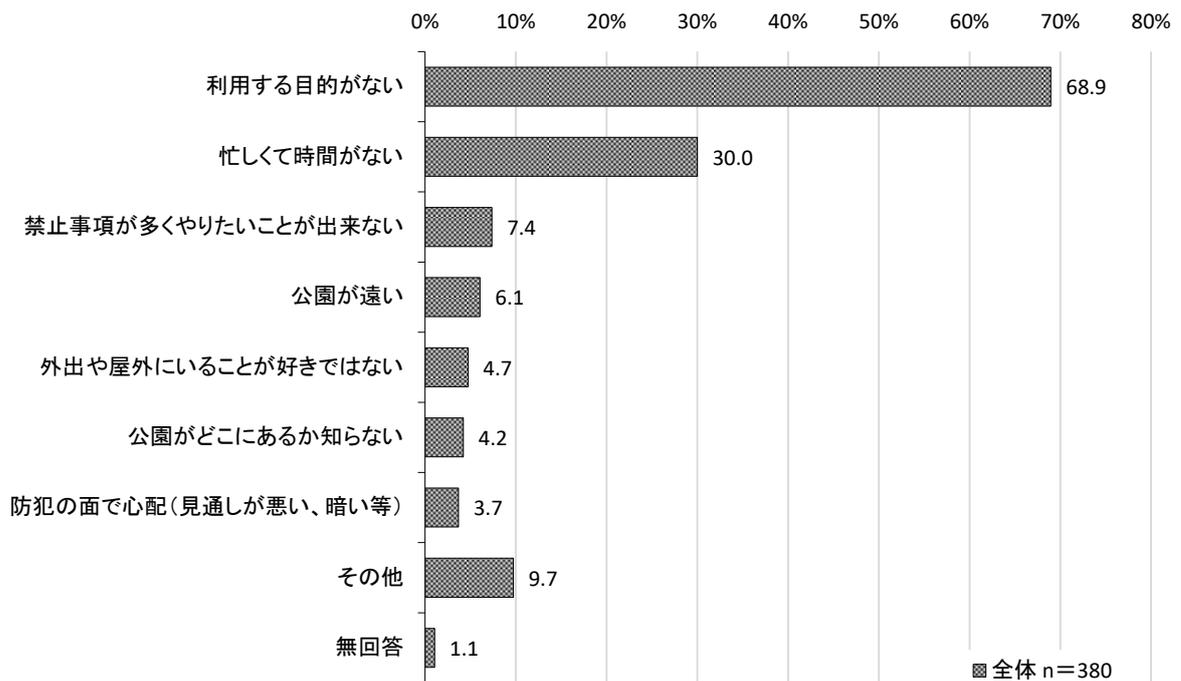
(2) 公園を利用していない理由

◇「利用する目的がない」が6割後半で最も高くなっている

【問34で「2 いいえ」と回答した方に伺います。】

問34-1 公園を利用していない理由は何ですか。(3つまで)

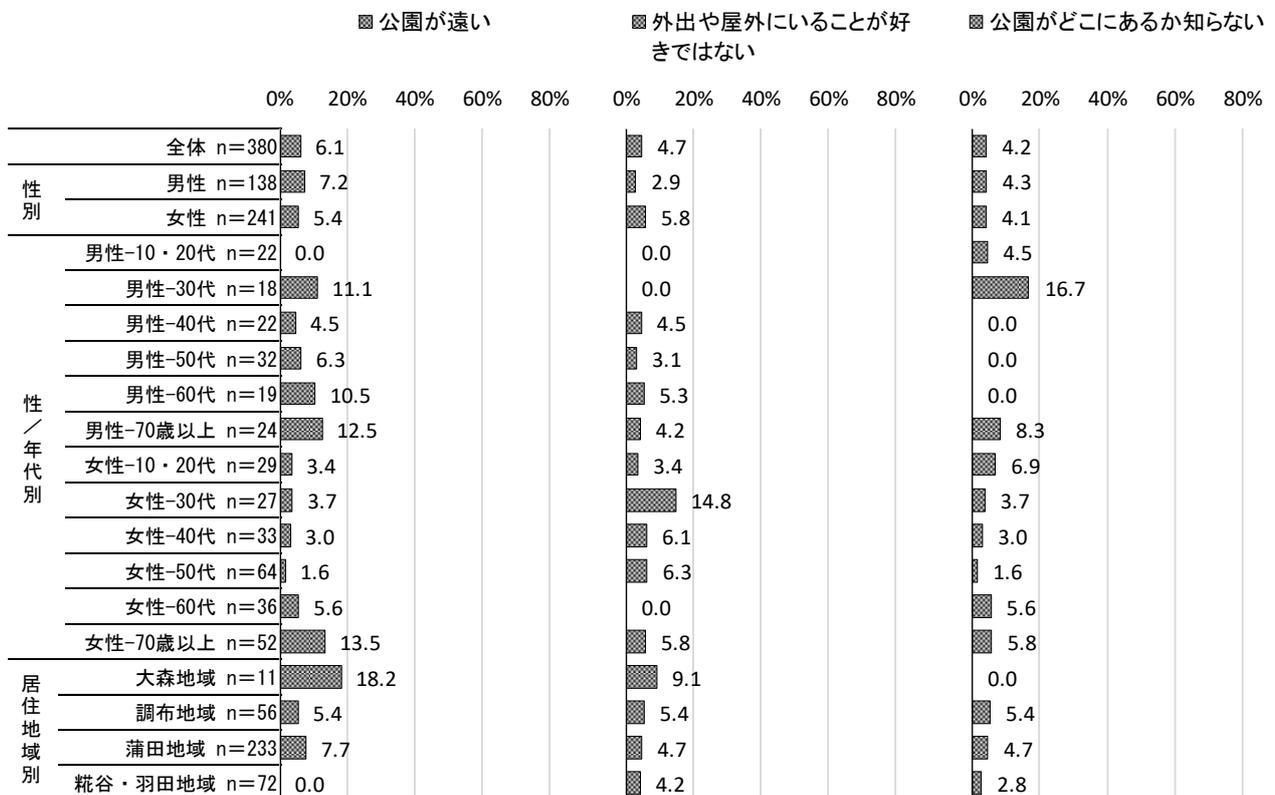
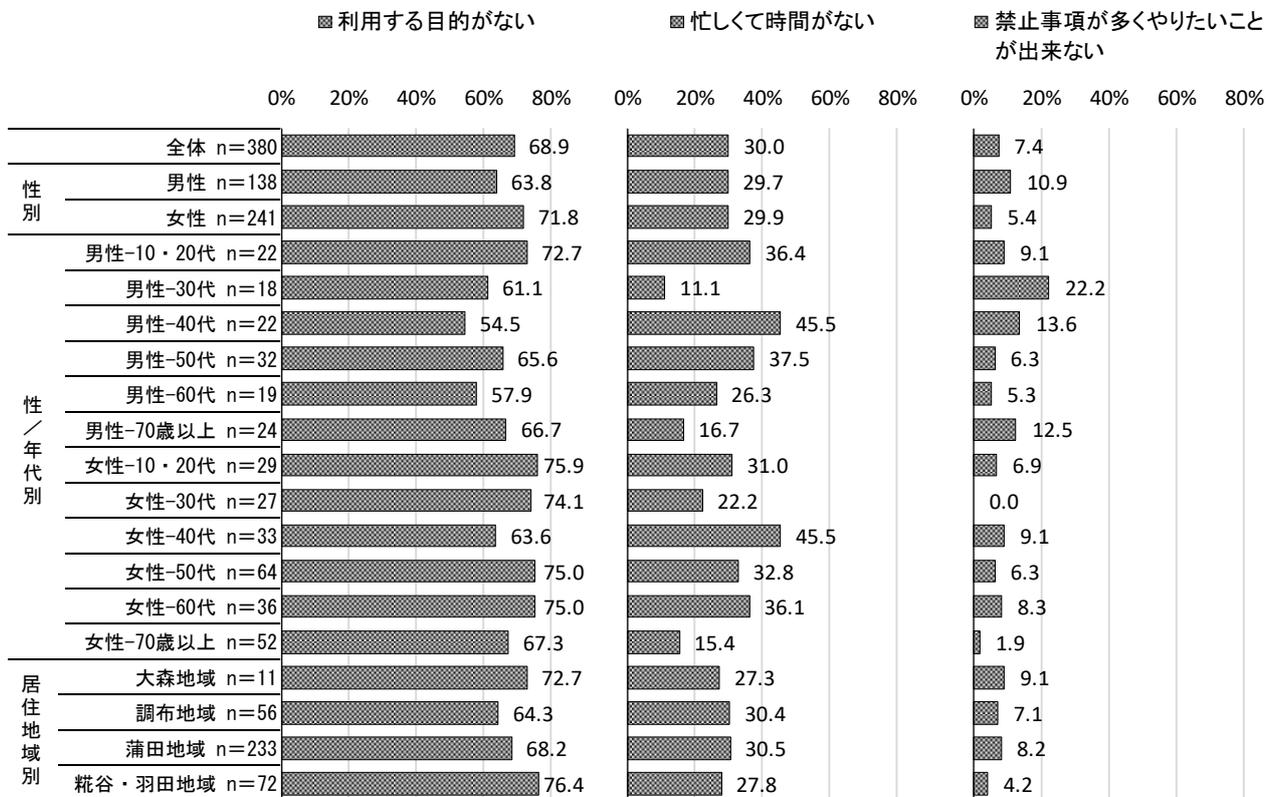
公園を利用していない理由については、「利用する目的がない」が68.9%で最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が30.0%、「禁止事項が多くやりたいことが出来ない」が7.4%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「利用する目的がない」が最も高く、男性63.8%、女性が71.8%と、女性が8ポイント上回っている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「利用する目的がない」が最も高くなっている。



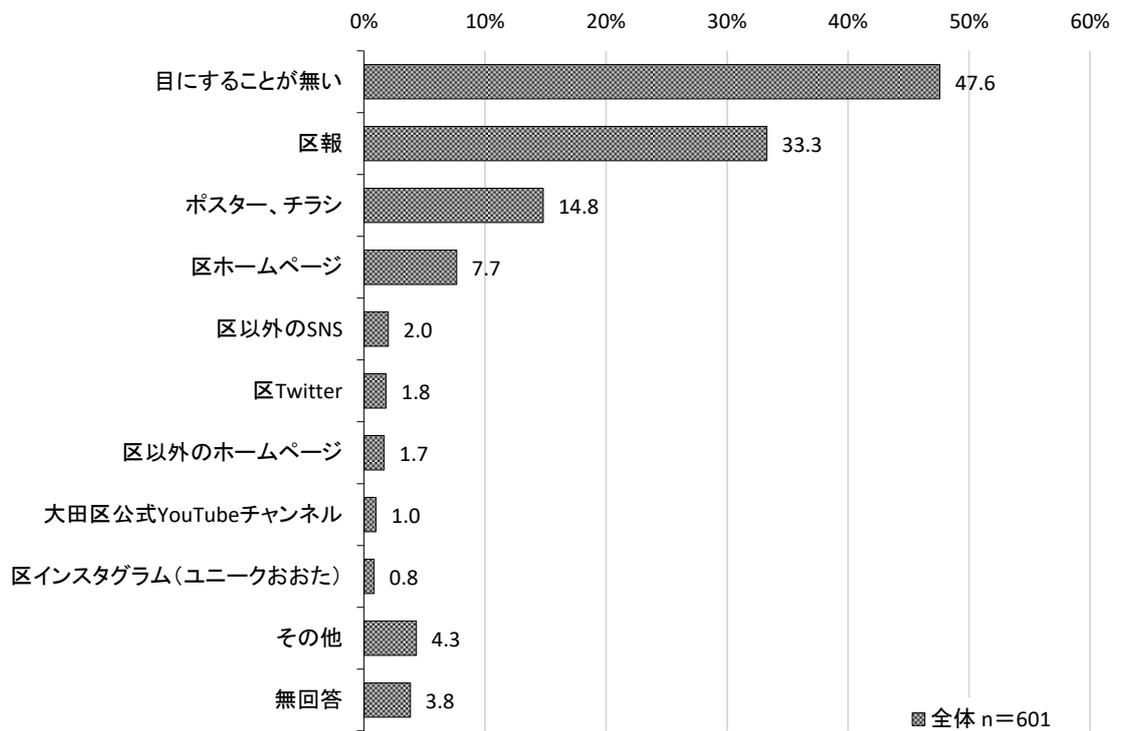
(3) 公園情報を取得する媒体

◇「区報」が3割前半で最も高くなっている

問 35 普段大田区の公園についての情報をどのような媒体で目にしますか。(複数選択可)

公園情報を取得する媒体については、「区報」が33.3%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」が14.8%、「区ホームページ」が7.7%となっている。

なお、「目にすることが無い」は47.6%となっている。

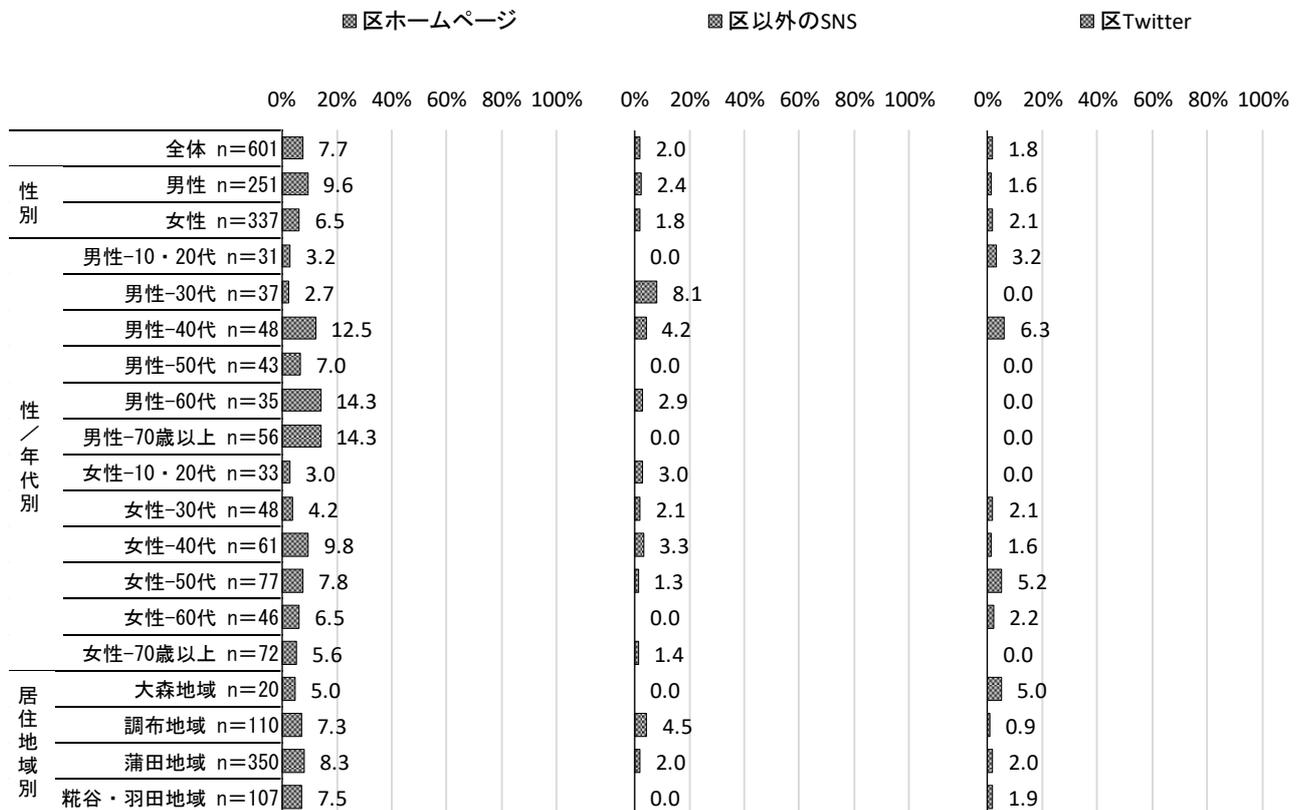
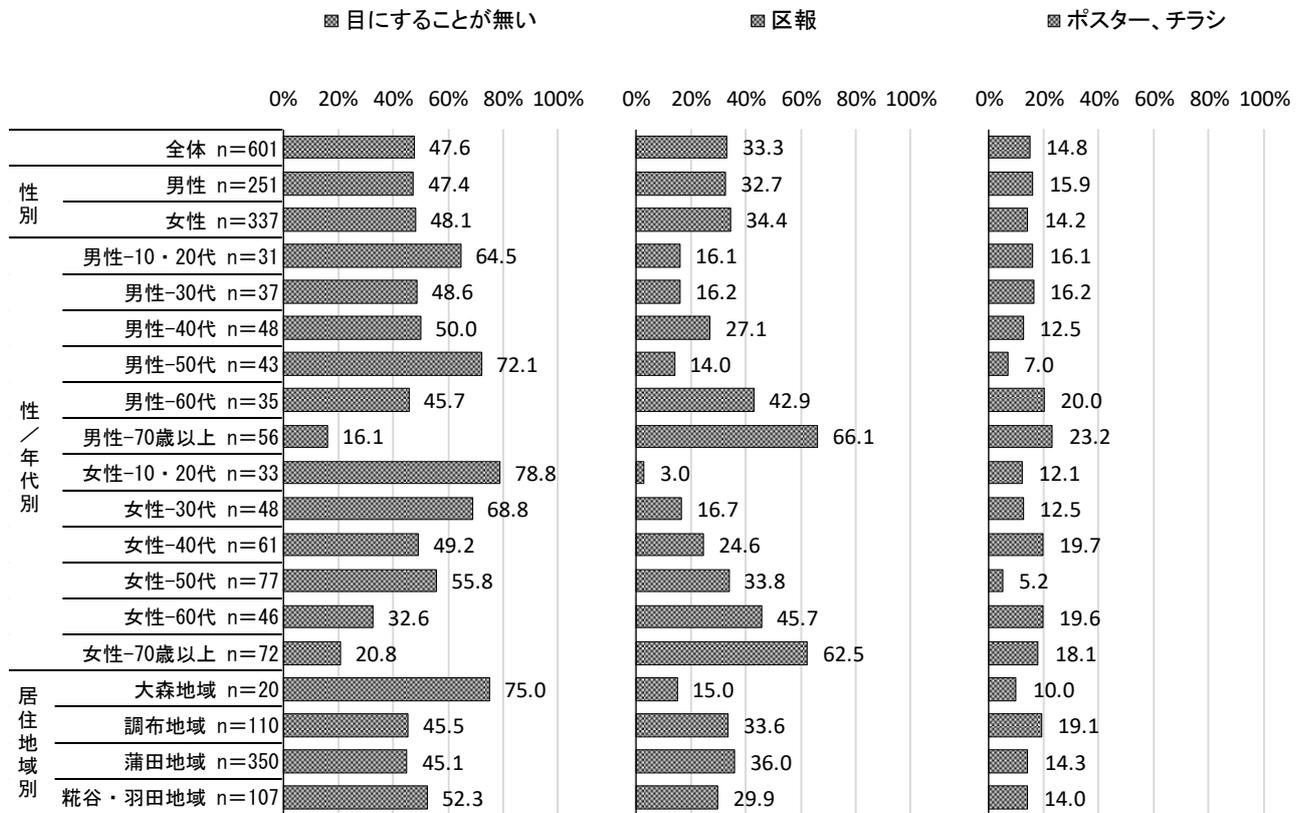


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「区報」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「区報」は男性、女性ともに70歳以上で6割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、大きな差はみられない。

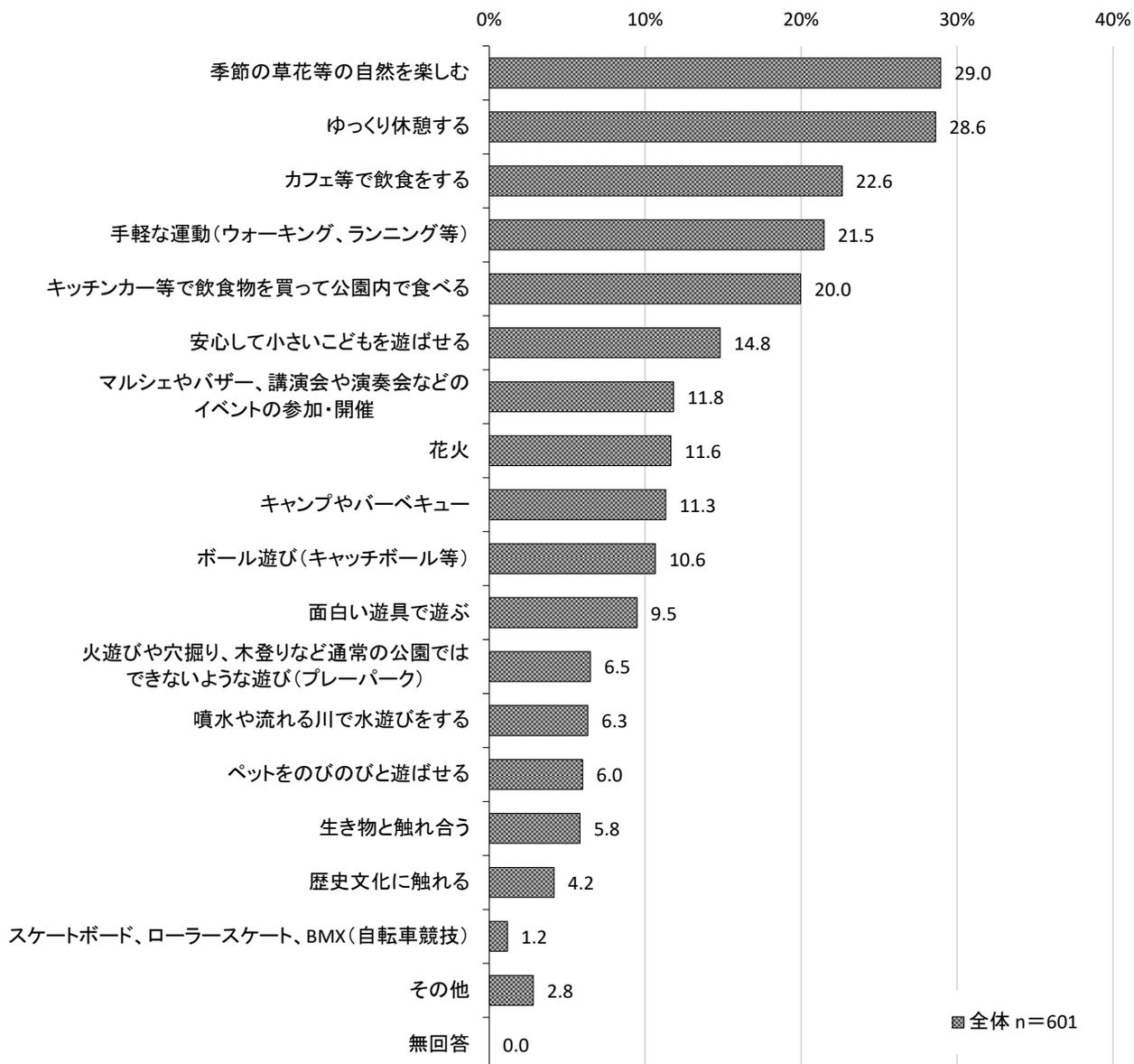


(4) 公園でしてみたいこと

◇「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」が2割後半で最も高くなっている

問 36 大田区の公園でしてみたいことは何ですか。(3つまで)

公園でしてみたいことについては、「季節の草花等の自然を楽しむ」が29.0%で最も高く、次いで「ゆっくり休憩する」が28.6%、「カフェ等で飲食をする」が22.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「ゆっくり休憩する」が、女性では「季節の草花等の自然を楽しむ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」は男性、女性ともに70歳以上で高くなっている。

居住地域別にみると、「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」はともに蒲田地域で3割前半と高くなっている。

